

大和郡山市

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査

【結果報告書】

令和元年9月

大和郡山市

# 目 次

---

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	2
II. 調査結果	3
1 お住まいの地域・ご家族の状況等について	4
2 子どもの育ちをめぐる環境について	9
3 保護者の就労状況について	18
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）	23
5 地域の子育て支援事業の利用状況等について（就学前児童）	31
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）	36
7 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）（就学前児童）	39
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（就学前児童）	44
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童は5歳以上）	50
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	57
11 子どもの安全の確保について（小学生児童）	63
12 大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて	65



# I . 調査の概要

---

# 1 調査の目的

大和郡山市では、平成 26 年度に策定した「大和郡山市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画である「大和郡山市子ども・子育て支援事業計画（第二期）」の策定を進めています。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施しました。

# 2 調査概要

- 調査地域：大和郡山市全域
- 調査対象者：大和郡山市内在住の「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）  
大和郡山市内在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
- 抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童 1,500 人、小学生 1,500 人の合計 3,000 人を無作為抽出
- 調査期間：令和元年 7 月 13 日（土）～令和元年 7 月 26 日（金）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法

調査票	調査対象者数 (配布数)	回収数	回収率
就学前児童	1,500	920	61.3%
小学生児童	1,500	883	58.9%
合計	3,000	1,803	60.1%

# 3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 本文中の「前回調査」とは、平成 25 年度に実施した「大和郡山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」をさします。

## II. 調査結果

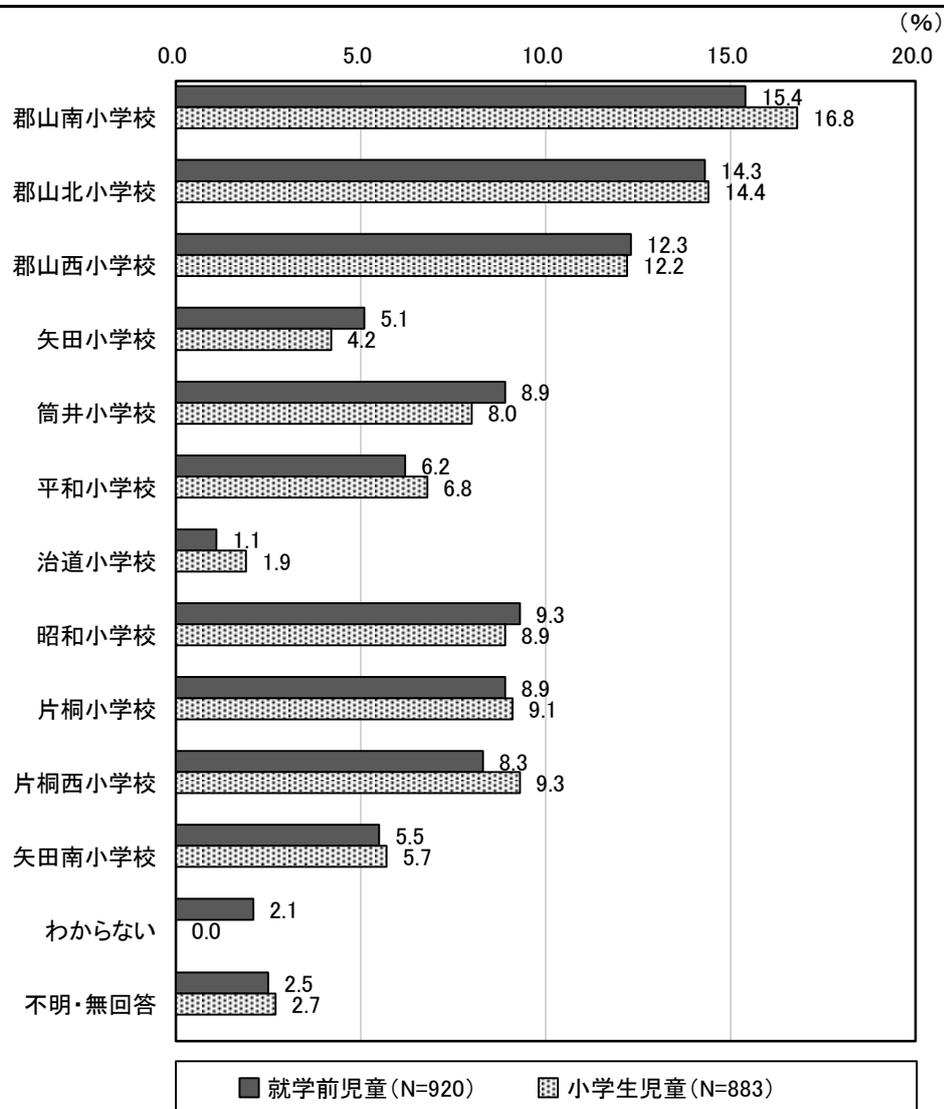
---

(就学前児童調査・小学生児童調査)

# 1 お住まいの地域・ご家族の状況等について

## (1) 小学校区〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

小学校区についてみると、就学前児童では「郡山南小学校」が就学前児童で15.4%、小学生児童で16.8%と最も高くなっています。

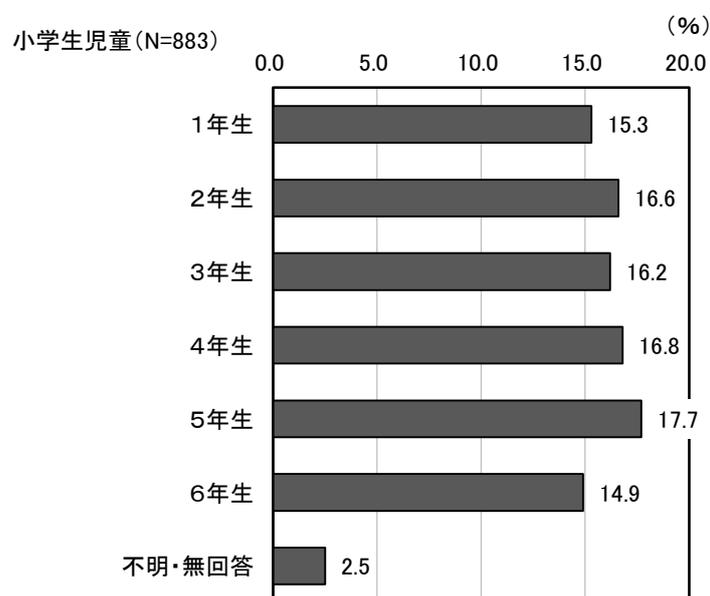
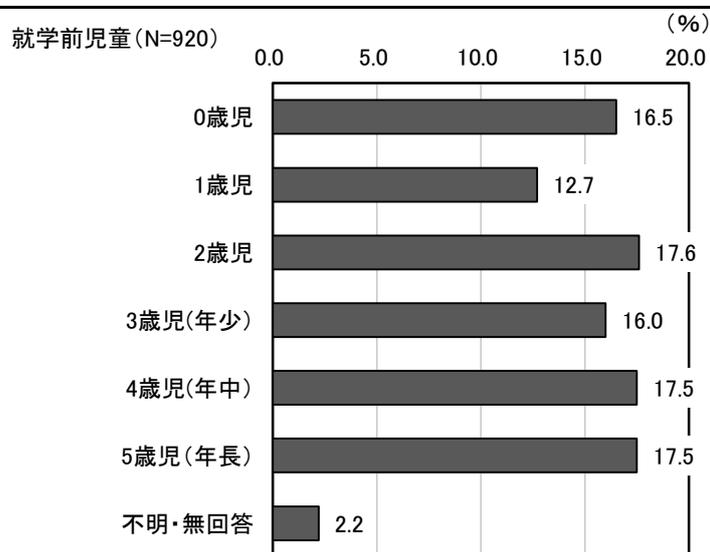


## (2) 対象の子どもの生年月〈数量回答〉(平成30年度末時点)

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

就学前児童の年齢についてみると、2歳児が17.6%、4歳児(年中)、5歳児(年長)がともに17.5%となっています。

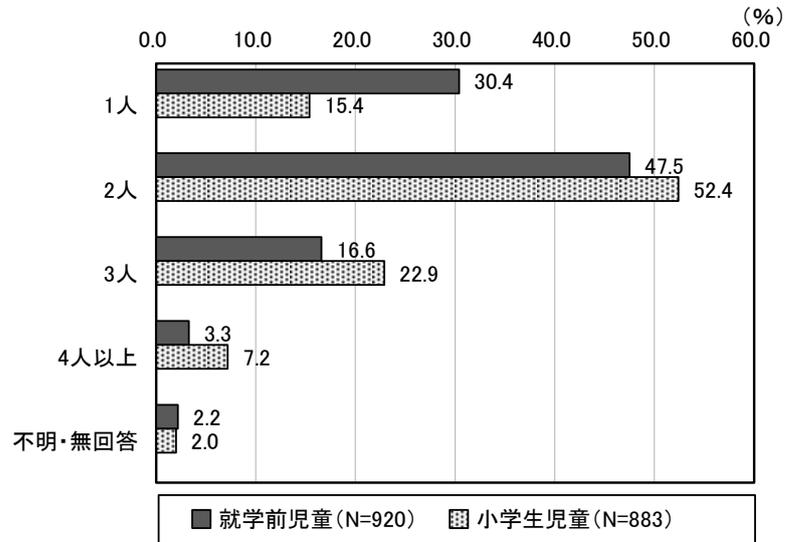
小学生児童の学年についてみると、5年生が17.7%、4年生が16.8%、2年生が16.6%となっています。



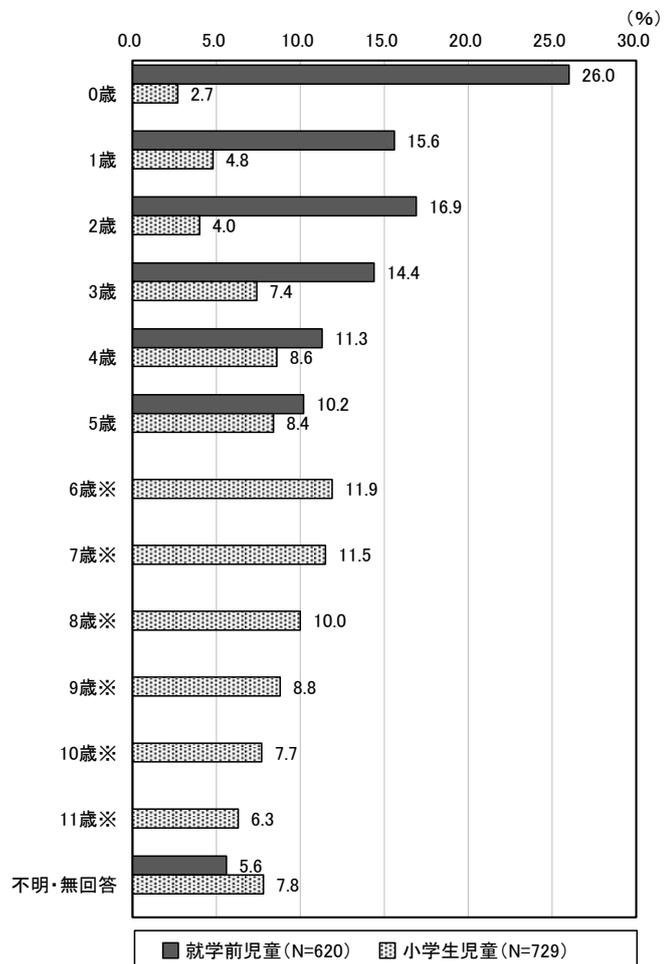
(3) 子どもの人数〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

子どもの人数についてみると、「2人」が就学前児童で47.5%、小学生児童で52.4%と最も高くなっています。次いで、就学前児童で「1人」が30.4%、小学生児童で「3人」が22.9%となっています。

子どもが2人以上いる場合の末子の年齢についてみると、就学前児童で「0歳」が2割以上、「1歳」から「6歳」までが1割以上となっており、小学生児童で「6歳」から「8歳」が1割以上となっています。

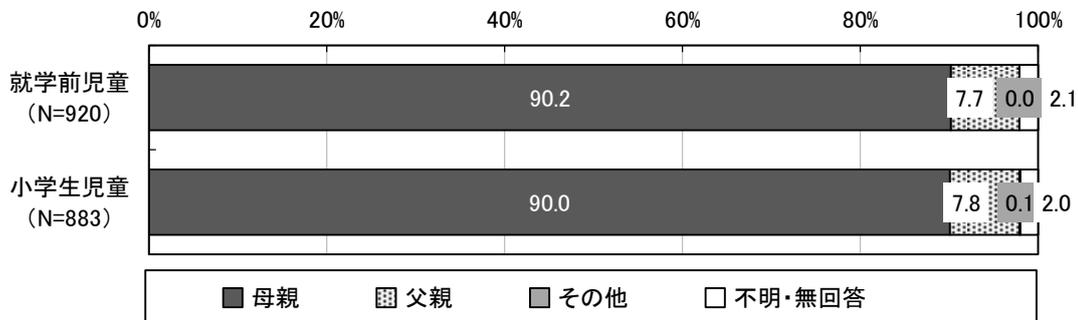


◎ 子どもが2人以上いる  
場合の末子の年齢〈数量回答〉



(4) 調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問4〕

回答者についてみると、「母親」が就学前児童で90.2%、小学生児童で90.0%と最も高く、大部分を占めています。

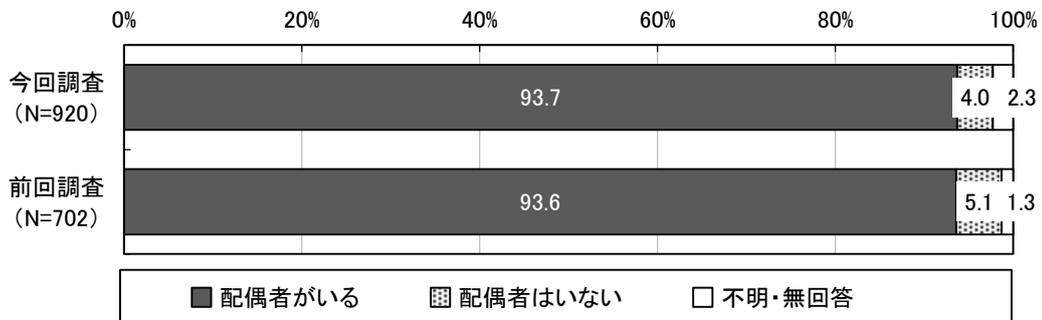


(5) 調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問5〕

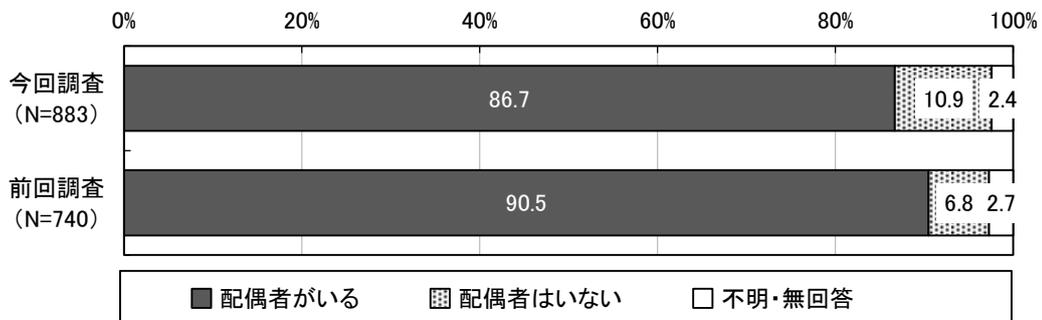
回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が就学前児童で93.7%、小学生児童で86.7%となっています。

前回調査と比較すると、就学前児童、小学生児童ともに、ほぼ同様の結果となっていますが、「配偶者がいる」が小学生児童でわずかに減少しています。

【就学前児童】



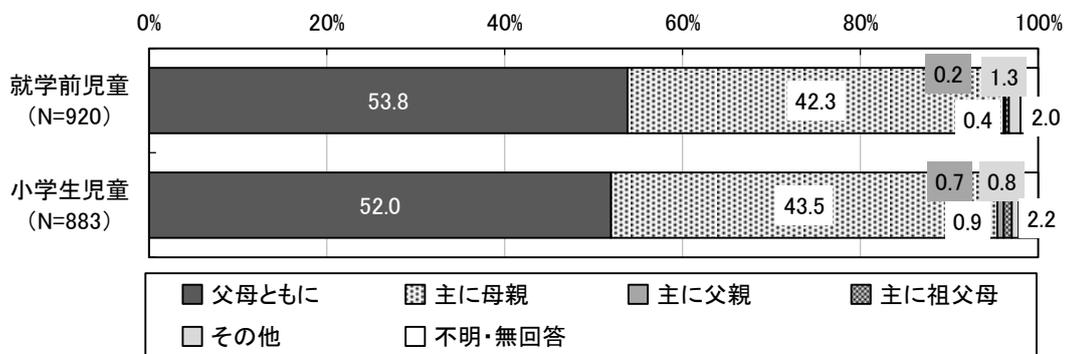
【小学生児童】



## (6) 子育て（教育を含む）を主に行っている方〈単数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問6〕

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」が就学前児童で53.8%、小学生児童で52.0%と最も高く、次いで「主に母親」が就学前児童で42.3%、小学生児童で43.5%となっています。

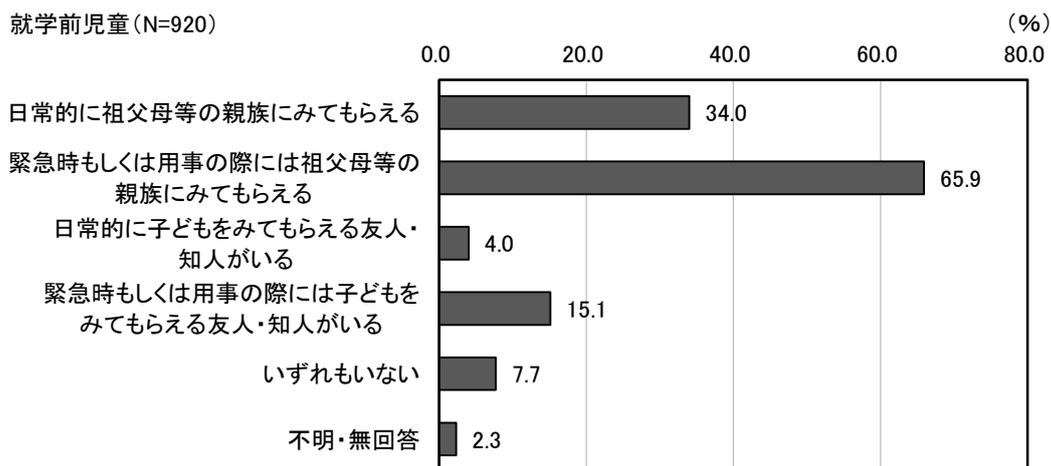


## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問7〕

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が65.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が34.0%となっています。



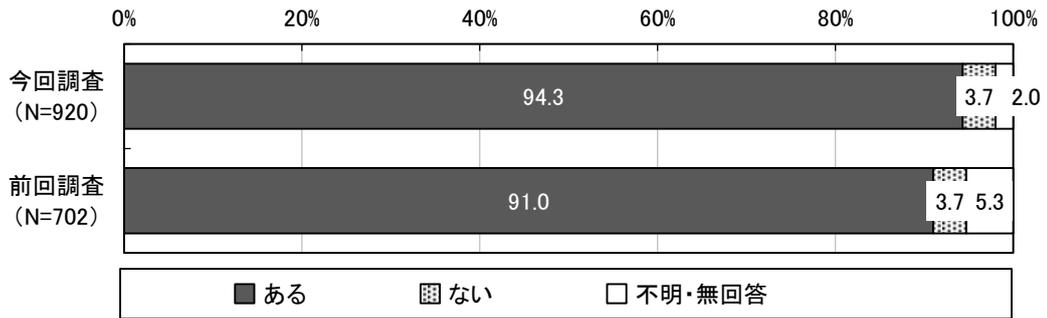
## (2) 子育てをする上での相談できる人や場所の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問8・小学生児童調査…問7〕

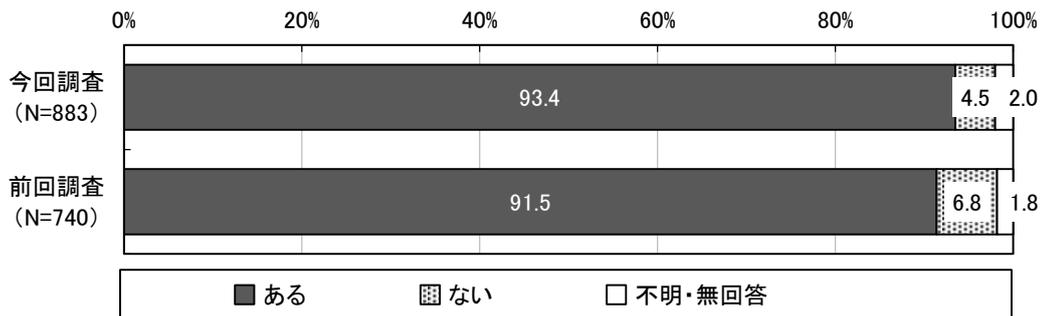
子育てをする上での相談できる人や場所の有無についてみると、「ある」が就学前児童で94.3%、小学生児童で93.4%となっています。

前回調査と比較すると、就学前児童、小学生児童ともに、ほぼ同様の結果となっていますが、「ある」がわずかに増加しています。

### 【就学前児童】



### 【小学生児童】



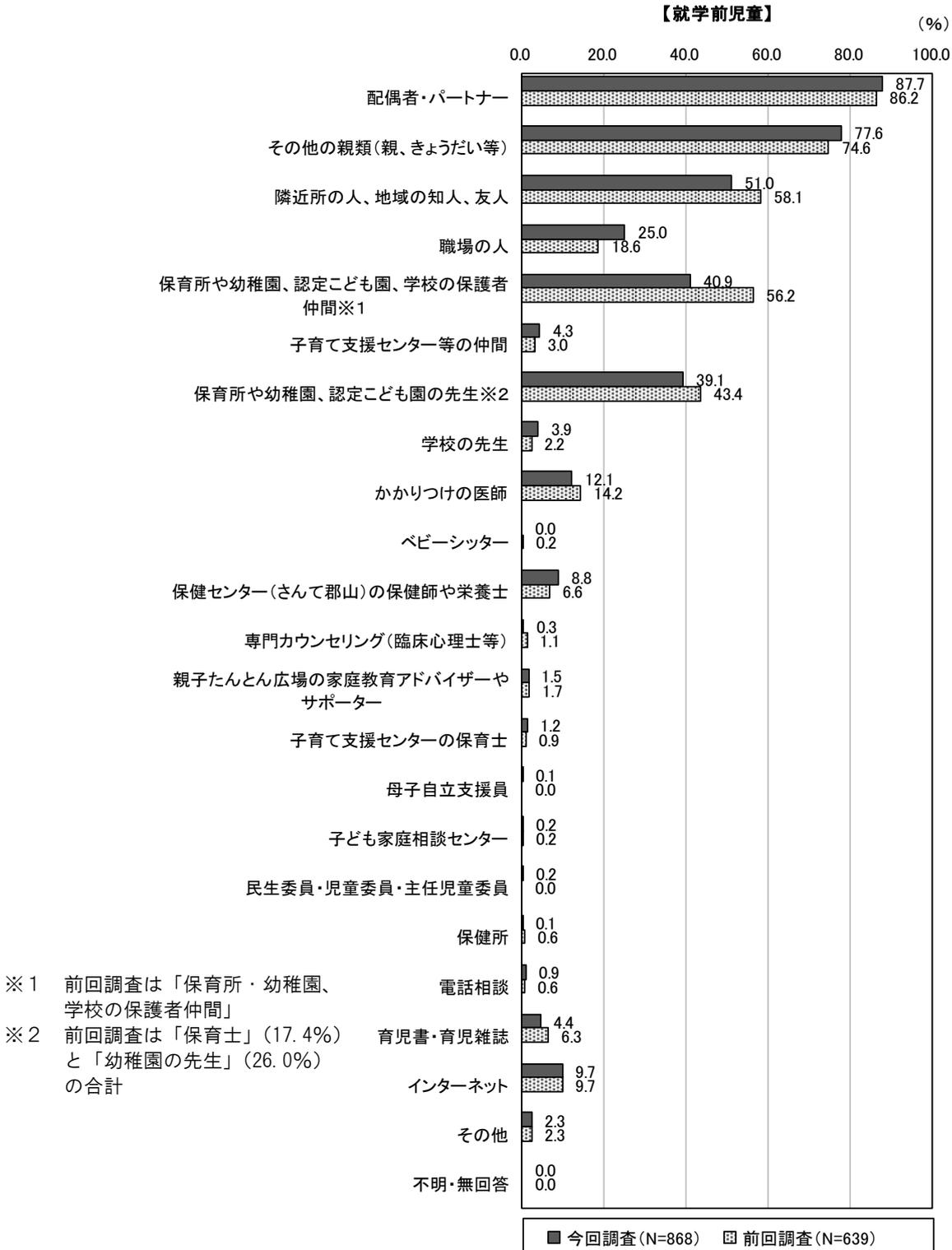
**(2)で「ある」を選んだ方**

**(2) - 1 気軽に相談できる先〈複数回答〉**

〔就学前児童調査…問8-1・小学生児童調査…問7-1〕

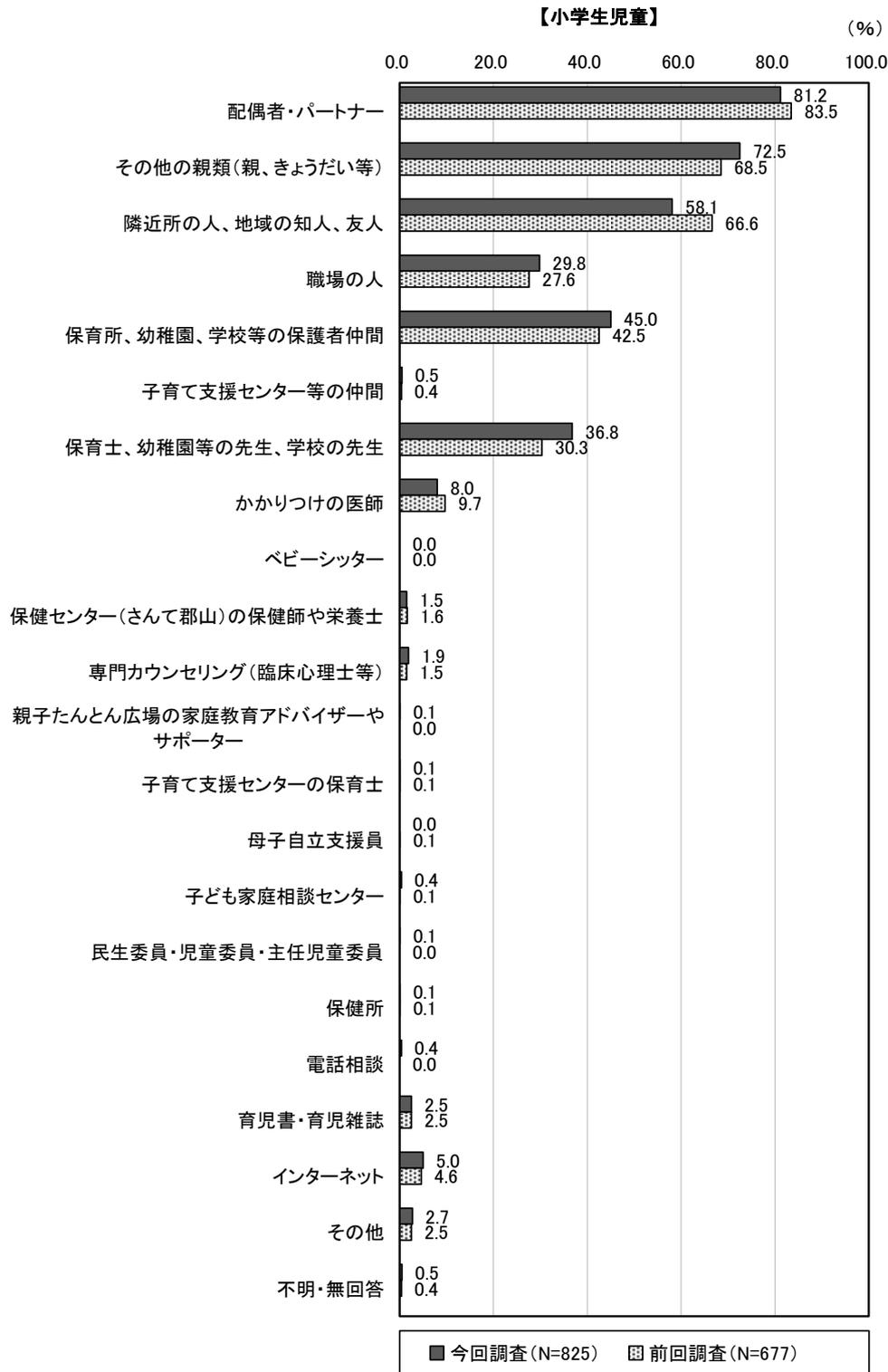
気軽に相談できる先についてみると、就学前児童で「配偶者・パートナー」が87.7%と最も高く、次いで「その他の親類（親、きょうだいなど）」が77.6%となっています。

前回調査と比較すると、「保育所や幼稚園、認定こども園、学校の保護者仲間」が15.3ポイント減少しています。



気軽に相談できる先についてみると、小学生児童で「配偶者・パートナー」が81.2%と最も高く、次いで「その他の親類（親、きょうだいなど）」が72.5%となっています。

前回調査と比較すると、「保育所や幼稚園等の先生、学校の先生」が6.5ポイント増加している一方で、「隣近所の人、地域の友人、知人」が8.5ポイント減少しています。



**(2)で「ない」を選んだ方**

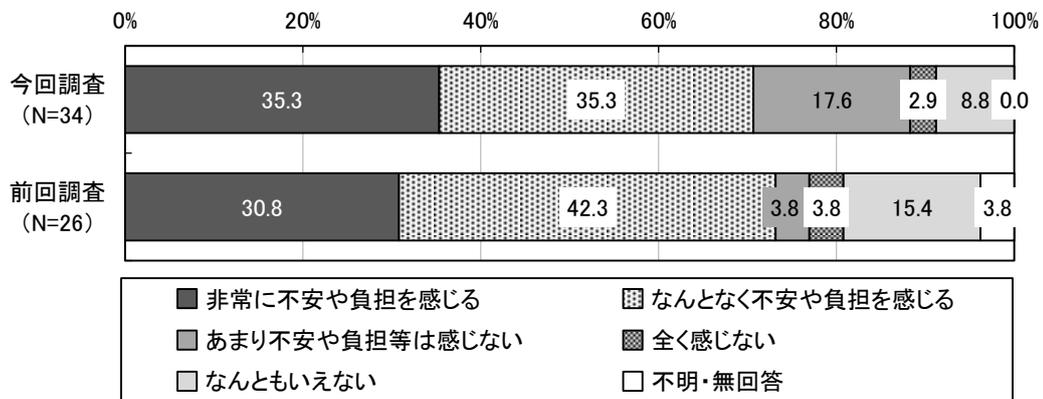
**(2) - 2 子育てに対する負担感や不安感〈単数回答〉**

〔就学前児童調査…問8-2・小学生児童調査…問7-2〕

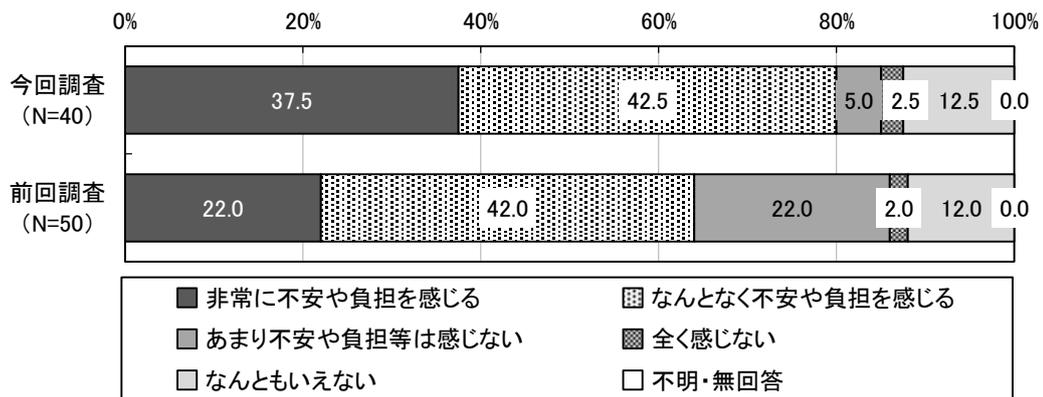
子育てに対する負担感や不安感についてみると、就学前児童で『負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）が70.6%、『負担を感じない』（「あまり不安や負担などは感じない」と「全く感じない」の合計）が20.5%となっています。小学生児童で『負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）が80.0%、『負担を感じない』（「あまり不安や負担などは感じない」と「全く感じない」の合計）が7.5%となっています。

前回調査と比較すると、就学前児童で『負担を感じない』が12.9ポイント増加している一方、小学生児童で『負担を感じる』が16.0ポイント増加しています。

**【就学前児童】**



**【小学生児童】**

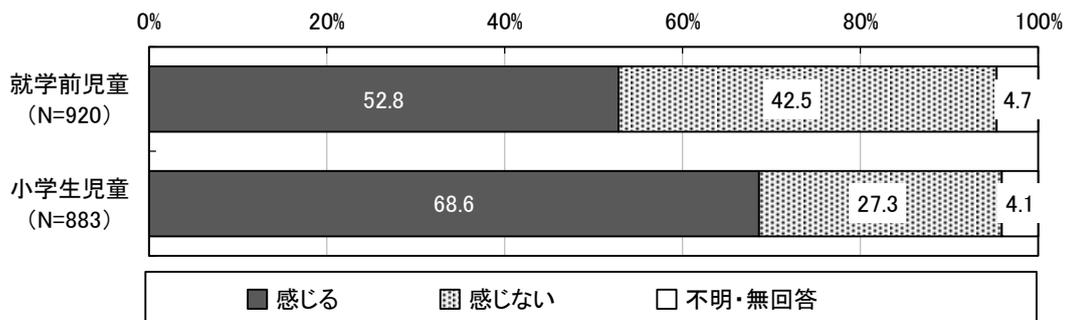


(3) 子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じるか。〈単数回答〉

また、感じる場合は、特に誰に支えられていると感じるか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じるか。〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9・小学生児童調査…問8〕

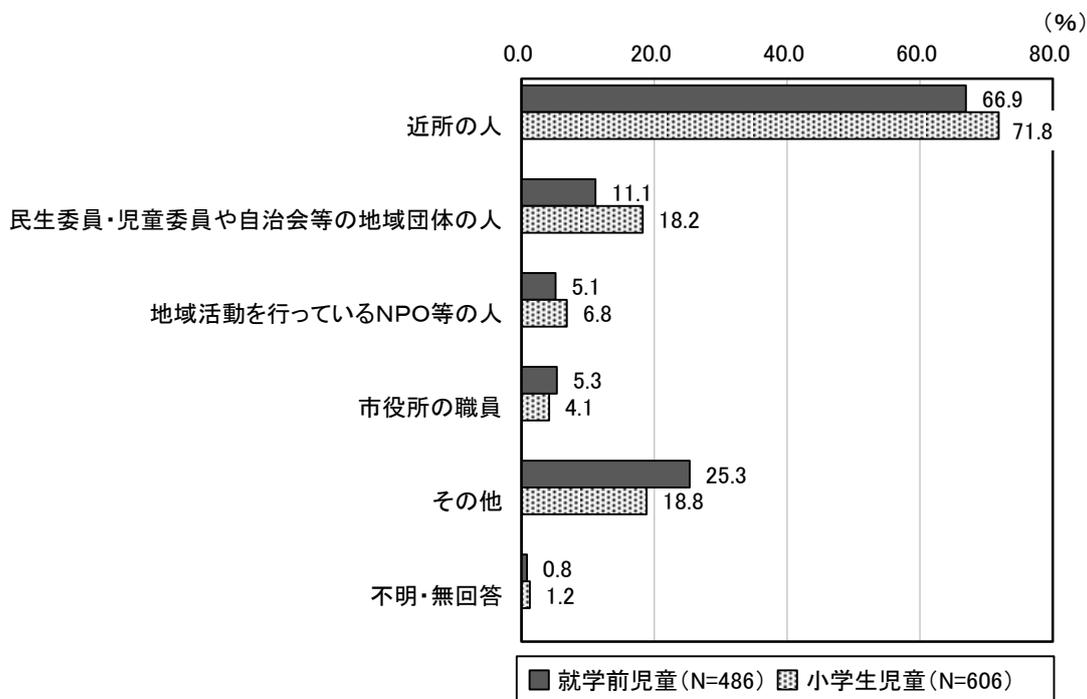
子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じるかについては、「感じる」が就学前児童で52.8%、小学生児童で68.6%となっています。



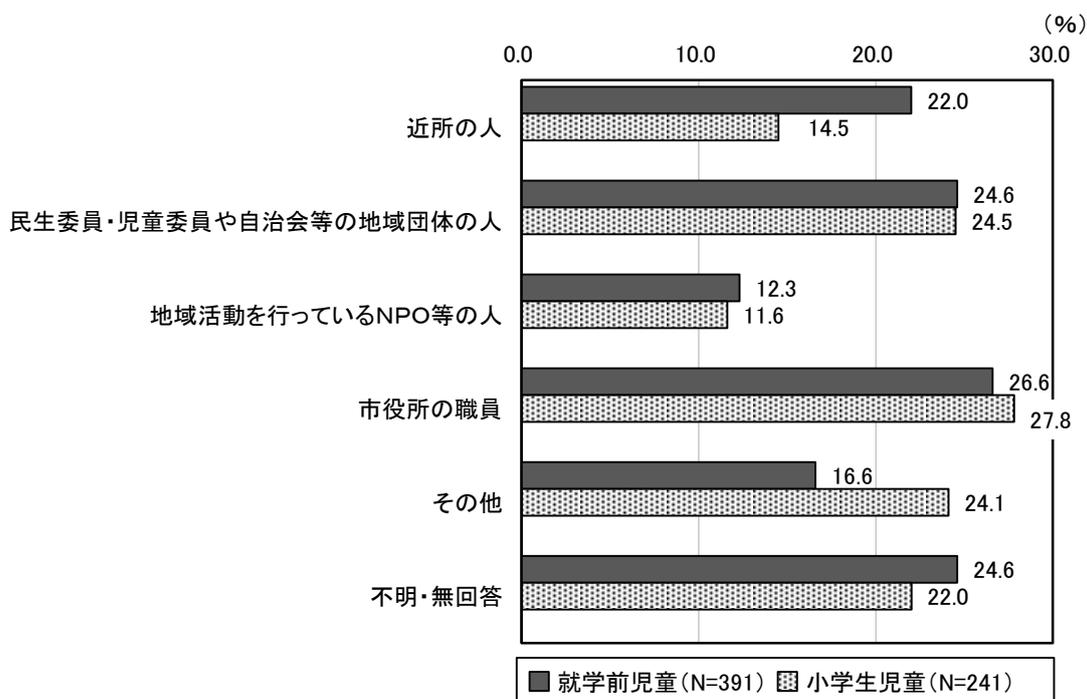
特に誰に支えられていると感じるかについては、「近所の人」が就学前児童で 66.9%、小学生児童で 71.8%と最も高くなっています。

特に誰から支えてほしいと感じるかについては、「市役所の職員」が就学前児童で 26.6%、小学生児童で 27.8%と最も高くなっています。

**(5)で「感じる」を選んだ方**



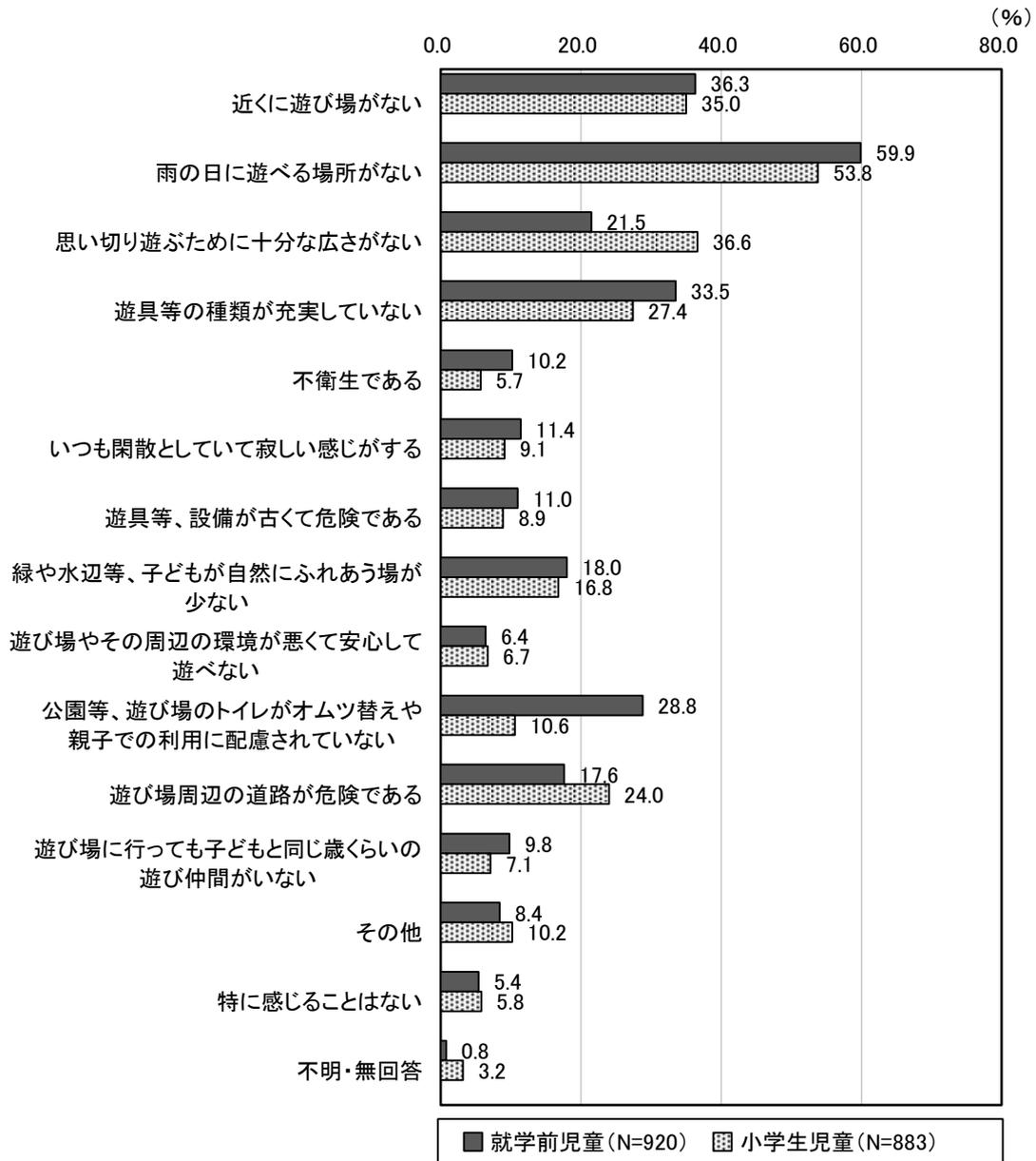
**(5)で「感じない」を選んだ方**



#### (4) 地域の子どもの遊び場について、日頃特に不満に感じていること〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問10・小学生児童調査…問9〕

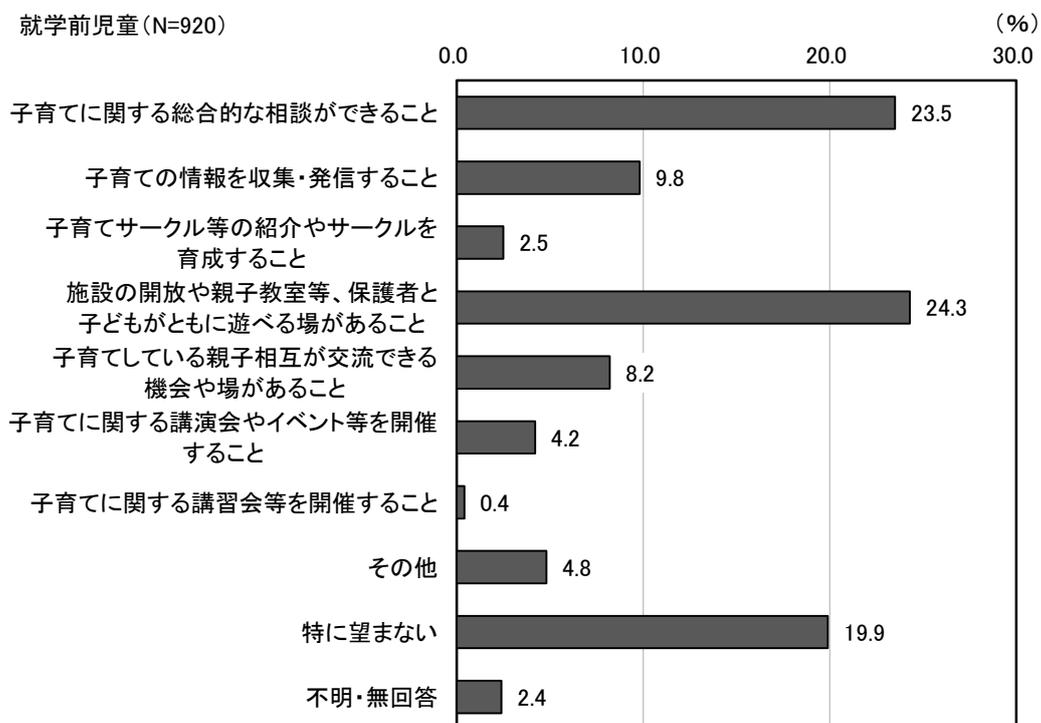
地域の子どもの遊び場について、日頃特に不満に感じていることについてみると、「雨の日に遊べる場所がない」が就学前児童で 59.9%、小学生児童で 53.8%と最も高く、次いで就学前児童で「近くに遊び場がない」が 36.3%、小学生児童で「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が 36.6%となっています。



## (5) 地域子育て支援センターや親子たんとん広場に対して、必要だと思う事業

〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 11〕

地域子育て支援センターや親子たんとん広場に対して、必要だと思う事業については、「施設の開放や親子教室等、保護者と子どもがともに遊べる場があること」が24.3%と最も高く、次いで「子育てに関する総合的な相談ができること」が23.5%となっています。



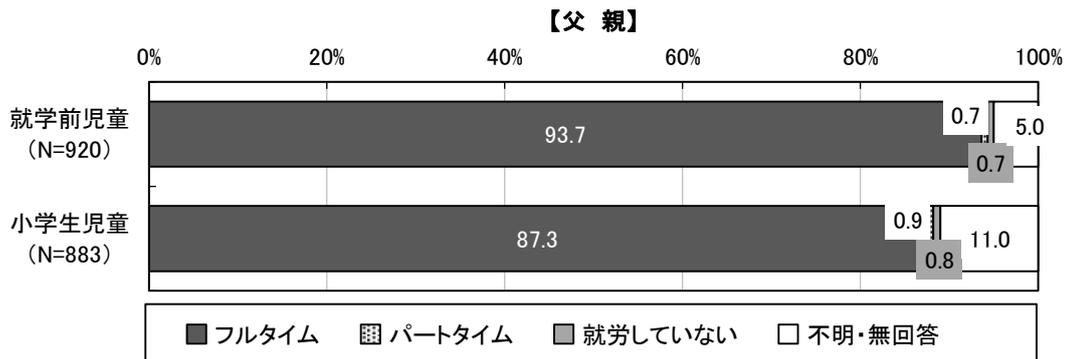
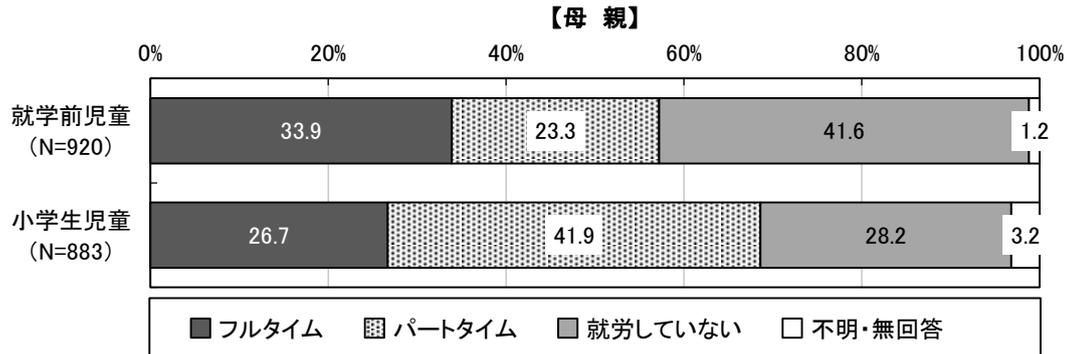
### 3 保護者の就労状況について

#### (1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問12・小学生児童調査…問10〕

現在の就労状況についてみると、母親では就学前児童で「就労していない」が41.6%、小学生児童で「パートタイム」が41.9%と最も高くなっています。

父親では「フルタイム」が就学前児童で93.7%、小学生児童で87.3%と大部分を占めています。

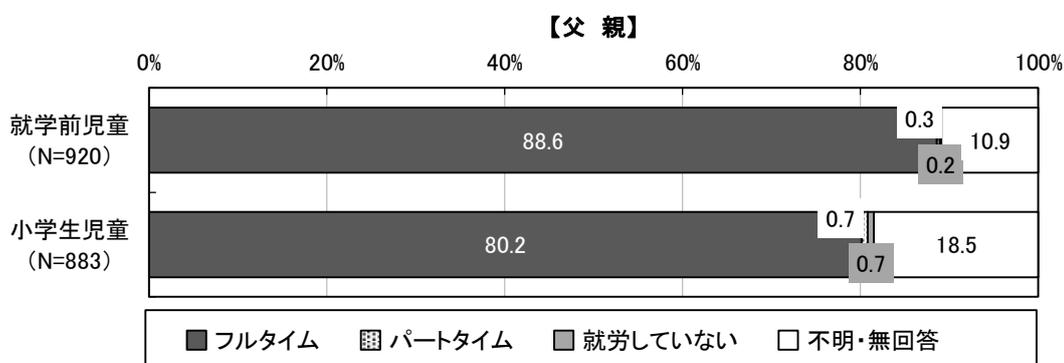
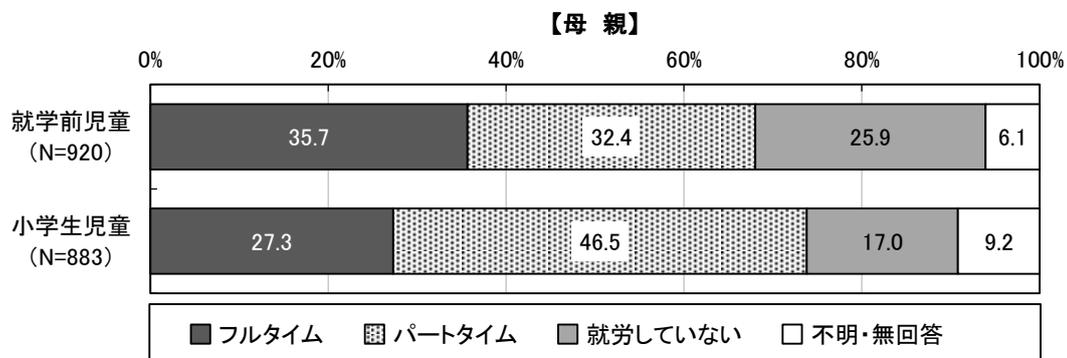
#### ①現在の就労状況



希望の就労状況についてみると、母親では就学前児童で「フルタイム」が35.7%、小学生児童で「パートタイム」が46.5%と最も高くなっています。

父親では「フルタイム」が就学前児童で88.6%、小学生児童で80.2%と大部分を占めています。

## ②希望の就労状況



①②のどちらかまたは両方で「パートタイム」を選んだ方

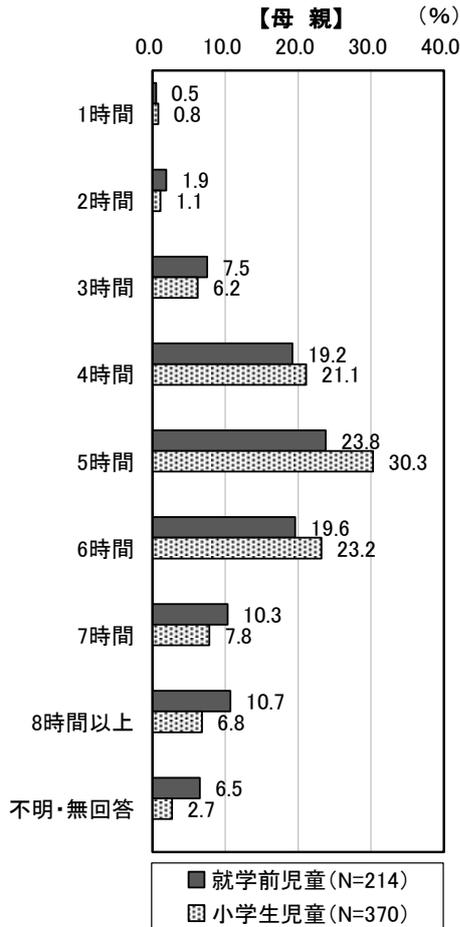
(1) - 1 パートタイムの方の勤務状況

[就学前児童調査…問 12-1 ・小学生児童調査…問 10-1]

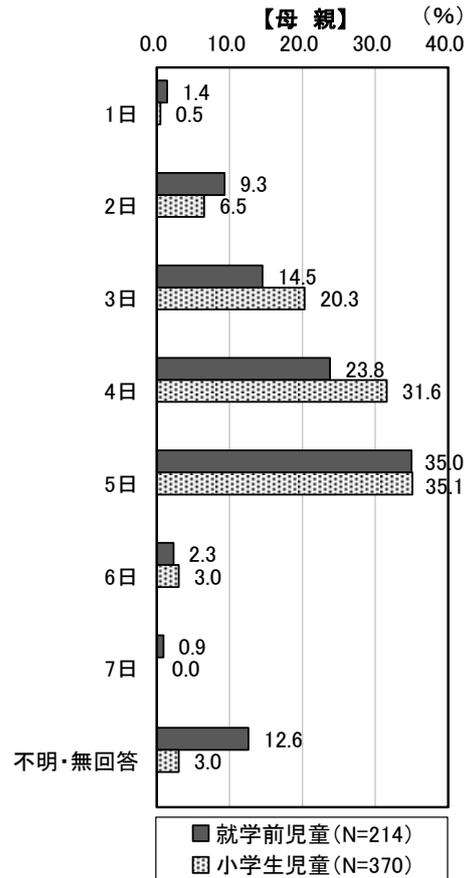
現在の勤務状況についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに1日の平均勤務時間は「5時間」、週平均勤務日数は「5日」がそれぞれ最も高くなっています。

①現在の勤務状況

◎ 1日平均勤務時間〈数量回答〉



◎ 週平均勤務日数〈数量回答〉



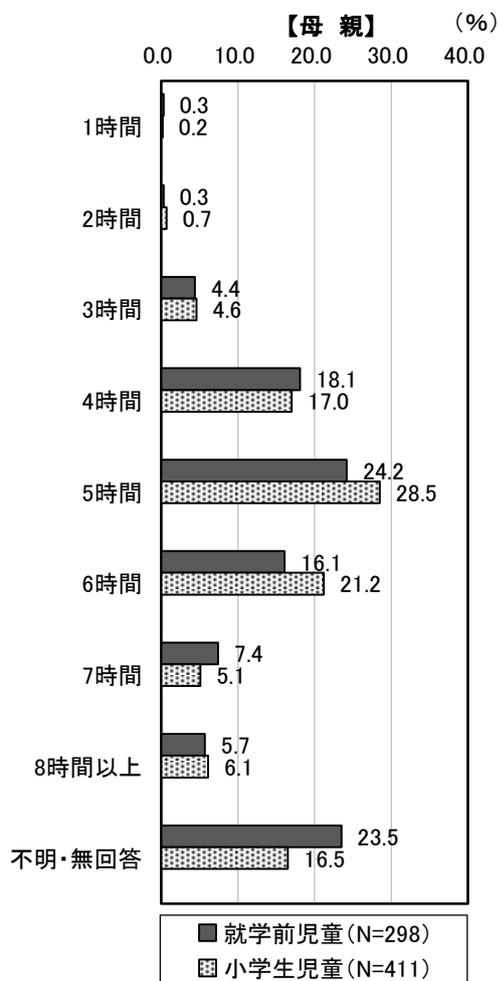
【父親】現在の勤務時間	就学前児童 (N=6)		小学生児童 (N=8)	
	件数	%	件数	%
1時間	0	0.0	0	0.0
2時間	0	0.0	0	0.0
3時間	0	0.0	1	12.5
4時間	1	16.7	0	0.0
5時間	0	0.0	0	0.0
6時間	0	0.0	1	12.5
7時間	2	33.3	1	12.5
8時間以上	1	16.7	1	12.5
不明・無回答	2	33.3	4	50.0

【父親】現在の勤務日数	就学前児童 (N=6)		小学生児童 (N=8)	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	1	16.7	1	12.5
4日	0	0.0	0	0.0
5日	2	33.3	3	37.5
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	3	50.0	4	50.0

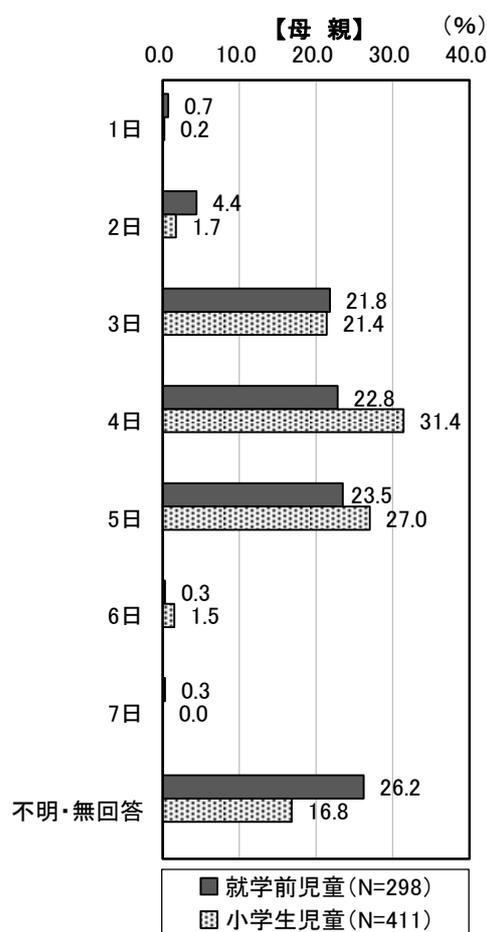
希望の勤務状況についていると、母親では就学前児童、小学生児童ともに1日の平均勤務時間は「5時間」が最も高くなっています。週平均勤務日数は就学前児童で「5日」、小学生児童で「4日」がそれぞれ最も高くなっています。

## ②希望の勤務状況

### ◎ 1日平均勤務時間〈数量回答〉



### ◎ 週平均勤務日数〈数量回答〉



【父親】 希望の 勤務時間	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=6)	
	件数	%	件数	%
1時間	0	0.0	0	0.0
2時間	0	0.0	0	0.0
3時間	0	0.0	1	16.7
4時間	0	0.0	0	0.0
5時間	0	0.0	0	0.0
6時間	0	0.0	1	16.7
7時間	0	0.0	0	0.0
8時間以上	2	66.7	1	16.7
不明・無回答	1	33.3	3	50.0

【父親】 希望の 勤務日数	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=6)	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	0	0.0	1	16.7
4日	0	0.0	0	0.0
5日	1	33.3	2	33.3
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	66.7	3	50.0

**(1) -②で「就労していない」を選んだ方**

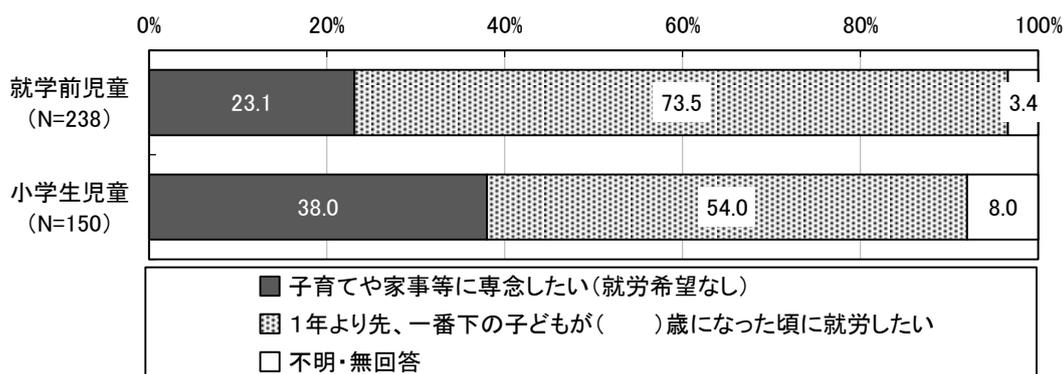
**(1) - 2 1年よりも先、将来的な就労希望〈単数回答〉**

〔就学前児童調査…問 12-2・小学生児童調査…問 10-2〕

1年よりも先、将来的な就労希望についてみると、「1年よりも先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい」が就学前児童で73.5%、小学生児童で54.0%となっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかでは、就学前児童で「5～6歳」、小学生児童で「7～8歳」の割合が高くなっています。

**【母親】**



※父親の該当者はいませんでした。

**「1年よりも先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」を選んだ方**

◎一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

**【母親】**

	就学前児童 (N=175)		小学生児童 (N=81)	
	件数	%	件数	%
1～2歳	11	6.3	3	3.7
3～4歳	32	18.3	3	3.7
5～6歳	64	36.6	17	21.0
7～8歳	36	20.6	23	28.4
9～10歳	8	4.6	11	13.6
11～12歳	3	1.7	13	16.0
13歳以上	1	0.6	9	11.1
不明・無回答	20	11.4	2	2.5

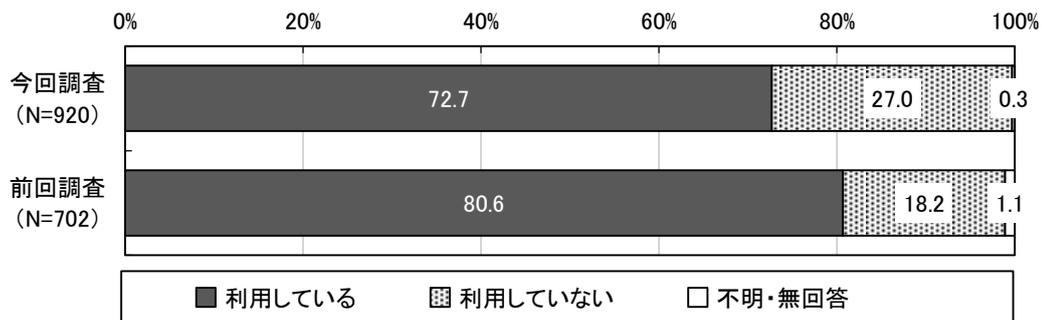
## 4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

### （1）現在の「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 13〕

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が72.7%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」が8.8ポイント増加しています。

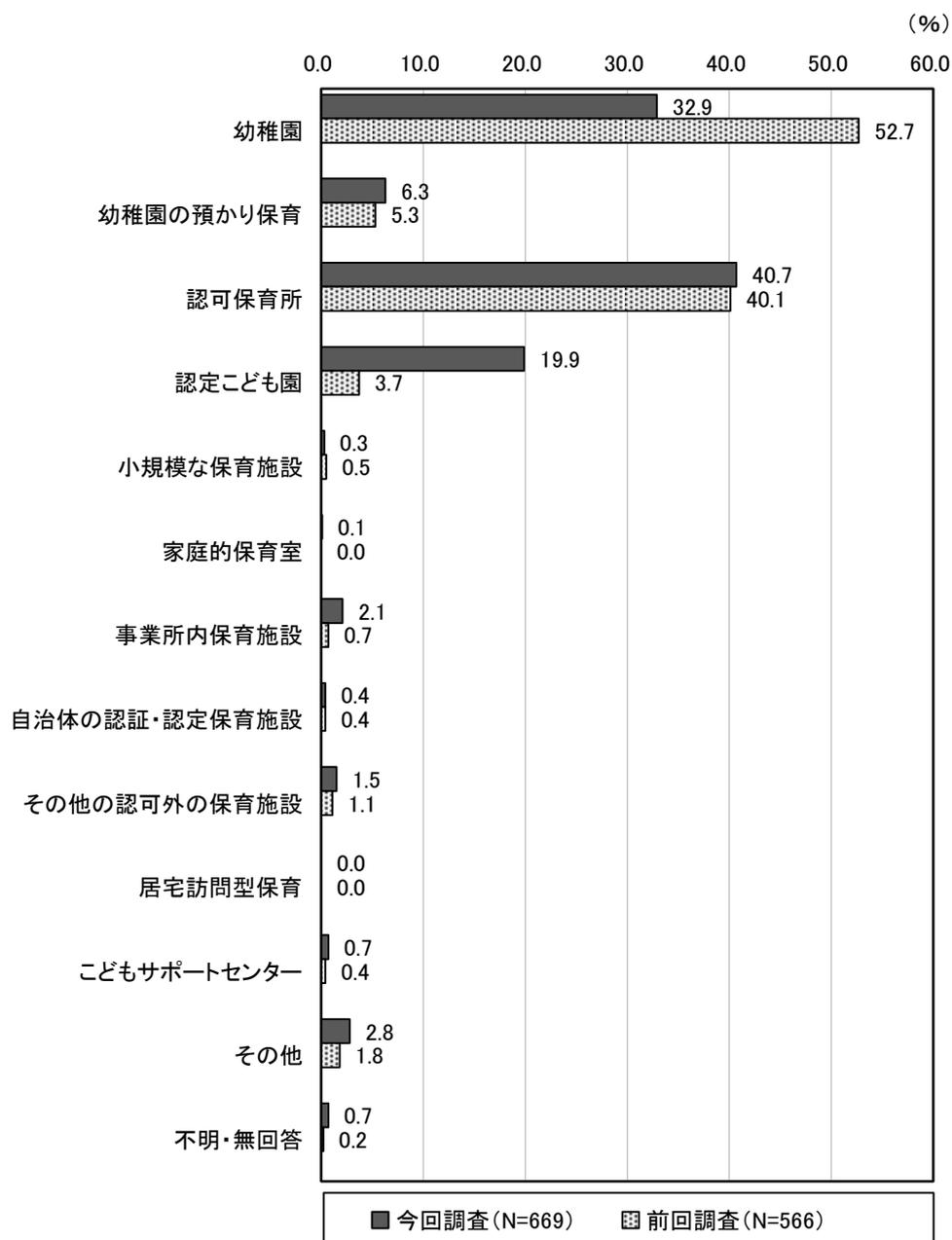


**(1) で「利用している」を選んだ方**

**(1) - 1 平日に利用している教育・保育の事業〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 13-1〕

平日に利用している教育・保育の事業についてみると、「認可保育所」が 40.7%、「幼稚園」が 32.9%、「認定こども園」が 19.9%となっています。

前回調査と比較すると、「認定こども園」が 16.2 ポイント増加している一方で、「幼稚園」が 19.8 ポイント減少しています。



**(1)で「利用している」を選んだ方**

**(1) - 2 平日に利用している教育・保育の事業の現在の状況と、今後の利用希望**

〈数量回答〉〔就学前児童調査…問13-2〕

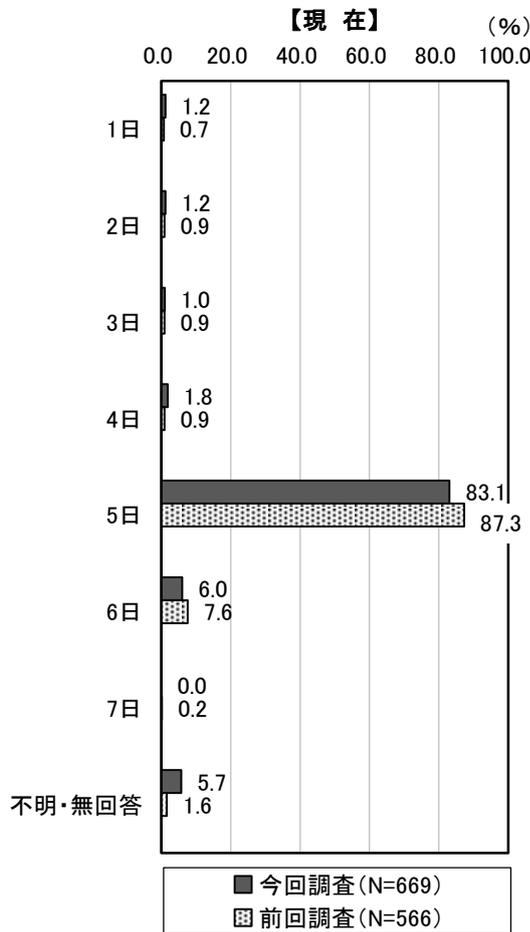
平日に利用している教育・保育の事業の現在の状況についてみると、1週当たりの利用日数は「5日」、1日当たりの利用時間は「6時間」「10時間以上」が最も高くなっています。

また、利用開始時間は「8時」、利用終了時間は「14時」が最も高くなっています。

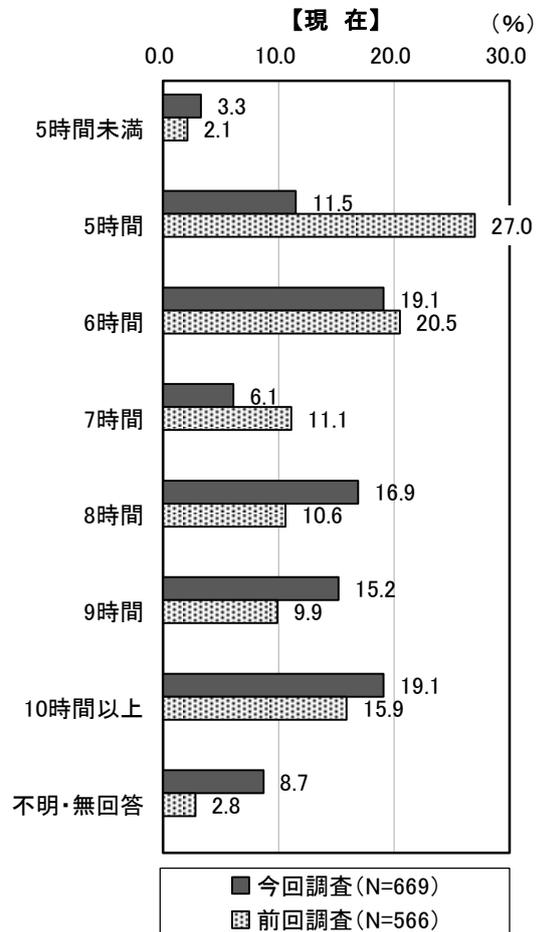
前回調査と比較すると、1週当たりの利用日数、利用開始時間ではほぼ同様の結果となっています。1日当たりの利用時間で「5時間」が15.5ポイント減少しています。また、1日当たりの利用終了時間で「14時」が17.3ポイント減少しています。

①現在

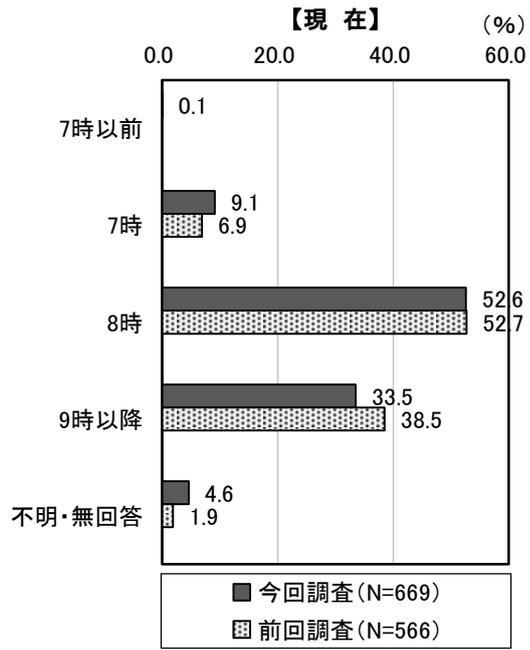
◎ 1週当たりの利用日数 〈数量回答〉



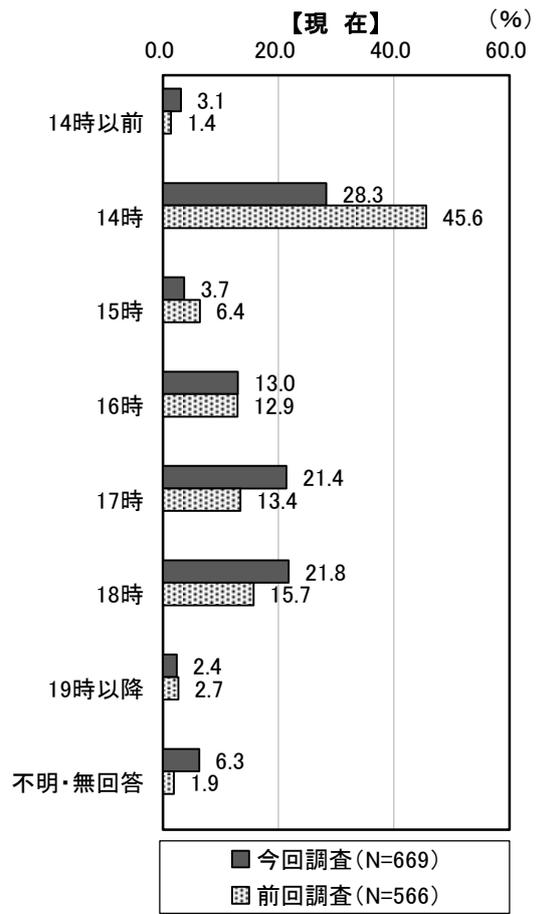
◎ 1日当たりの利用時間 〈数量回答〉



◎利用開始時間〈数量回答〉



◎利用終了時間〈数量回答〉



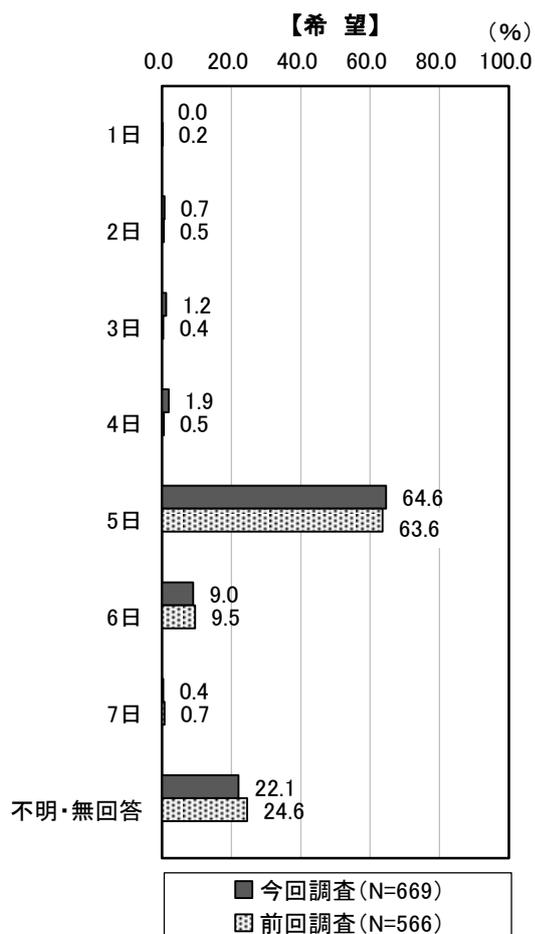
平日に利用している教育・保育の事業の希望についてみると、1週当たりの利用日数は「5日」、1日当たりの利用時間は「8時間」が最も高くなっています。

また、利用開始時間は「8時」、利用終了時間は「16時」が最も高くなっています。

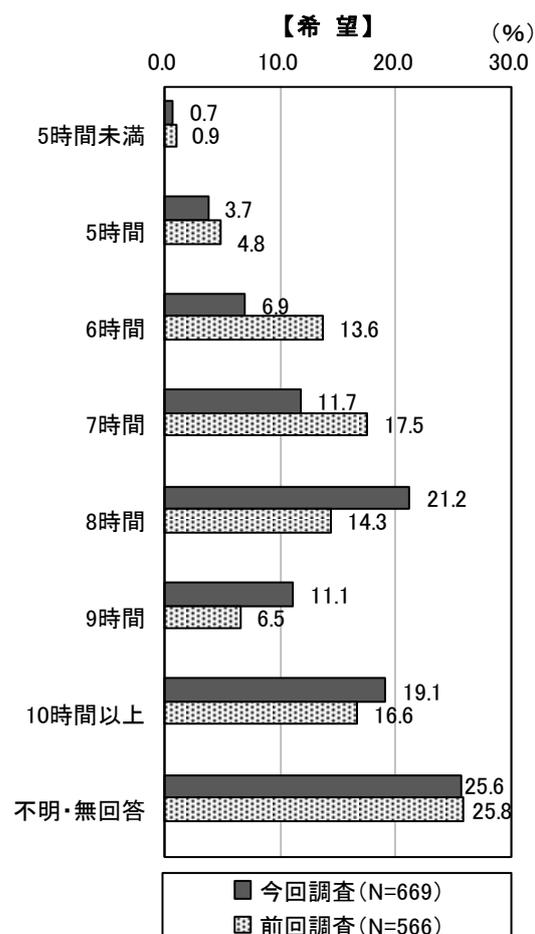
前回調査と比較すると、1週当たりの利用日数、利用開始時間ではほぼ同様の結果となっています。1日当たりの利用時間で「8時間」が6.9ポイント増加している一方で、「6時間」が6.7ポイント減少しています。また、1日当たりの利用終了時間で「15時」が10.1ポイント減少しています。

## ②希望

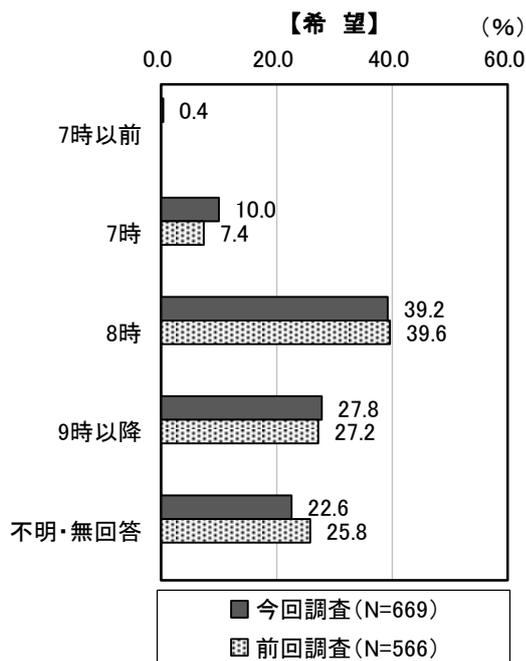
### ◎ 1週当たりの利用日数〈数量回答〉



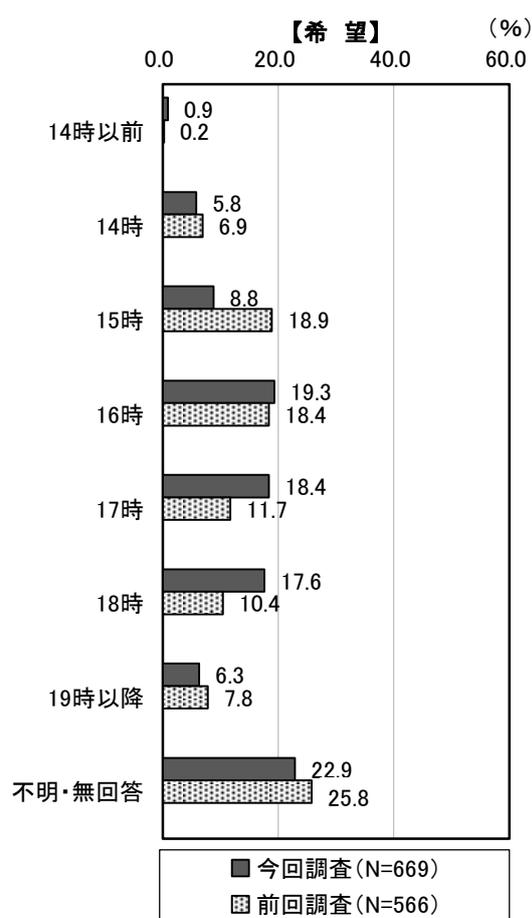
### ◎ 1日当たりの利用時間〈数量回答〉



◎利用開始時間〈数量回答〉



◎利用終了時間〈数量回答〉

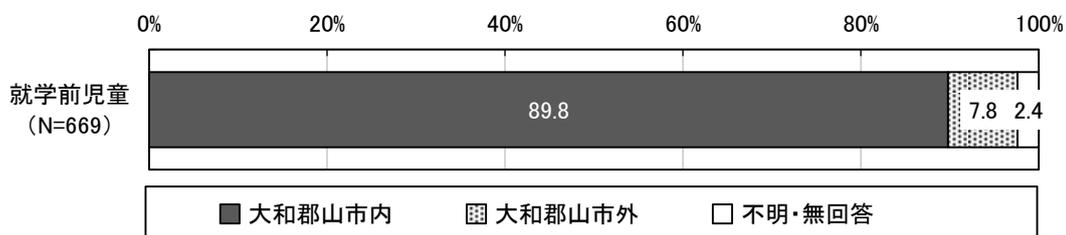


(1) で「利用している」を選んだ方

(1) - 3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 13-3〕

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「大和郡山市内」が 89.8%と大部分を占めています。

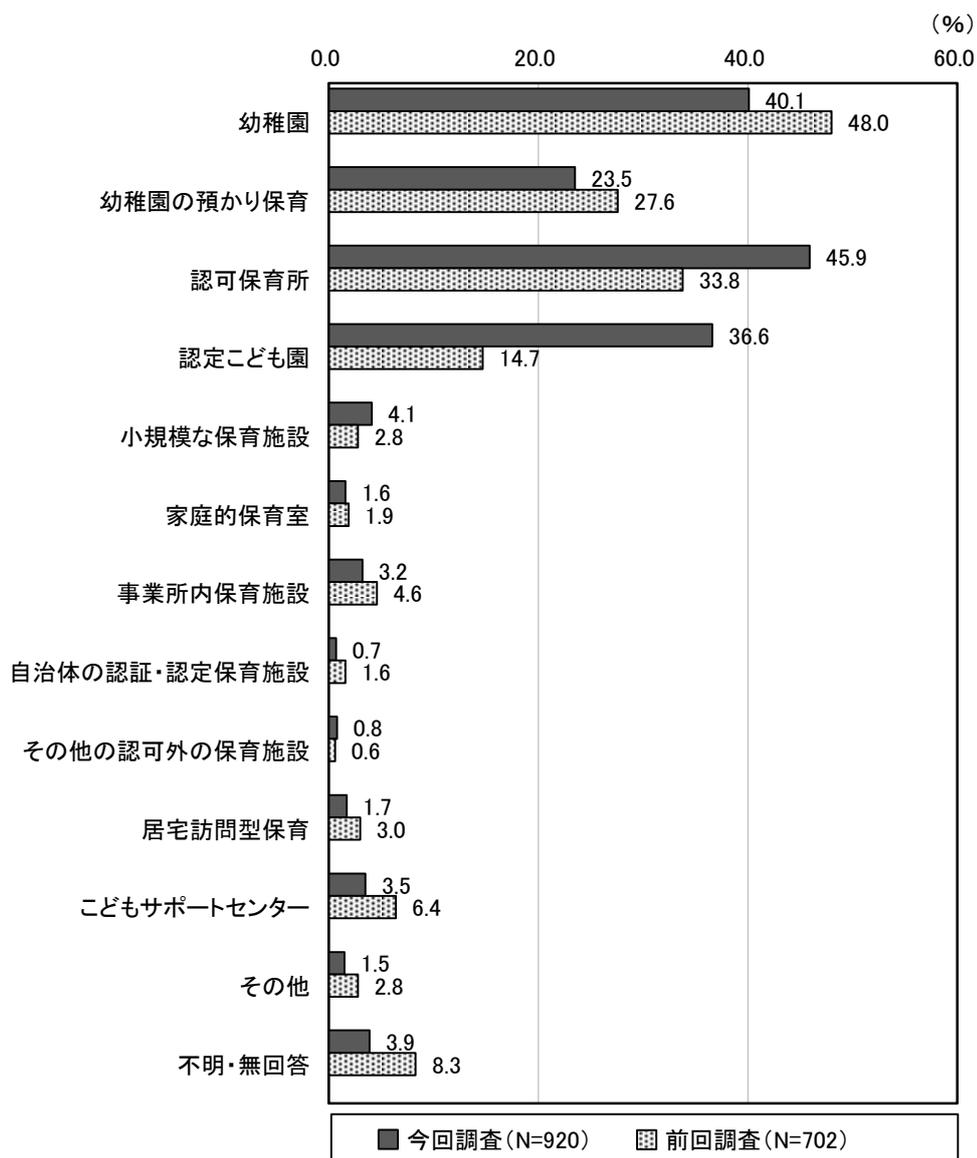


(2) 幼児教育・保育の無償化が開始になった場合、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業

〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 14〕

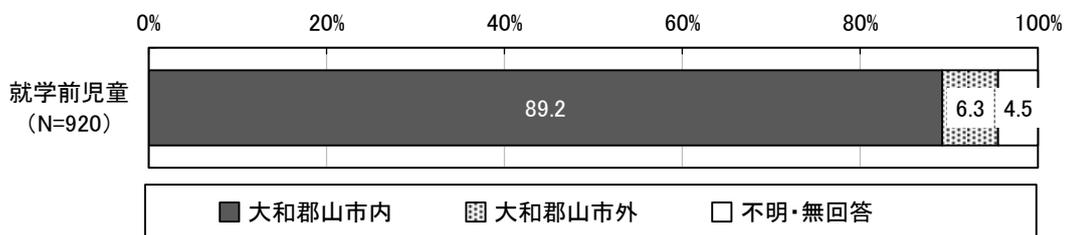
平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業についてみると、「認可保育所」が 45.9%、「幼稚園」が 40.1%、「認定こども園」が 36.6%となっています。

前回調査と比較すると、「幼稚園」が 7.9 ポイント減少している一方で、「認定こども園」が 21.9 ポイント、「認可保育所」が 12.1 ポイント増加しています。



(2) - 1 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 14-1〕

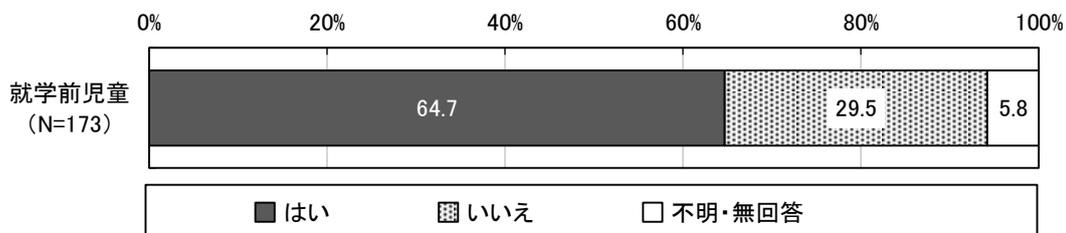
教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「大和郡山市内」が 89.2%と大部分を占めています。



(2) で「幼稚園」とその他の選択肢を選んだ方

(2) - 2 幼稚園の強い利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 14-2〕

幼稚園の強い利用希望についてみると、「はい」が 64.7%、「いいえ」が 29.5%となっています。



## 5 地域の子育て支援事業の利用状況等について（就学前児童）

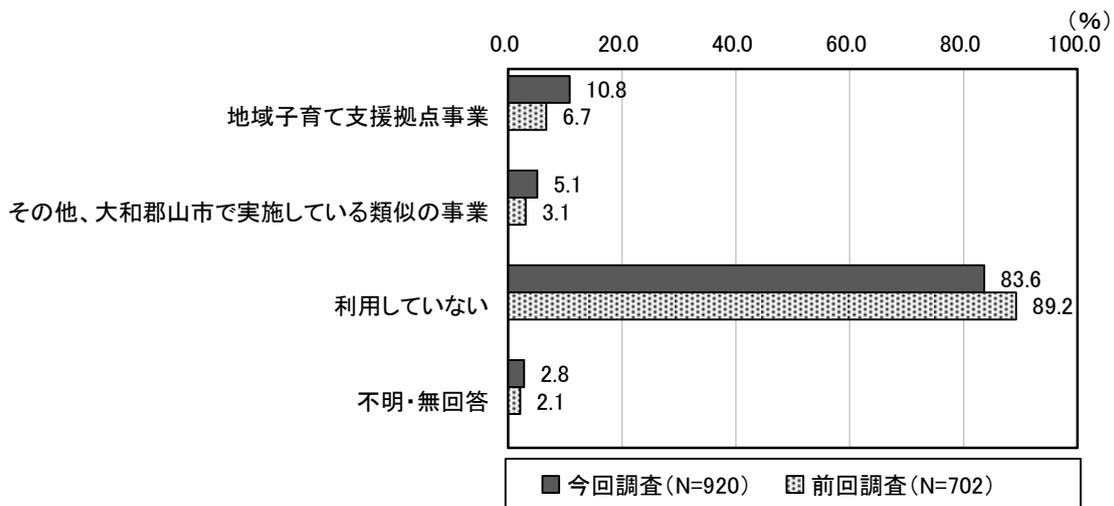
### （1）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問15〕

現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業」が10.8%、「その他、大和郡山市で実施している類似の事業」が5.1%となっています。一方、「利用していない」は83.6%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」が5.6ポイント減少しています。

また、1週当たり、1ヶ月当たりの利用回数では、すべての項目で「1回」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



### 「地域子育て支援拠点事業」「その他、大和郡山市で実施している類似の事業」を選んだ方

#### ◎ 1週当たりの利用回数〈数量回答〉

【今回調査】 1週間当たりの 利用回数	①親子たんとん 広場 (N=99)		②地域子育て 支援センター (N=99)		その他、大和郡 山市で実施して いる類似の事業 (N=47)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	15	15.2	9	9.1	7	14.9
2回	9	9.1	3	3.0	4	8.5
3回	4	4.0	5	5.1	4	8.5
4回	0	0.0	0	0.0	1	2.1
5回以上	0	0.0	1	1.0	0	0.0
不明・無回答	71	71.7	81	81.8	31	66.0

#### ◎ 1ヶ月当たりの利用回数〈数量回答〉

【今回調査】 1ヶ月当たりの 利用回数	①親子たんとん 広場 (N=99)		②地域子育て 支援センター (N=99)		その他、大和郡 山市で実施して いる類似の事業 (N=47)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	16	16.2	13	13.1	15	31.9
2回	8	8.1	12	12.1	5	10.6
3回	7	7.1	2	2.0	3	6.4
4回	1	1.0	2	2.0	3	6.4
5回以上	2	2.0	6	6.1	2	4.3
不明・無回答	65	65.7	64	64.6	19	40.4

【前回調査】 1週間当たりの 利用回数	①親子たんとん 広場 (N=47)		②地域子育て 支援センター (N=47)		その他、大和郡 山市で実施して いる類似の事業 (N=22)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	11	23.4	3	6.4	5	22.7
2回	6	12.8	4	8.5	3	13.6
3回	2	4.3	1	2.1	0	0.0
4回	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5回以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	28	59.6	39	83.0	14	63.6

【前回調査】 1ヶ月当たりの 利用回数	①親子たんとん 広場 (N=47)		②地域子育て 支援センター (N=47)		その他、大和郡 山市で実施して いる類似の事業 (N=22)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	9	19.1	8	17.0	8	36.4
2回	6	12.8	3	6.4	2	9.1
3回	2	4.3	1	2.1	2	9.1
4回	2	4.3	0	0.0	1	4.5
5回以上	2	4.3	1	2.1	0	0.0
不明・無回答	26	55.3	34	72.3	9	40.9

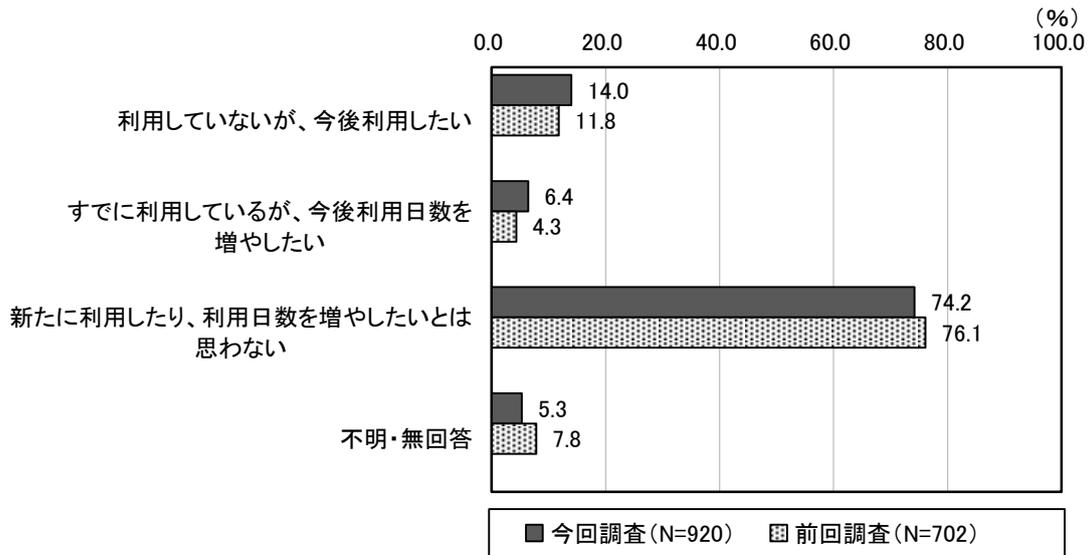
(2) 今後の地域子育て支援拠点事業の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 16〕

今後の地域子育て支援拠点事業の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が74.2%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

また、1週当たりの利用希望回数では、すべての項目で「1回」が高くなっています。1ヶ月当たりの利用希望回数では、『親子たんとん広場』『地域子育て支援センター』で「1回」、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』で「2回」が高くなっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方

◎ 希望する1週当たりの利用回数〈数量回答〉

【今回調査】 1週間当たりの 希望利用回数	①親子たんとん 広場 (N=129)		②地域子育て 支援センター (N=129)		すでに利用して いるが、今後 利用日数を 増やしたい (N=59)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	33	25.6	15	11.6	21	35.6
2回	13	10.1	5	3.9	10	16.9
3回	2	1.6	2	1.6	4	6.8
4回	1	0.8	0	0.0	0	0.0
5回以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	80	62.0	107	82.9	24	40.7

◎ 希望する1ヶ月当たりの利用回数〈数量回答〉

【今回調査】 1ヶ月当たりの 希望利用回数	①親子たんとん 広場 (N=129)		②地域子育て 支援センター (N=129)		すでに利用して いるが、今後 利用日数を 増やしたい (N=59)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	22	17.1	28	21.7	2	3.4
2回	16	12.4	11	8.5	7	11.9
3回	4	3.1	3	2.3	6	10.2
4回	7	5.4	2	1.6	1	1.7
5回以上	1	0.8	2	1.6	4	6.8
不明・無回答	79	61.2	83	64.3	39	66.1

【前回調査】 1週間当たりの 希望利用回数	①親子たんとん 広場 (N=83)		②地域子育て 支援センター (N=83)		すでに利用して いるが、今後 利用日数を 増やしたい (N=30)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	10	12.0	12	14.5	7	23.3
2回	2	2.4	0	0.0	4	13.3
3回	0	0.0	0	0.0	1	3.3
4回	2	2.4	0	0.0	0	0.0
5回以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	69	83.1	71	85.5	18	60.0

【前回調査】 1ヶ月当たりの 希望利用回数	①親子たんとん 広場 (N=83)		②地域子育て 支援センター (N=83)		すでに利用して いるが、今後 利用日数を 増やしたい (N=30)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1回	22	26.5	21	25.3	4	13.3
2回	10	12.0	12	14.5	10	33.3
3回	4	4.8	4	4.8	2	6.7
4回	3	3.6	6	7.2	0	0.0
5回以上	0	0.0	1	1.2	2	6.7
不明・無回答	44	53.0	39	47.0	12	40.0

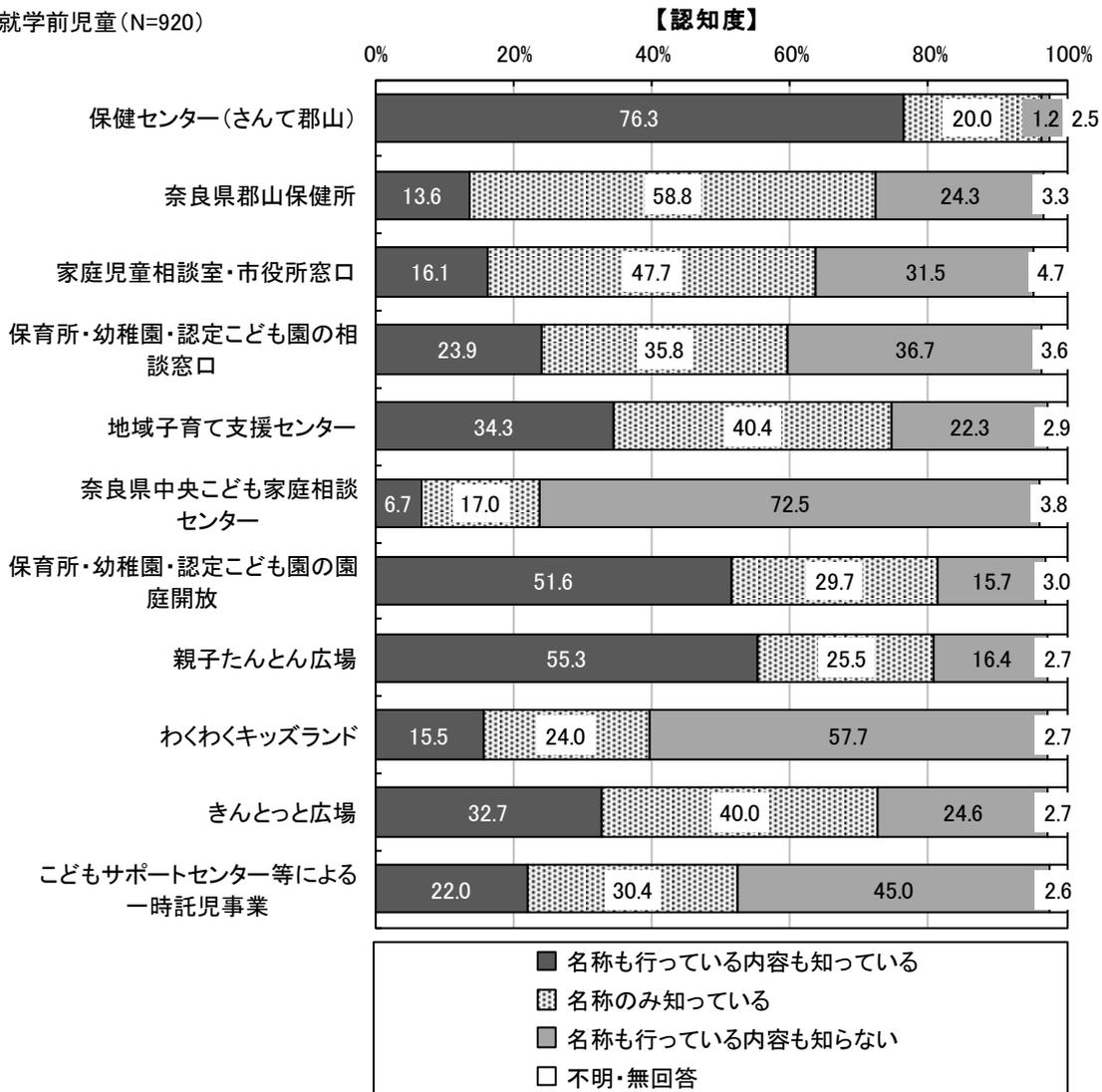
### (3) 子育てに関する機関や子育てサービスの認知度と利用経験、今後の利用意向

〈単数回答〉〔就学前児童調査…問17〕

子育てに関する機関や子育てサービスの[認知度]についてみると、「名称も行っている内容も知っている」では、『保健センター（さんて郡山）』が76.3%と最も高く、次いで『親子たんとん広場』が55.3%となっています。

#### ① 認知度

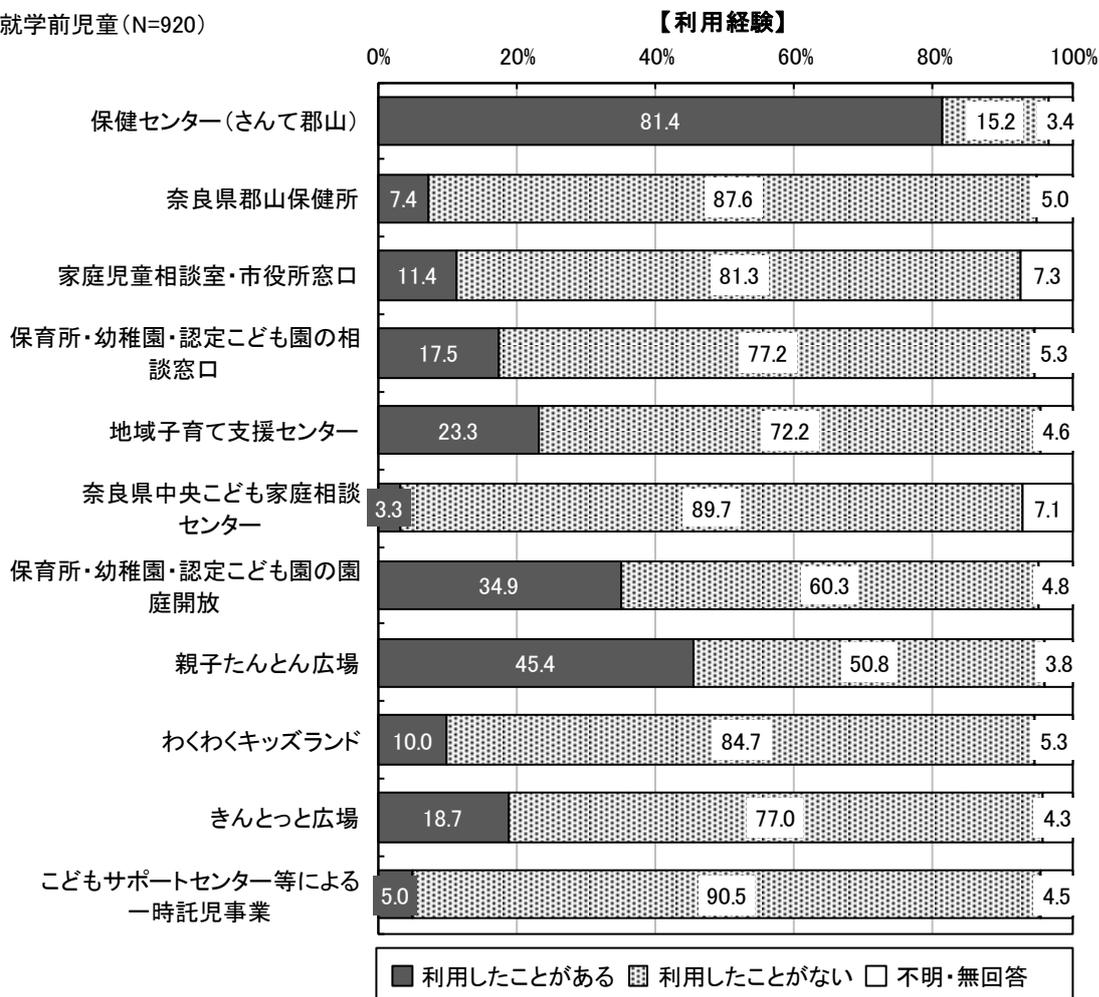
就学前児童(N=920)



子育てに関する機関や子育てサービスの[利用経験]についてみると、「利用したことがある」では、『保健センター（さんて郡山）』が81.4%と最も高く、次いで『親子たんとん広場』が45.4%となっています。

## ②利用経験

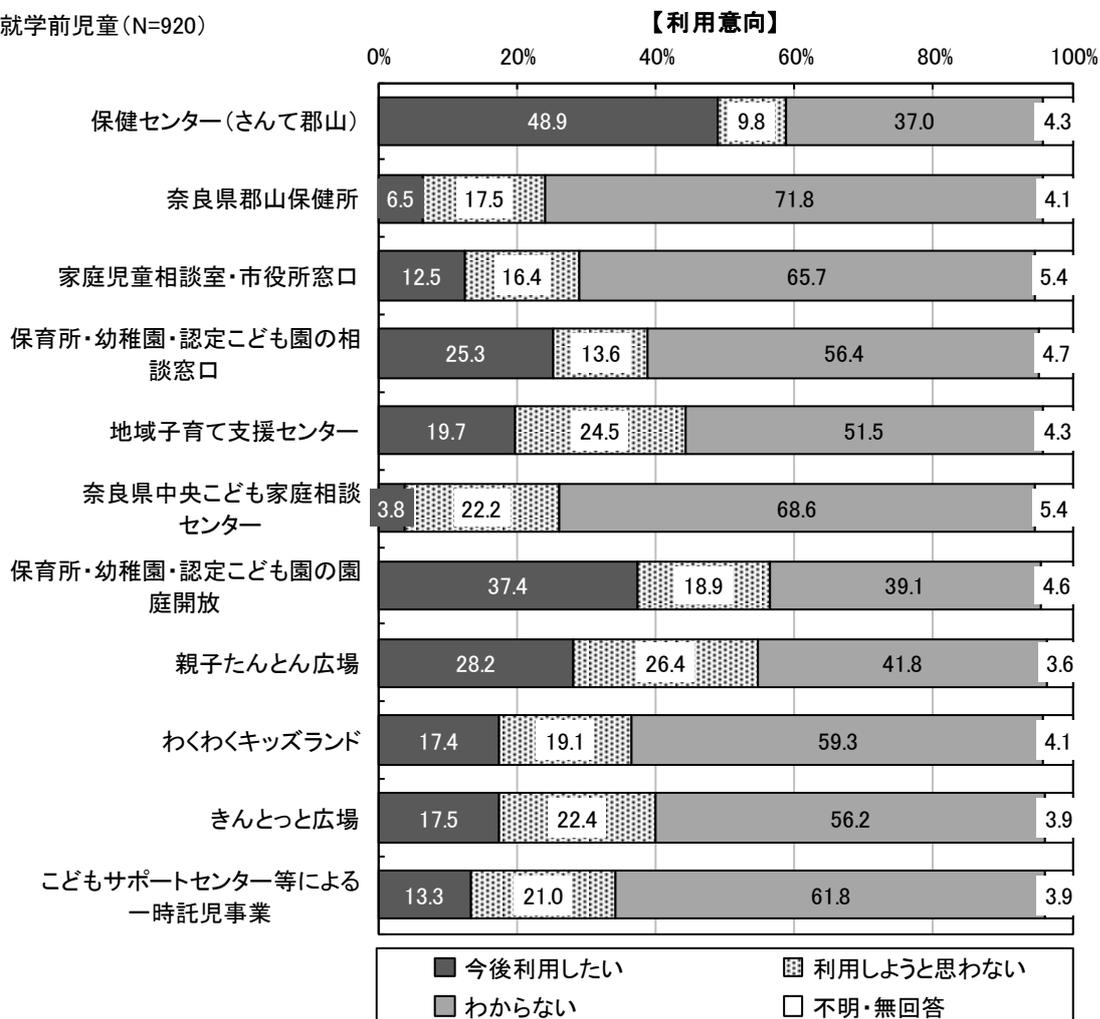
就学前児童(N=920)



子育てに関する機関や子育てサービスの[利用意向]についてみると、「今後利用したい」では、『保健センター（さんて郡山）』が48.9%と最も高く、次いで『保育所・幼稚園の園庭解放』が37.4%となっています。

### ③利用意向

就学前児童(N=920)



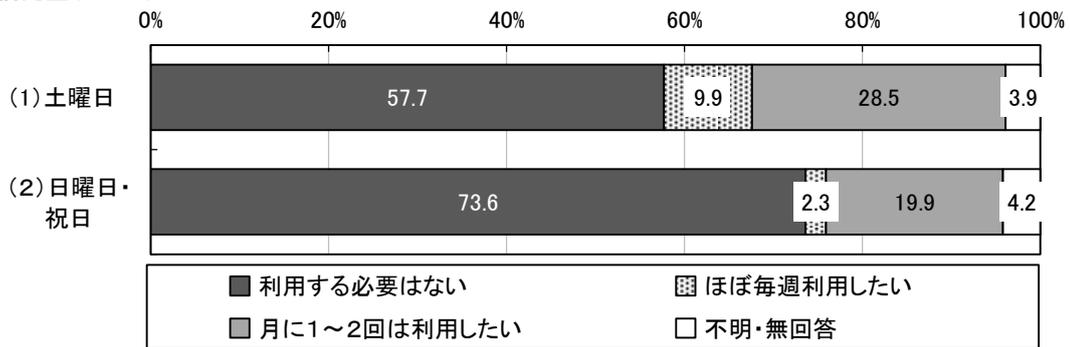
## 6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

（1）土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問18〕

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ57.7%、73.6%と最も高くなっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間で土曜日、日曜日・祝日ともに「9時以降」が最も高くなっています。終了時間で土曜日、日曜日・祝日ともに「18時」が最も高くなっています。

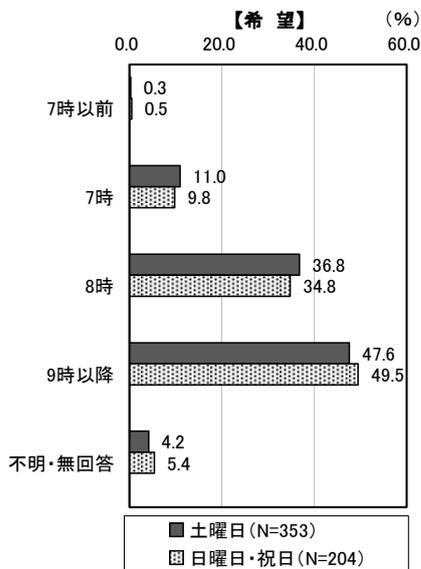
就学前児童(N=920)



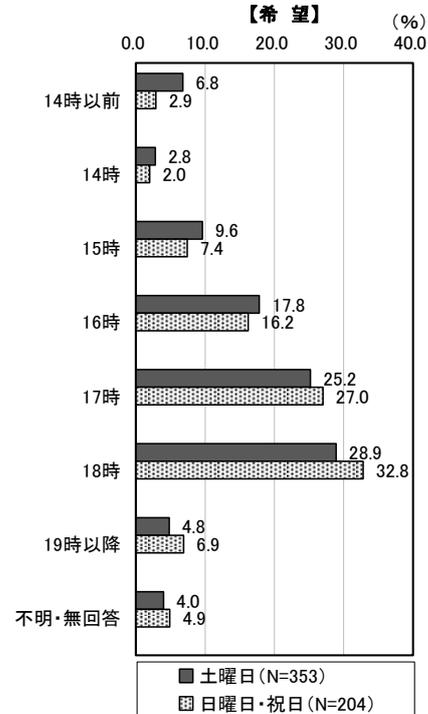
\*事業の利用には、一定の利用料がかかります

### 「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」を選んだ方

◎希望する利用開始時間〈数量回答〉



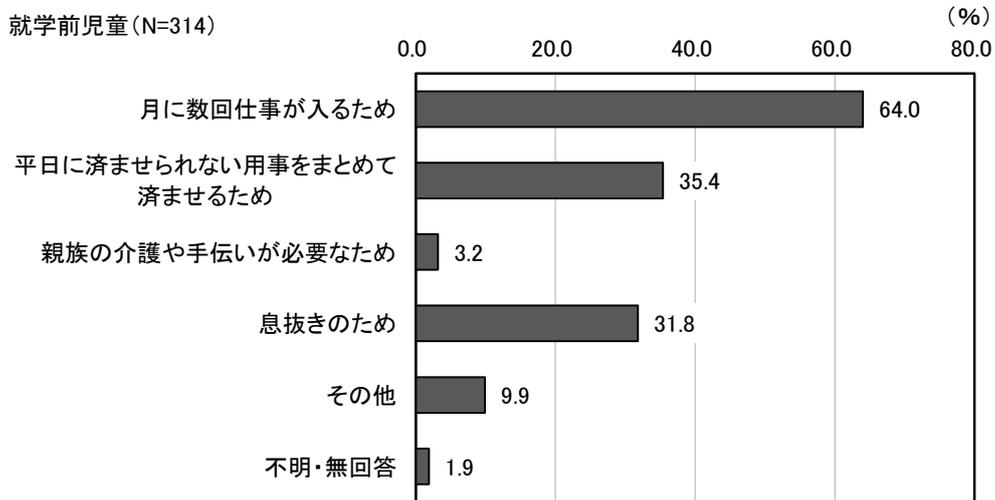
◎希望する利用終了時間〈数量回答〉



**(1) で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方**

(1) - 1 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問18-1〕

毎週ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が64.0%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.4%となっています。

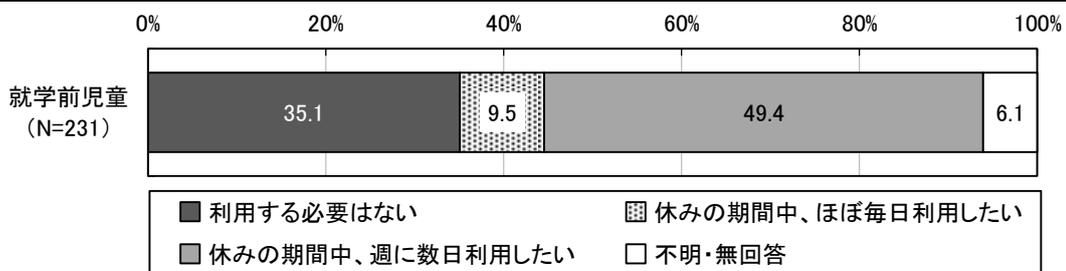


**「幼稚園」を利用されている方**

(2) 夏休み・冬休み等、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問19〕

夏休み・冬休み等、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が49.4%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が35.1%となっています。



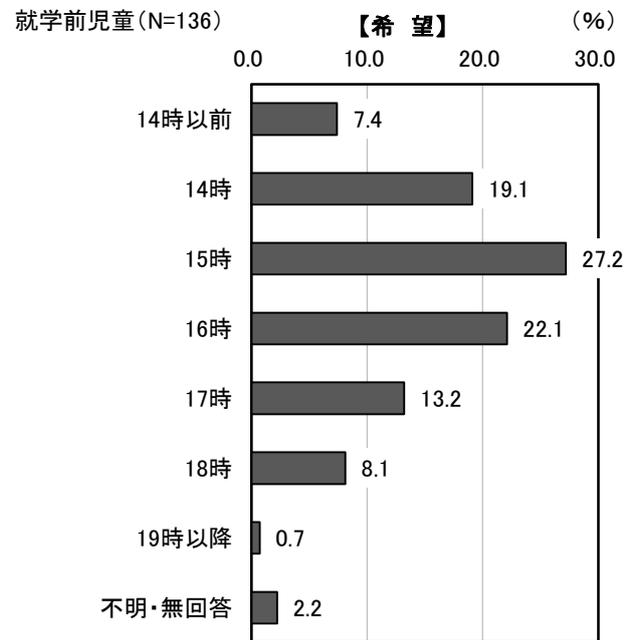
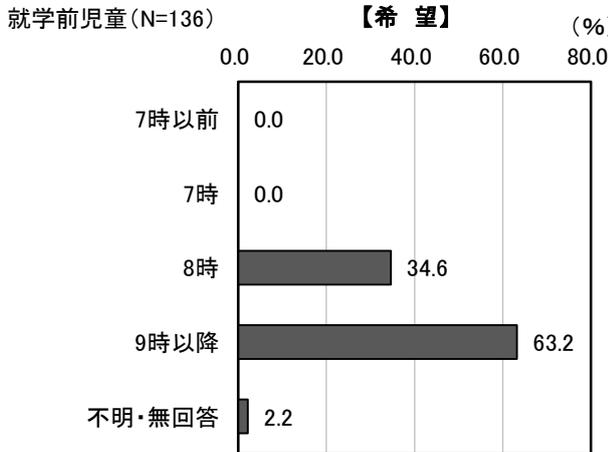
\*事業の利用には、一定の利用料がかかります

希望する利用時間帯については、開始時間は「9時以降」、終了時間は「15時」が最も高くなっています。

**「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方**

◎希望する利用開始時間〈数量回答〉

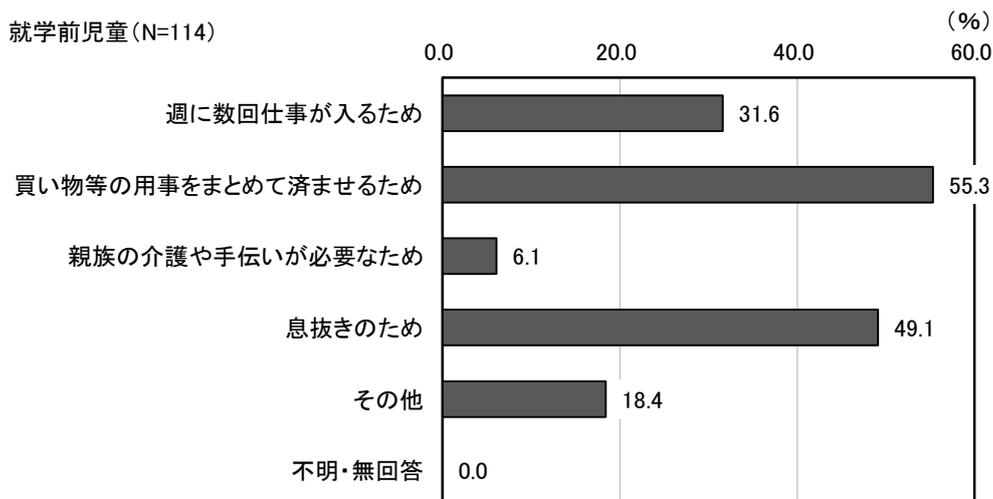
◎希望する利用終了時間〈数量回答〉



**(2)で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方**

(2) - 1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問19-1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が55.3%と最も高く、次いで「息抜きのため」が49.1%となっています。



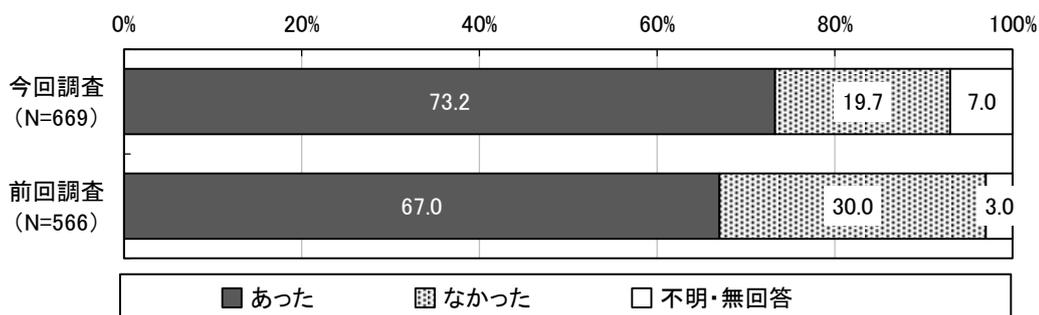
## 7 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）（就学前児童）

（1）この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無  
〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 20〕

この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無についてみると、「あった」が73.2%、「なかった」が19.7%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」が6.2ポイント増加しています。

### 平日の定期的な教育・保育の事業を利用されている方



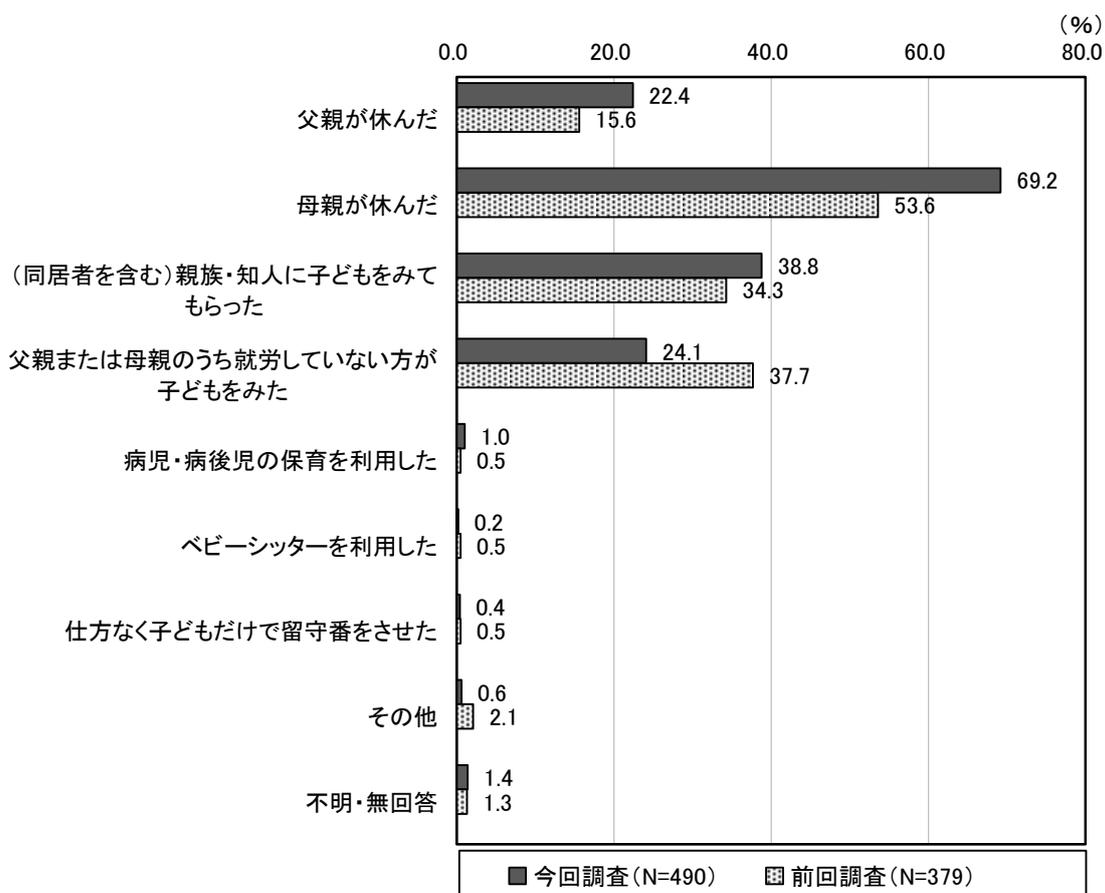
**(1)で「あった」を選んだ方**

**(1) - 1 子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法〈複数回答〉**

〔就学前児童調査…問 20-1〕

子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてみると、「母親が休んだ」が69.2%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が38.8%となっています。

前回調査と比較すると、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が13.6ポイント減少している一方で、「母親が休んだ」が15.6ポイント増加しています。



1年間の対処日数については、『母親が休んだ』『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』『父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた』で「7日以上」が高くなっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

◎ 1年間の対処日数〈数量回答〉

【今回調査】 対処日数 (年間)	父親が休んだ (N=110)		母親が休んだ (N=339)		(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった (N=190)		父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた (N=118)		病児・病後児の保育を利用した(N=5)		ベビーシッターを利用した(N=1)		仕方なく子どもだけで留守番をさせた(N=2)		その他 (N=3)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	23	20.9	25	7.4	23	12.1	10	8.5	2	40.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3
2日	25	22.7	30	8.8	19	10.0	7	5.9	1	20.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
3日	25	22.7	35	10.3	37	19.5	14	11.9	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	33.3
4日	4	3.6	12	3.5	9	4.7	9	7.6	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3
5日	17	15.5	72	21.2	34	17.9	18	15.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	3	0.9	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日以上	8	7.3	120	35.4	49	25.8	51	43.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	8	7.3	42	12.4	18	9.5	9	7.6	1	20.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0

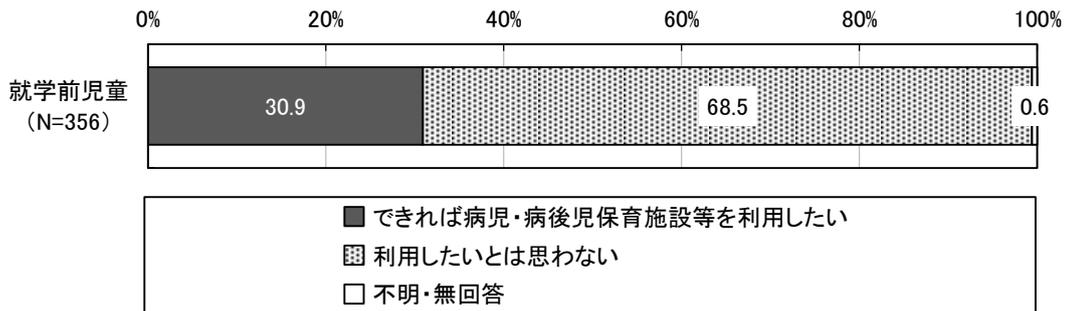
【前回調査】 対処日数 (年間)	父親が休んだ (N=60)		母親が休んだ (N=203)		(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった (N=130)		父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた (N=143)		病児・病後児の保育を利用した(N=2)		ベビーシッターを利用した(N=2)		仕方なく子どもだけで留守番をさせた(N=2)		その他 (N=8)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	16	26.7	19	9.4	19	14.6	14	9.8	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0
2日	16	26.7	27	13.3	29	22.3	17	11.9	0	0.0	1	50.0	1	50.0	2	25.0
3日	12	20.0	34	16.7	23	17.7	21	14.7	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
4日	1	1.7	7	3.4	4	3.1	8	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5
5日	4	6.7	40	19.7	15	11.5	28	19.6	1	50.0	0	0.0	0	0.0	2	25.0
6日	0	0.0	2	1.0	1	0.8	5	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日以上	7	11.7	52	25.6	33	25.4	41	28.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	37.5
不明・無回答	4	6.7	22	10.8	6	4.6	9	6.3	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

**(1) - 1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方**

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 20-2〕

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が30.9%、「利用したいとは思わない」が68.5%となっています。

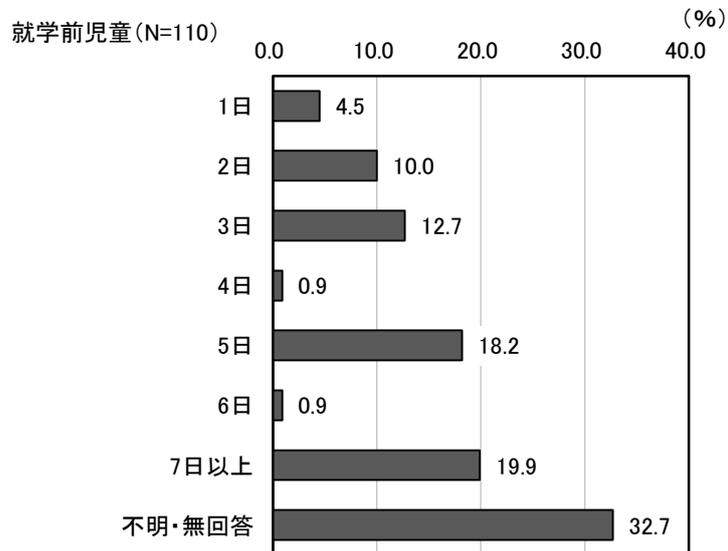
また、できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、「7日以上」が19.9%と最も高く、次いで「5日」が18.2%となっています。



\*事業の利用には、一定の利用料がかかります

**「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方**

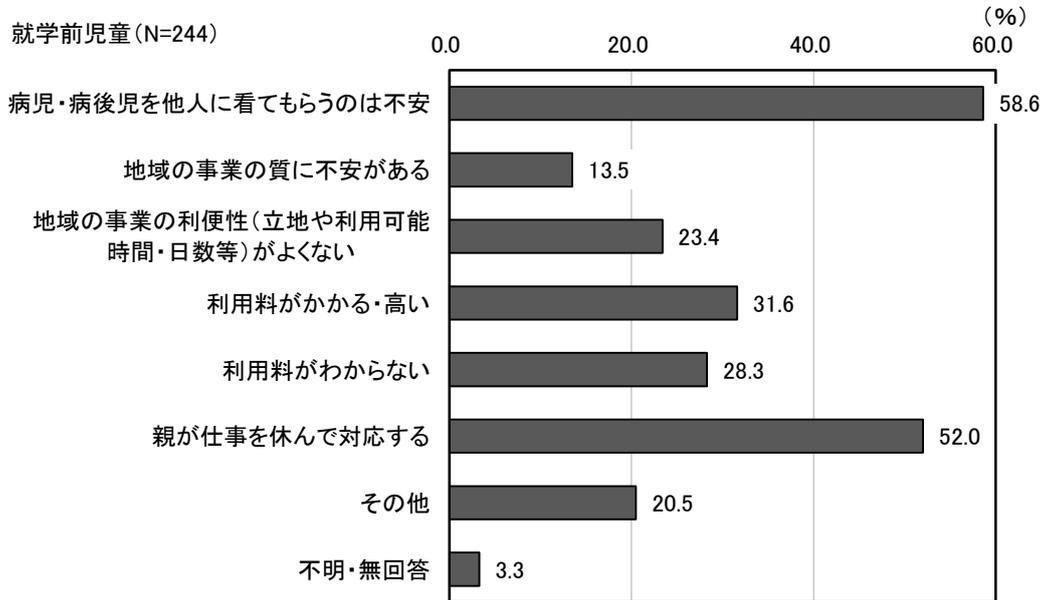
◎病児・病後児保育施設等を利用したい日数〈数量回答〉



**(1) - 2で「利用したいとは思わない」を選んだ方**

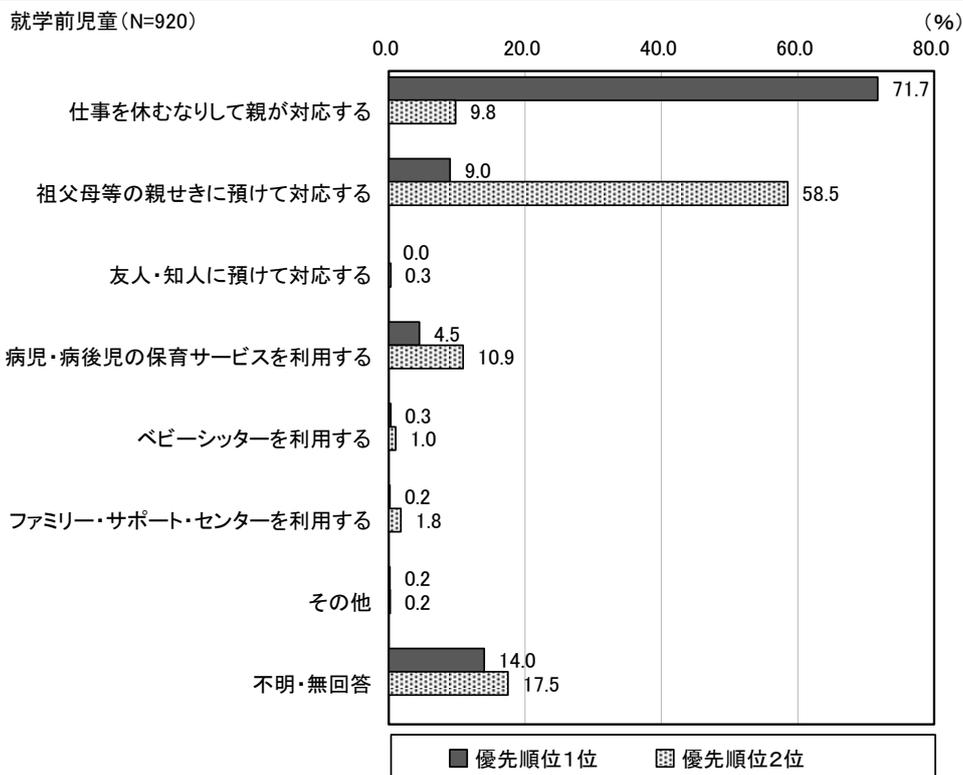
**(1) - 3 利用したいと思わない理由〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 20-3〕

利用したいと思わない理由についてみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が58.6%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が52.0%となっています。



**(2) 病気やケガの際の対応として、あなたが思う理想〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 21〕

病気やケガの際の対応として、あなたが思う理想についてみると、優先順位1位では「仕事を休むなりして親が対応する」が71.7%、優先順位2位では「祖父母等の親せきに預けて対応する」が58.5%と最も高くなっています。

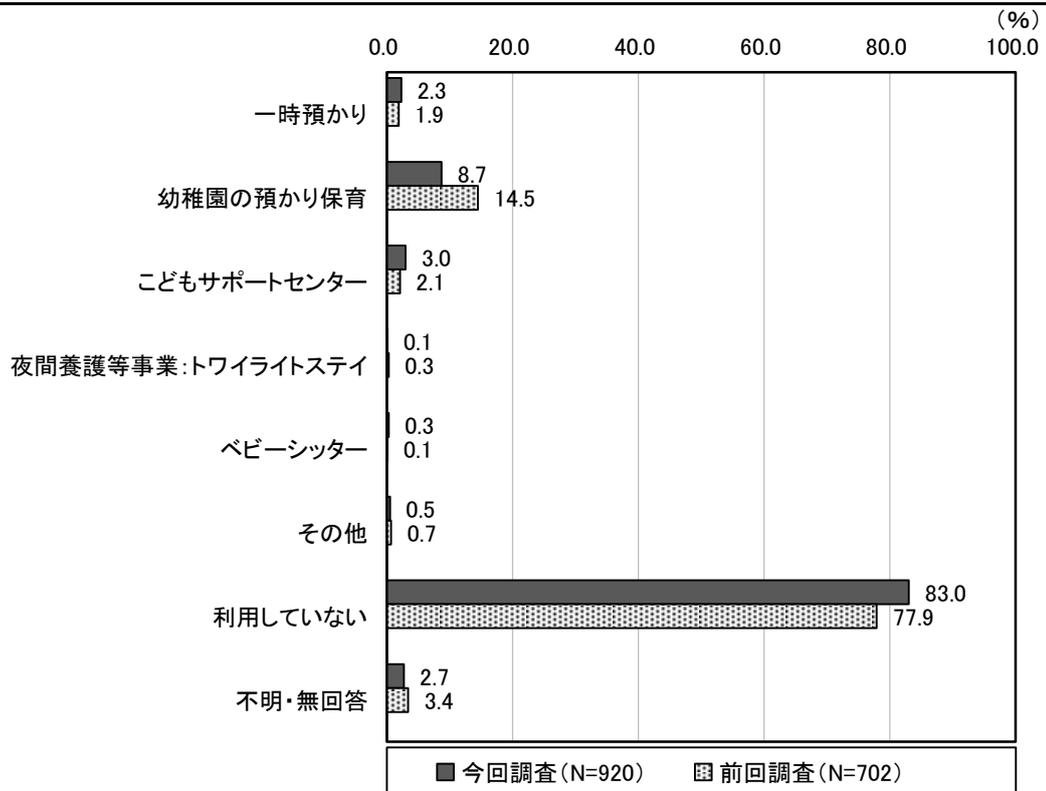


## 8 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について(就学前児童)

(1) 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業の有無  
 (日中の定期的な保育や病気のため以外)〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 22〕

私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業についてみると、「利用していない」が 83.0%となっています。利用している事業では、「幼稚園の預かり保育」が 8.7%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっていますが、「幼稚園の預かり保育」が 5.8 ポイント減少し、「利用していない」が 5.1 ポイント増加しています。



1年間の利用日数については、『幼稚園の預かり保育』で「10日以上」が高くなっています。  
 前回調査と比較すると、『一時預かり』『幼稚園の預かり保育』で利用日数が増加しています。

「利用していない」以外を選んだ方

◎ 1年間の利用日数〈数量回答〉

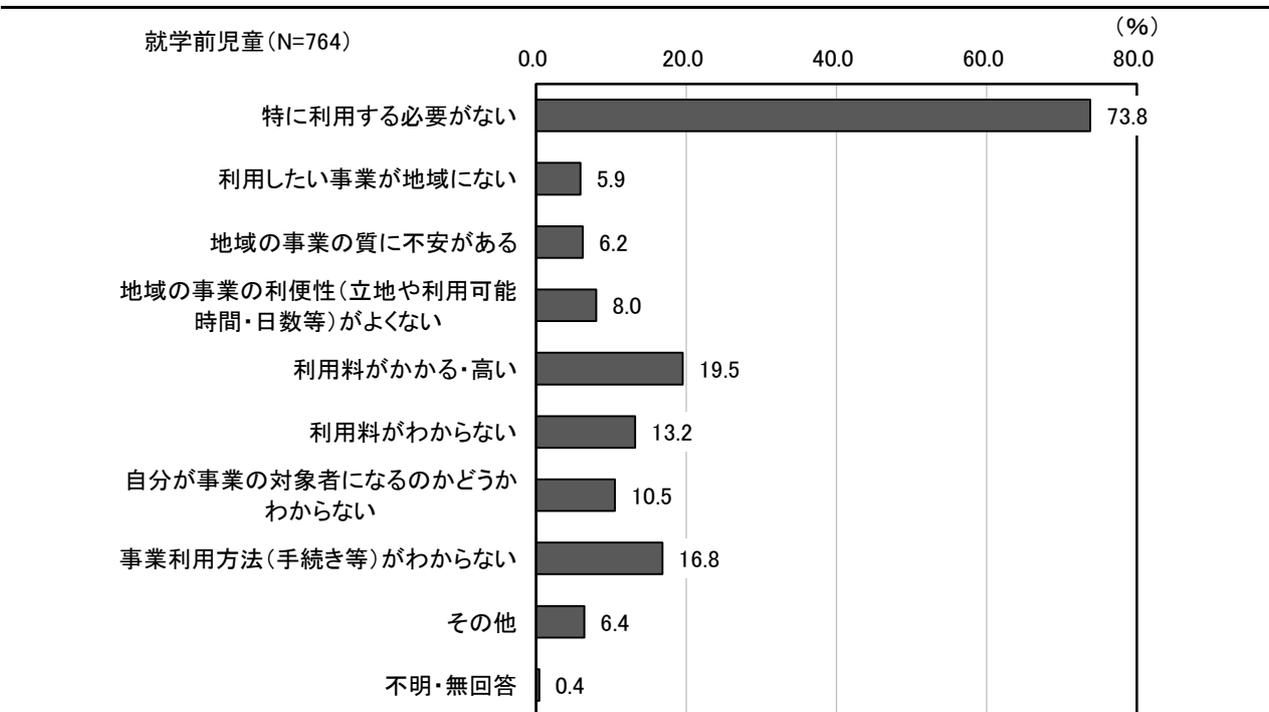
【今回調査】 利用日数 (年間)	一時預かり (N=21)		幼稚園の 預かり保育 (N=80)		こどもサポート センター (N=28)		夜間養護等事 業:トワイライト ステイ(N=1)		ベビーシッター (N=3)		その他 (N=5)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1～3日	5	23.8	13	16.3	13	46.4	0	0.0	2	66.7	0	0.0
4～6日	2	9.5	24	30.0	3	10.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7～9日	0	0.0	10	12.5	1	3.6	1	100.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	10	47.6	27	33.8	8	28.6	0	0.0	1	33.3	4	80.0
不明・無回答	4	19.0	6	7.5	3	10.7	0	0.0	0	0.0	1	20.0

【前回調査】 利用日数 (年間)	一時預かり (N=13)		幼稚園の 預かり保育 (N=102)		こどもサポート センター (N=15)		夜間養護等事 業:トワイライト ステイ(N=2)		ベビーシッター (N=1)		その他 (N=5)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1～3日	4	30.8	36	35.3	7	46.7	1	50.0	1	100.0	0	0.0
4～6日	1	7.7	31	30.4	1	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7～9日	4	30.8	1	1.0	1	6.7	1	50.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	2	15.4	27	26.5	4	26.7	0	0.0	0	0.0	3	60.0
不明・無回答	2	15.4	7	6.9	2	13.3	0	0.0	0	0.0	2	40.0

**(1) で「利用していない」を選んだ方**

**(1) - 1 現在利用していない理由〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 22-1〕

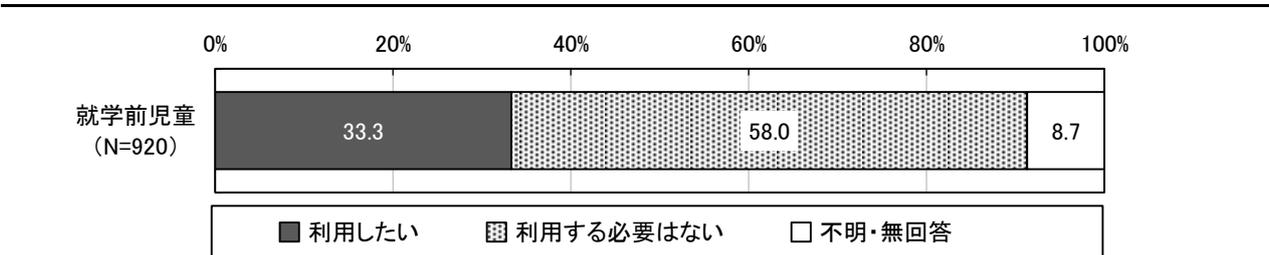
現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が 73.8%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 19.5%となっています。また、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 16.8%となっています。



**(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用する必要がある事業の有無**

**〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 23〕

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用する必要がある事業の有無についてみると、「利用したい」が 33.3%、「利用する必要はない」が 58.0%となっています。

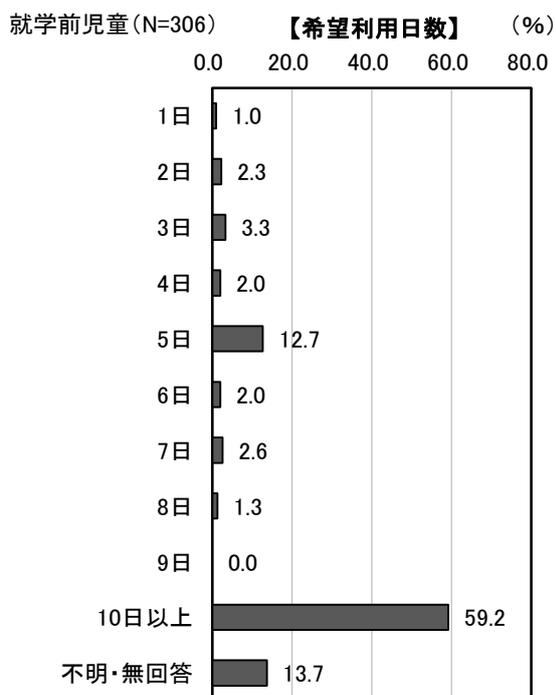


\*事業の利用には、一定の利用料がかかります

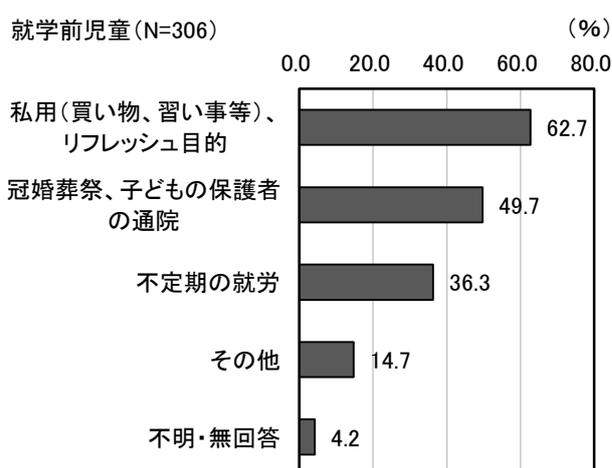
合計の1年間の利用日数については、「10日以上」が59.2%と最も高くなっています。利用したい目的別については、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が62.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの保護者の通院」が49.7%となっています。目的別の1年間の利用日数については、『私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的』で「10日以上」、『冠婚葬祭、子どもの保護者の通院』で「5日」が高くなっています。

「利用したい」を選んだ方

◎合計の1年間の利用日数〈数量回答〉



◎利用したい目的別〈複数回答〉



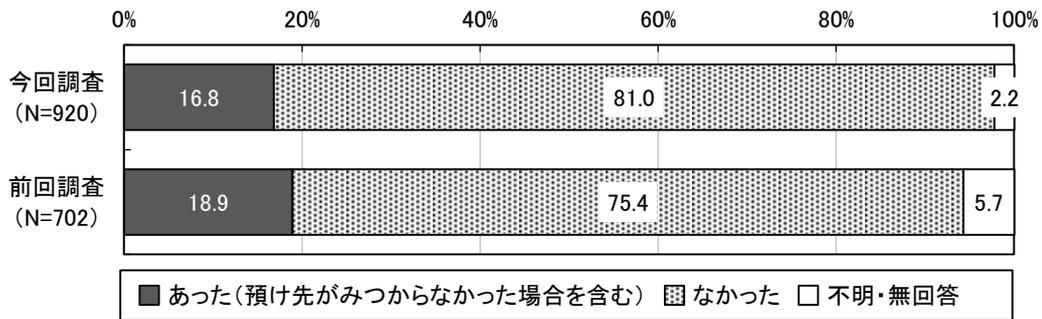
◎目的別の1年間の利用日数〈数量回答〉

目的別希望利用日数(年間)	私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的(N=192)		冠婚葬祭、子どもの保護者の通院(N=152)		不規則の就労(N=111)		その他(N=45)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	11	5.7	10	6.6	8	7.2	0	0.0
2日	17	8.9	22	14.5	6	5.4	2	4.4
3日	20	10.4	21	13.8	3	2.7	5	11.1
4日	9	4.7	8	5.3	1	0.9	3	6.7
5日	30	15.6	29	19.1	10	9.0	3	6.7
6日	9	4.7	5	3.3	5	4.5	0	0.0
7日	3	1.6	4	2.6	2	1.8	3	6.7
8日	3	1.6	5	3.3	2	1.8	1	2.2
9日	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	2.2
10日以上	75	39.1	28	18.4	53	47.7	17	37.8
不明・無回答	14	7.3	20	13.2	21	18.9	10	22.2

(3) この1年間に、保護者の用事等により、子どもを泊りがけで預けなければならなかった経験の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問24〕

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで預けなければならなかった経験の有無についてみると、「あった(預け先がみつからなかった場合を含む)」が16.8%、「なかった」が81.0%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっていますが、「なかった」がわずかに増加しています。



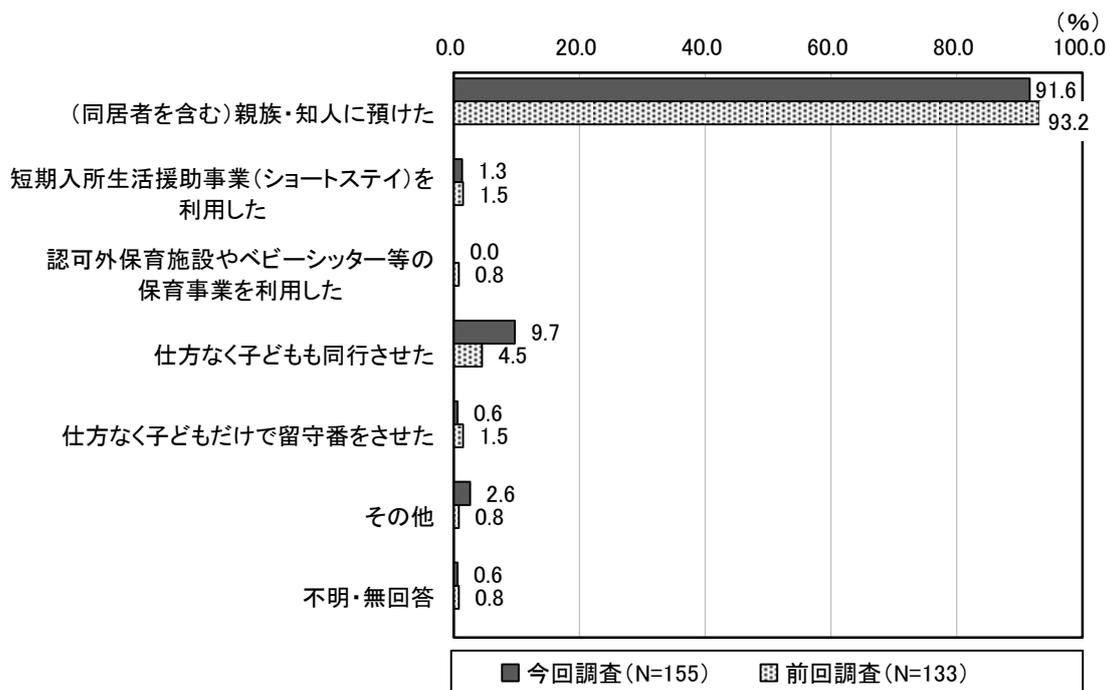
(3) で「あった」を選んだ方

(3) - 1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数〔就学前児童調査…問24-1〕

この1年間の対処方法については、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が91.6%と大部分を占めています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっていますが、「仕方なく子どもも同行させた」がわずかに増加しています。

◎ 1年間の対処方法〈複数回答〉



1年間の対処泊数については、『(同居者を含む)親族・知人に預けた』で、「1泊」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

◎ 1年間の対処泊数〈数量回答〉

【今回調査】 対処泊数 (年間)	(同居者を含む)親族・知人に預けた (N=142)		短期入所生活 援助事業 (ショートステイ)を利用した (N=2)		認可外保育施設やベビー シッター等の 保育事業を利用した (N=0)		仕方なく子ども も同行させた (N=15)		仕方なく子ども だけで留守番 をさせた(N=1)		その他 (N=4)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	45	31.7	0	0.0	0	0.0	2	13.3	0	0.0	1	25.0
2泊	19	13.4	1	50.0	0	0.0	5	33.3	0	0.0	0	0.0
3泊	14	9.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4泊	11	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	17	12.0	0	0.0	0	0.0	2	13.3	1	100.0	0	0.0
6泊	3	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊以上	24	16.9	1	50.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	1	25.0
不明・無回答	9	6.3	0	0.0	0	0.0	5	33.3	0	0.0	2	50.0

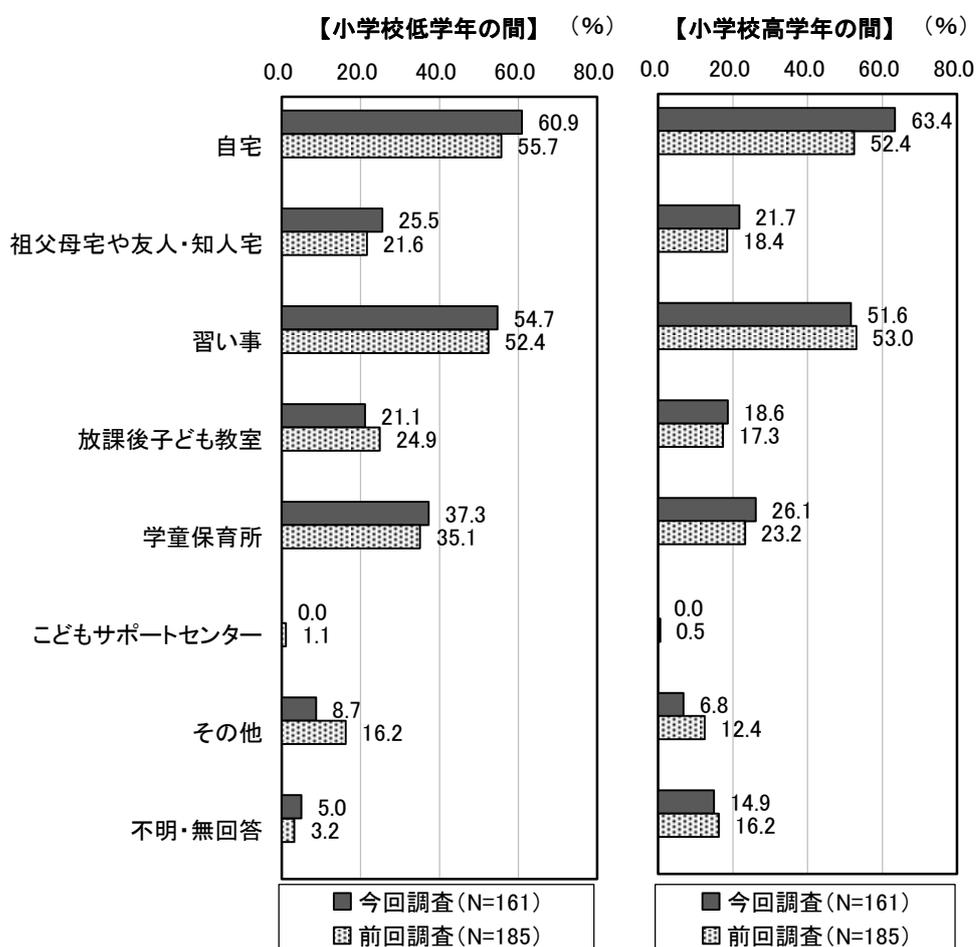
【前回調査】 対処泊数 (年間)	(同居者を含む)親族・知人に預けた (N=124)		短期入所生活 援助事業 (ショートステイ)を利用した (N=2)		認可外保育施設やベビー シッター等の 保育事業を利用した (N=1)		仕方なく子ども も同行させた (N=6)		仕方なく子ども だけで留守番 をさせた(N=2)		その他 (N=1)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	38	30.6	0	0.0	0	0.0	2	33.3	0	0.0	0	0.0
2泊	24	19.4	1	50.0	1	100.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0
3泊	12	9.7	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0
4泊	4	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	8	6.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
6泊	3	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊以上	31	25.0	1	50.0	0	0.0	2	33.3	0	0.0	1	100.0
不明・無回答	4	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0

## 9 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童は5歳以上）

(1) 小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 25〕

小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主に過ごさせたいと思う場所についてみると、[小学校低学年(1～3年生)の間][小学校高学年(4～6年生)の間]ともに「自宅」が60.9%、63.4%と最も高く、次いで「習い事」が54.7%、51.6%となっています。

前回調査と比較すると、[小学校低学年(1～3年生)の間]ではほぼ同様の結果となっていますが、[小学校高学年(4～6年生)の間]で「自宅」が11.0ポイント増加しています。



\*事業の利用には、一定の利用料がかかります

希望する1週当たりの過ごさせたい場所については、[小学校低学年（1～3年生）の間][小学校高学年（4～6年生）の間]ともに『自宅』『学童保育所』で「5日以上」が高くなっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

◎希望する1週当たりの過ごさせたい場所〈数量回答〉

①小学校低学年（1～3年生）の間

【今回調査】 小学校低学年 希望する 放課後の 過ごし方	自宅 (N=98)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=41)		習い事 (N=88)		放課後子ども 教室(N=34)		学童保育所 (N=60)		こどもサポート センター(N=0)		その他 (N=14)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	11	11.2	16	39.0	34	38.6	24	70.6	1	1.7	0	0.0	5	35.7
2日	14	14.3	11	26.8	35	39.8	3	8.8	6	10.0	0	0.0	4	28.6
3日	19	19.4	4	9.8	13	14.8	3	8.8	6	10.0	0	0.0	1	7.1
4日	14	14.3	2	4.9	1	1.1	0	0.0	5	8.3	0	0.0	0	0.0
5日以上	34	34.7	7	17.1	1	1.1	3	8.8	38	63.3	0	0.0	3	21.4
不明・無回答	6	6.1	1	2.4	4	4.5	1	2.9	4	6.7	0	0.0	1	7.1

【前回調査】 小学校低学年 希望する 放課後の 過ごし方	自宅 (N=103)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=40)		習い事 (N=97)		放課後子ども 教室(N=46)		学童保育所 (N=65)		こどもサポート センター(N=2)		その他 (N=30)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	9	8.7	16	40.0	34	35.1	29	63.0	2	3.1	0	0.0	10	33.3
2日	23	22.3	13	32.5	43	44.3	8	17.4	2	3.1	0	0.0	7	23.3
3日	27	26.2	0	0.0	17	17.5	3	6.5	5	7.7	0	0.0	9	30.0
4日	8	7.8	3	7.5	1	1.0	1	2.2	5	7.7	0	0.0	1	3.3
5日以上	32	31.1	6	15.0	2	2.1	5	10.9	51	78.5	2	100.0	3	10.0
不明・無回答	4	3.9	2	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

②小学校高学年（4～6年生）の間

【今回調査】 小学校高学年 希望する 放課後の 過ごし方	自宅 (N=102)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=35)		習い事 (N=83)		放課後子ども 教室(N=30)		学童保育所 (N=42)		こどもサポート センター(N=0)		その他 (N=11)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	11	10.8	12	34.3	16	19.3	20	66.7	3	7.1	0	0.0	4	36.4
2日	34	33.3	11	31.4	33	39.8	5	16.7	1	2.4	0	0.0	4	36.4
3日	8	7.8	3	8.6	25	30.1	2	6.7	5	11.9	0	0.0	1	9.1
4日	6	5.9	0	0.0	3	3.6	1	3.3	6	14.3	0	0.0	0	0.0
5日以上	37	36.3	8	22.9	1	1.2	1	3.3	23	54.8	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	6	5.9	1	2.9	5	6.0	1	3.3	4	9.5	0	0.0	2	18.2

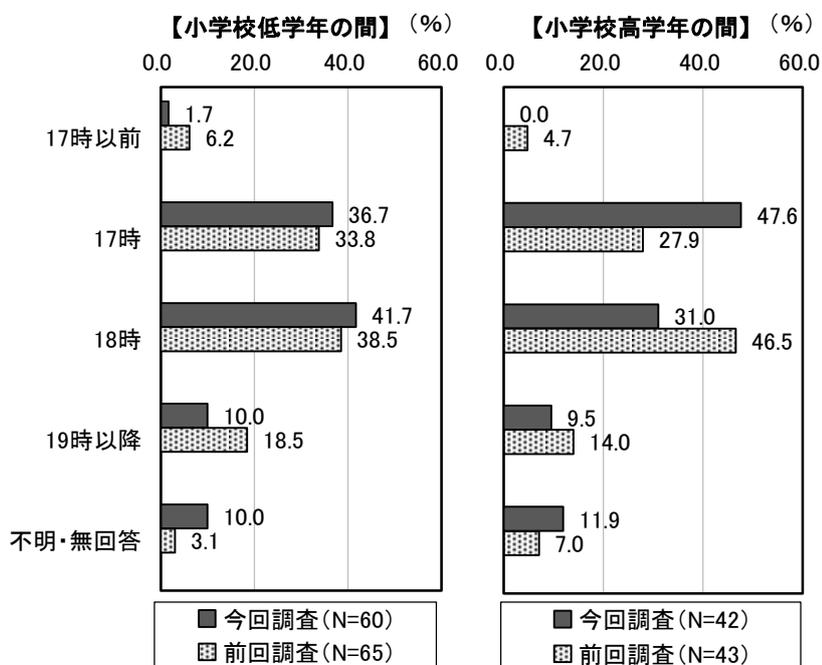
【前回調査】 小学校高学年 希望する 放課後の 過ごし方	自宅 (N=97)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=34)		習い事 (N=98)		放課後子ども 教室(N=32)		学童保育所 (N=43)		こどもサポート センター(N=1)		その他 (N=23)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	10	10.3	12	35.3	27	27.6	20	62.5	2	4.7	0	0.0	10	43.5
2日	23	23.7	13	38.2	32	32.7	5	15.6	2	4.7	0	0.0	4	17.4
3日	21	21.6	2	5.9	26	26.5	4	12.5	5	11.6	0	0.0	6	26.1
4日	9	9.3	1	2.9	8	8.2	0	0.0	3	7.0	0	0.0	1	4.3
5日以上	31	32.0	5	14.7	5	5.1	3	9.4	31	72.1	1	100.0	2	8.7
不明・無回答	3	3.1	1	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

学童保育所の利用希望時間では、[小学校低学年（1～3年生）の間]では「18時」、[小学校高学年（4～6年生）の間]では「17時」が高くなっています。

前回調査と比較すると、[小学校低学年（1～3年生）の間]ではほぼ同様の結果となっていますが、[小学校高学年（4～6年生）の間]では「17時」が19.7ポイント増加しています。

**「学童保育所」を選んだ方**

◎ 「学童保育所」の利用希望時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

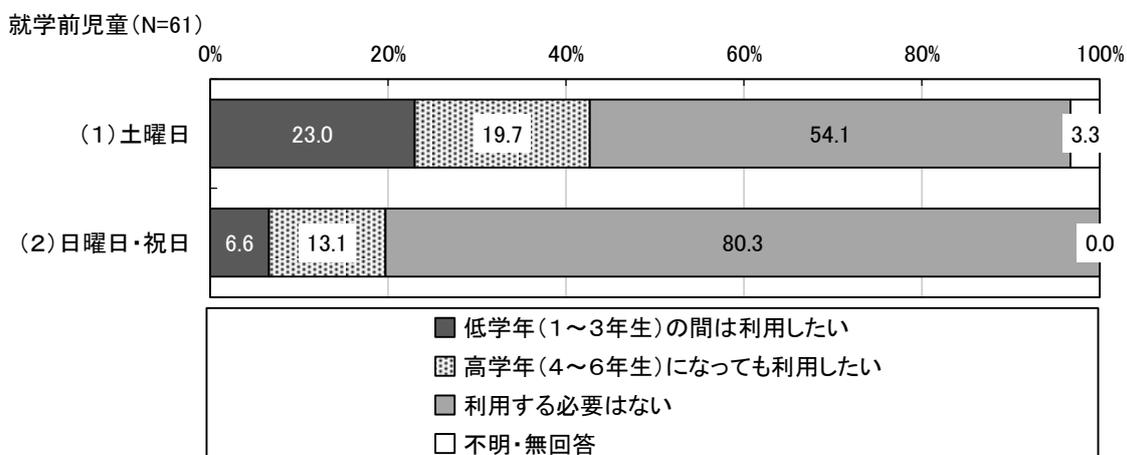


**(1)で「学童保育所」を選んだ方**

(1) - 1 土曜日と日曜日・祝日の学童保育所の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 25-1〕

土曜日と日曜日・祝日の学童保育所の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ54.1%、80.3%となっています。



\*事業の利用には、一定の利用料がかかります

希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに開始時間では「8時」、終了時間では「18時」が高くなっています。

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

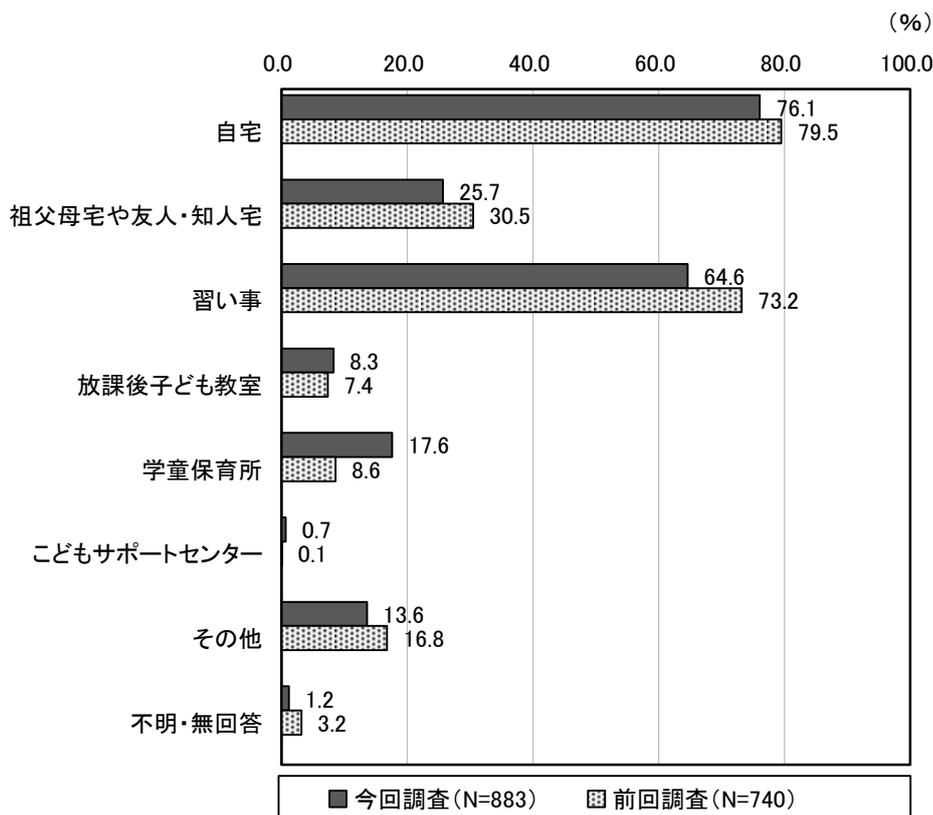
学童保育所の希望開始時間	土曜日 (N=26)		日曜日・祝日 (N=12)	
	件数	%	件数	%
7時以前	0	0.0	0	0.0
7時	4	15.4	4	33.3
8時	15	57.7	6	50.0
9時以降	5	19.2	2	16.7
不明・無回答	2	7.7	0	0.0

学童保育所の希望終了時間	土曜日 (N=26)		日曜日・祝日 (N=12)	
	件数	%	件数	%
14時以前	1	3.8	0	0.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	1	3.8	1	8.3
16時	2	7.7	1	8.3
17時	6	23.1	3	25.0
18時	13	50.0	5	41.7
19時以降	2	7.7	2	16.7
不明・無回答	1	3.8	0	0.0

(2) 放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉〔小学生児童調査…問12〕

放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方についてみると、「自宅」が76.1%と最も高く、次いで「習い事」が64.6%となっています。

前回調査と比較すると、「習い事」が8.6ポイント減少している一方で、「学童保育所」が9.0ポイント増加しています。



1週当たりの過ごしている場所については、『自宅』『学童保育所』で「5日以上」が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

学童保育所の利用希望時間では「17時」が高くなっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

◎ 1週当たりの過ごしている場所〈数量回答〉

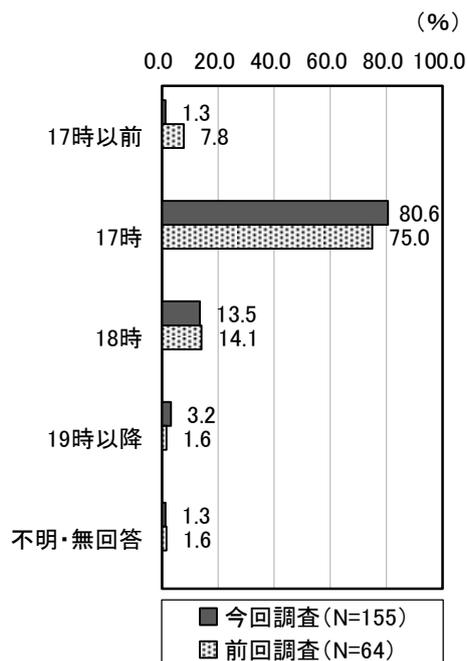
【今回調査】 放課後の 過ごし方	自宅 (N=672)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=227)		習い事 (N=570)		放課後子ども 教室(N=73)		学童保育所 (N=155)		こどもサポート センター(N=6)		その他 (N=120)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	71	10.6	91	40.1	147	25.8	67	91.8	2	1.3	3	50.0	37	30.8
2日	137	20.4	59	26.0	184	32.3	1	1.4	6	3.9	0	0.0	33	27.5
3日	107	15.9	27	11.9	137	24.0	1	1.4	17	11.0	2	33.3	29	24.2
4日	85	12.6	10	4.4	67	11.8	0	0.0	27	17.4	0	0.0	7	5.8
5日以上	263	39.1	37	16.3	35	6.1	2	2.7	103	66.5	1	16.7	8	6.7
不明・無回答	9	1.3	3	1.3	0	0.0	2	2.7	0	0.0	0	0.0	6	5.0

【前回調査】 放課後の 過ごし方	自宅 (N=588)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=226)		習い事 (N=542)		放課後子ども 教室(N=55)		学童保育所 (N=64)		こどもサポート センター(N=1)		その他 (N=124)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	99	16.8	109	48.2	98	18.1	54	98.2	0	0.0	1	100.0	51	41.1
2日	110	18.7	62	27.4	191	35.2	0	0.0	6	9.4	0	0.0	40	32.3
3日	121	20.6	31	13.7	121	22.3	0	0.0	7	10.9	0	0.0	13	10.5
4日	65	11.1	5	2.2	82	15.1	0	0.0	9	14.1	0	0.0	7	5.6
5日以上	179	30.4	14	6.2	45	8.3	0	0.0	42	65.6	0	0.0	10	8.1
不明・無回答	14	2.4	5	2.2	5	0.9	1	1.8	0	0.0	0	0.0	3	2.4

「学童保育所」を選んだ方

◎ 「学童保育所」の利用希望時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

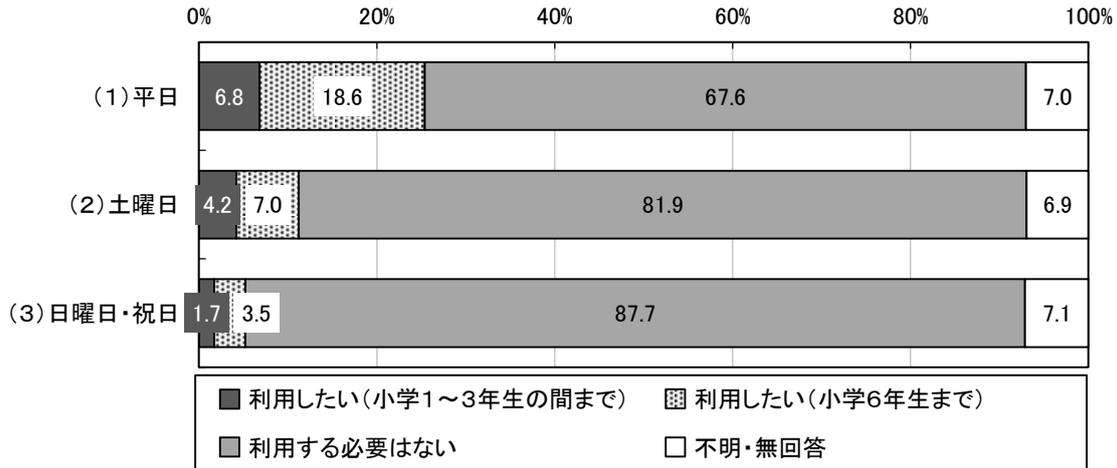


### (3) 学童保育所の利用希望〈単数回答〉〔小学生児童調査…問13〕

学童保育所の利用希望についてみると、平日、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ67.6%、81.9%、87.7%となっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では平日が「9時以降」、土曜日、日曜日・祝日がともに「8時」、終了時間では平日が「19時以降」、土曜日が「18時」、日曜日・祝日が「17時」と高くなっています。

小学生調査(N=883)



#### 「利用したい(小学1～3年生の間まで)」、「利用したい(小学6年生まで)」を選んだ方

##### ◎ 希望する利用時間帯〈数量回答〉

学童保育所の希望開始時間	平日 (N=224)		土曜日 (N=99)		日曜日・祝日 (N=46)	
	件数	%	件数	%	件数	%
7時以前	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7時	9	4.0	7	7.1	5	10.9
8時	39	17.4	53	53.5	25	54.3
9時以降	123	54.9	29	29.3	12	26.1
不明・無回答	53	23.7	10	10.1	4	8.7

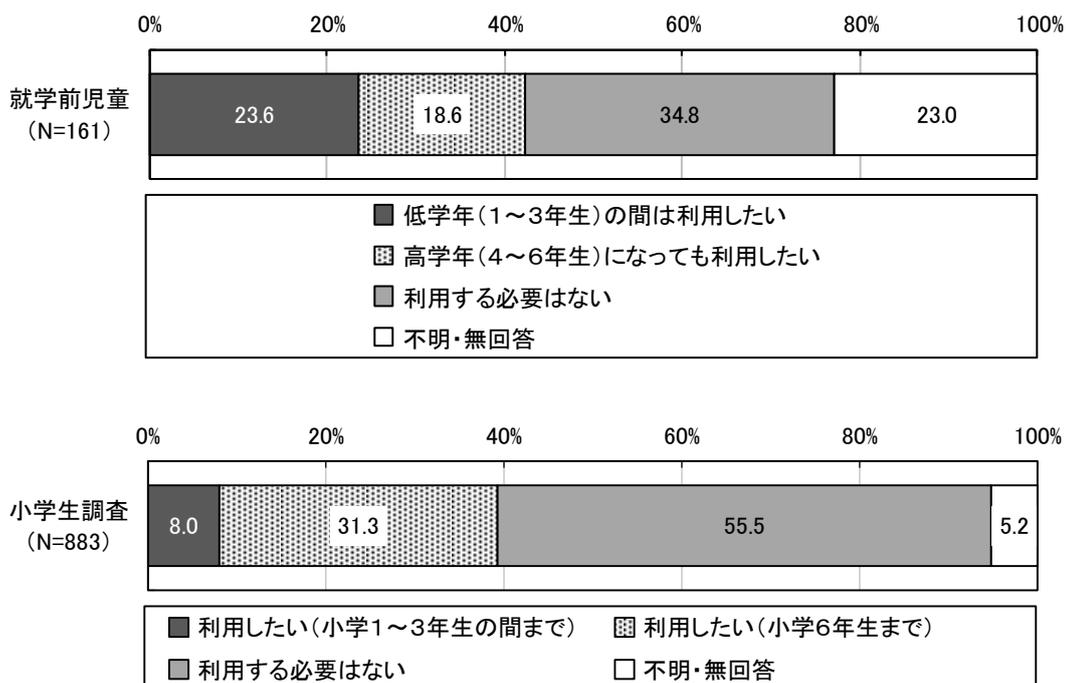
学童保育所の希望終了時間	平日 (N=224)		土曜日 (N=99)		日曜日・祝日 (N=46)	
	件数	%	件数	%	件数	%
14時以前	0	0.0	5	5.1	1	2.2
14時	1	0.4	2	2.0	2	4.3
15時	0	0.0	7	7.1	1	2.2
16時	2	0.9	7	7.1	2	4.3
17時	83	37.1	26	26.3	16	34.8
18時	88	39.3	29	29.3	13	28.3
19時以降	40	17.9	16	16.2	8	17.4
不明・無回答	10	4.5	7	7.1	3	6.5

#### (4) 夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 26・小学生児童調査…問 14〕

長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望についてみると、就学前児童では「利用する必要はない」が 34.8%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 23.6%となっています。小学生児童では「利用する必要はない」が 55.5%と最も高く、次いで「利用したい（小学6年生まで）」が 31.3%となっています。

また、希望する利用時間帯については、就学前児童では開始時間が「8時」、終了時間が「18時」、小学生児童では開始時間が「8時」、終了時間が「17時」と高くなっています。



\*事業の利用には、一定の利用料がかかります

**就学前児童：「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」、小学生児童「利用したい（小学1～3年生の間まで）」、「利用したい（小学6年生まで）」を選んだ方**

#### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

【就学前児童】

学童保育所の希望開始時間	長期休暇中 (N=68)		学童保育所の希望終了時間	長期休暇中 (N=68)	
	件数	%		件数	%
7時以前	0	0.0	14時以前	0	0.0
7時	6	8.8	14時	0	0.0
8時	35	51.5	15時	1	1.5
9時以降	10	14.7	16時	2	2.9
不明・無回答	17	25.0	17時	20	29.4
			18時	22	32.4
			19時以降	5	7.4
			不明・無回答	18	26.5

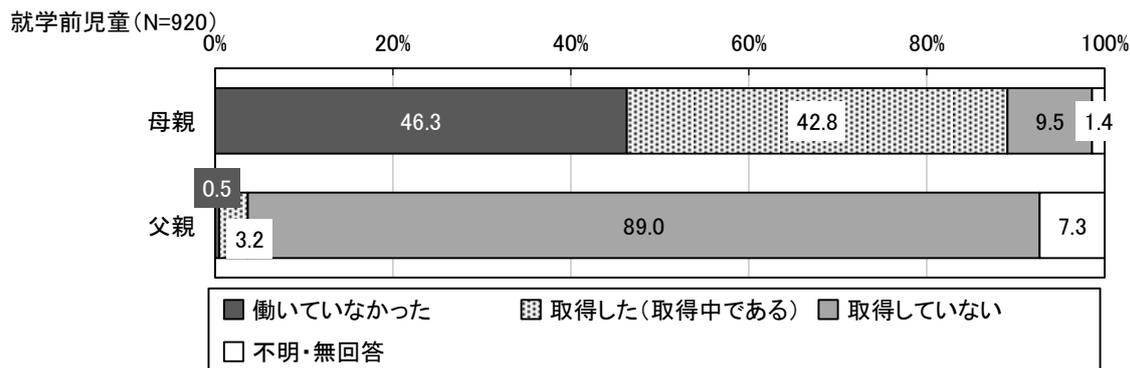
【小学生児童】

学童保育所の希望開始時間	長期休暇中 (N=347)		学童保育所の希望終了時間	長期休暇中 (N=347)	
	件数	%		件数	%
7時以前	0	0.0	14時以前	10	2.9
7時	19	5.5	14時	4	1.2
8時	170	49.0	15時	28	8.1
9時以降	143	41.2	16時	25	7.2
不明・無回答	15	4.3	17時	128	36.9
			18時	101	29.1
			19時以降	41	11.8
			不明・無回答	10	2.9

## 10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

### (1) 子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 27〕

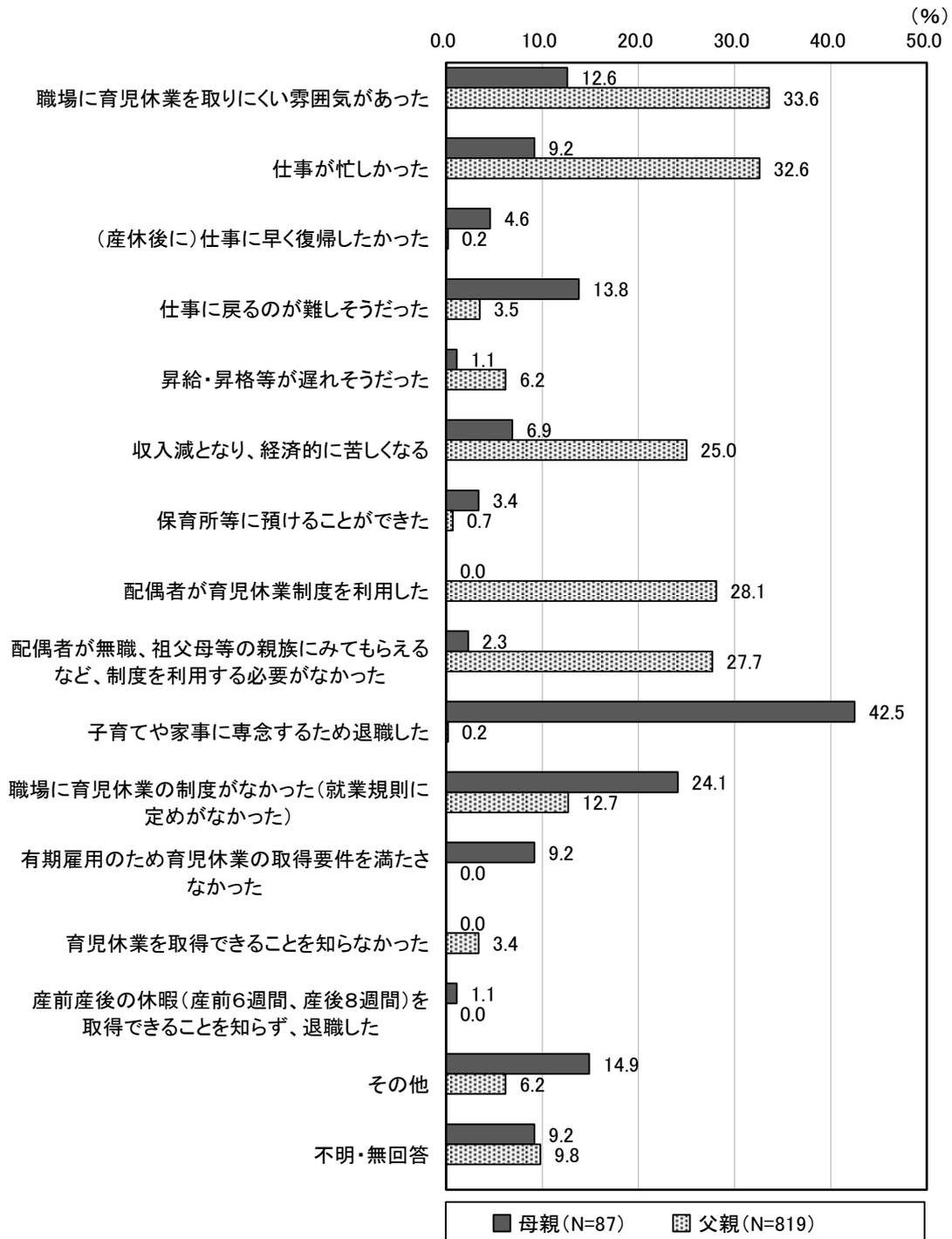
子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「働いていなかった」が46.3%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が42.8%となっています。父親では「取得していない」が89.0%と大部分を占めています。また、父親の「取得した(取得中である)」は3.2%となっています。



育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が42.5%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が24.1%となっています。父親では「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.6%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が32.6%となっています。

「取得していない」を選んだ方

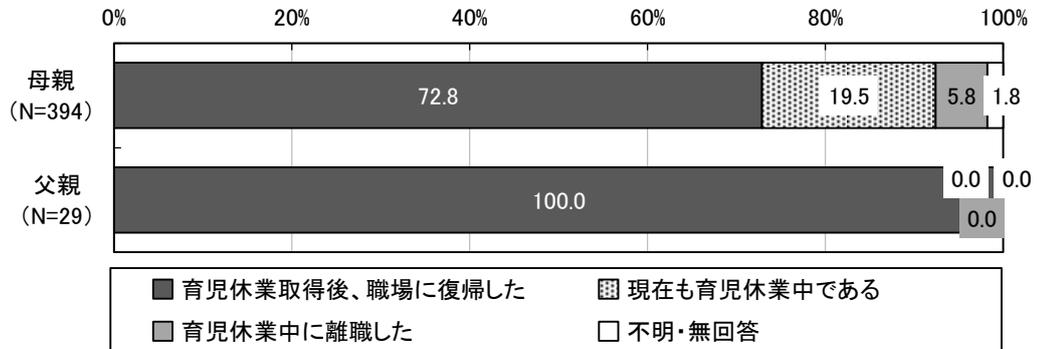
◎取得していない理由〈複数回答〉



**(1)で「取得した(取得中である)」を選んだ方**

**(1) - 1 育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 27-1〕

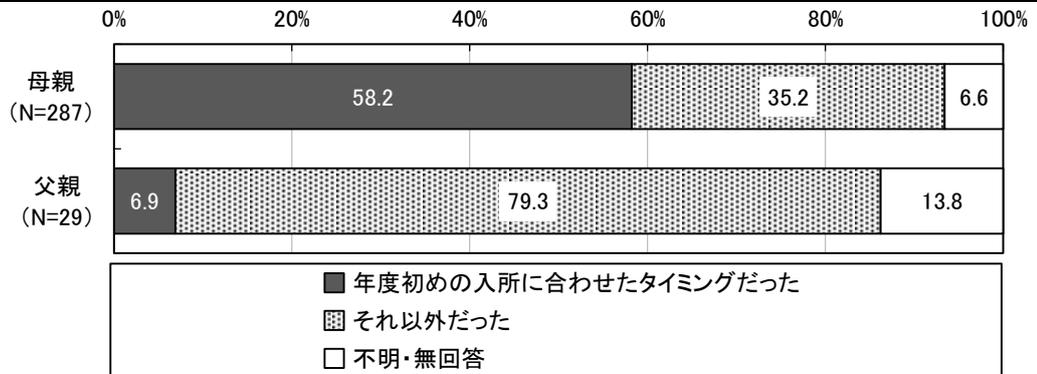
育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が72.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が19.5%となっています。父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が100.0%となっています。



**(1) - 1で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方**

**(1) - 2 育児休業から職場に復帰したタイミング〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 27-2〕

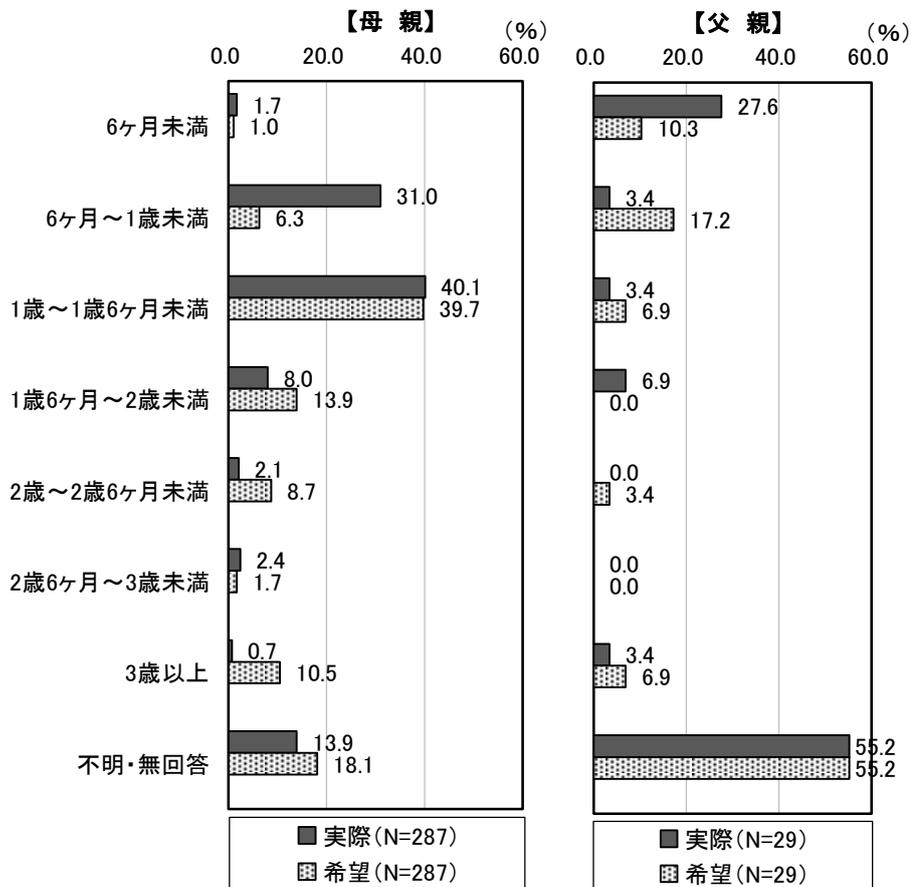
育児休業から職場に復帰したタイミングについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が58.2%、「それ以外だった」が35.2%となっています。父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が6.9%、「それ以外だった」が79.3%となっています。



**(1) - 1で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方**

(1) - 3 育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか。  
 また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取得し  
 たかったか〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 27-3〕

育児休業から、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかについてみると、母親では[実際][希望]ともに「1歳～1歳6カ月未満」がそれぞれ40.1%、39.7%と最も高く、次いで[実際]で「6ヶ月～1歳未満」が31.0%、[希望]で「1歳6カ月～2歳未満」が13.9%となっています。  
 父親では不明・無回答を除くと、[実際]で「6カ月未満」が27.6%、[希望]で「6ヶ月～1歳未満」が17.2%となっています。



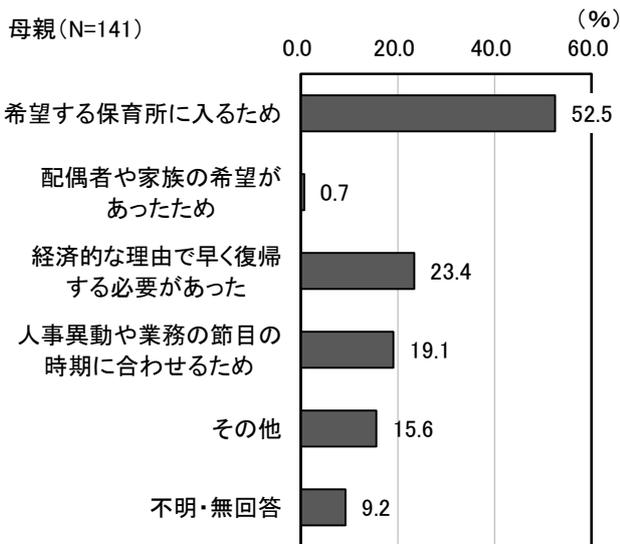
**(1) - 3で実際の復帰と希望が異なる方**

**(1) - 4 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 27-4〕

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてみると、「希望」より早く復帰した方では、母親で「希望する保育所に入るため」が52.5%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が23.4%となっています。

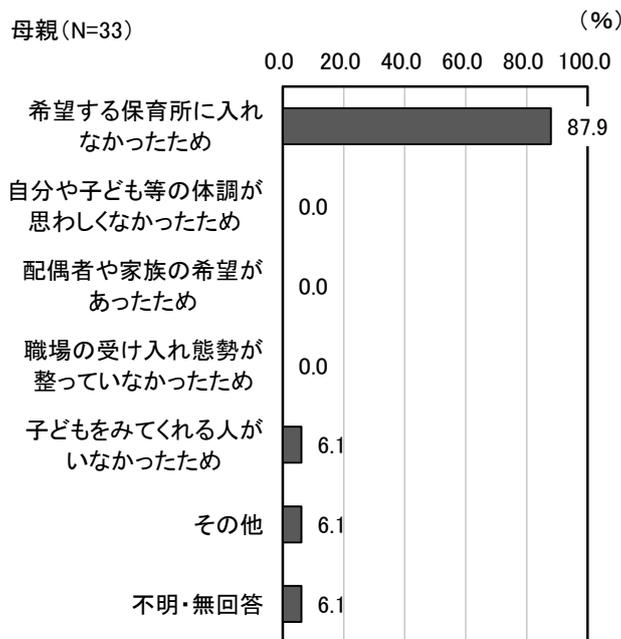
「希望」より遅く復帰した方では、母親で「希望する保育所に入れなかったため」が87.9%と大部分を占めています。

**①「希望」より早く復帰した方**



	父親(N=6)	
	件数	%
希望する保育所に入るため	1	16.7
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0
経済的な理由で早く復帰する必要があった	3	50.0
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	1	16.7
その他	1	16.7
不明・無回答	0	0.0

**②「希望」より遅く復帰した方**

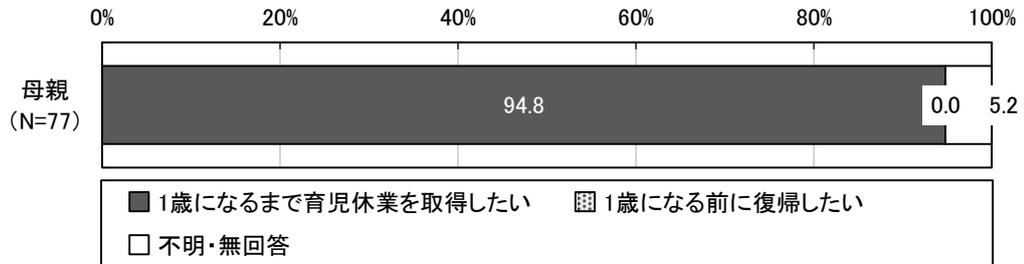


※【父親】「希望する保育所に入れなかったため」が1件でした。

(1) - 1で「現在も育児休業中である」を選んだ方

(1) - 5 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 27-5〕

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が94.8%と大部分を占めています。



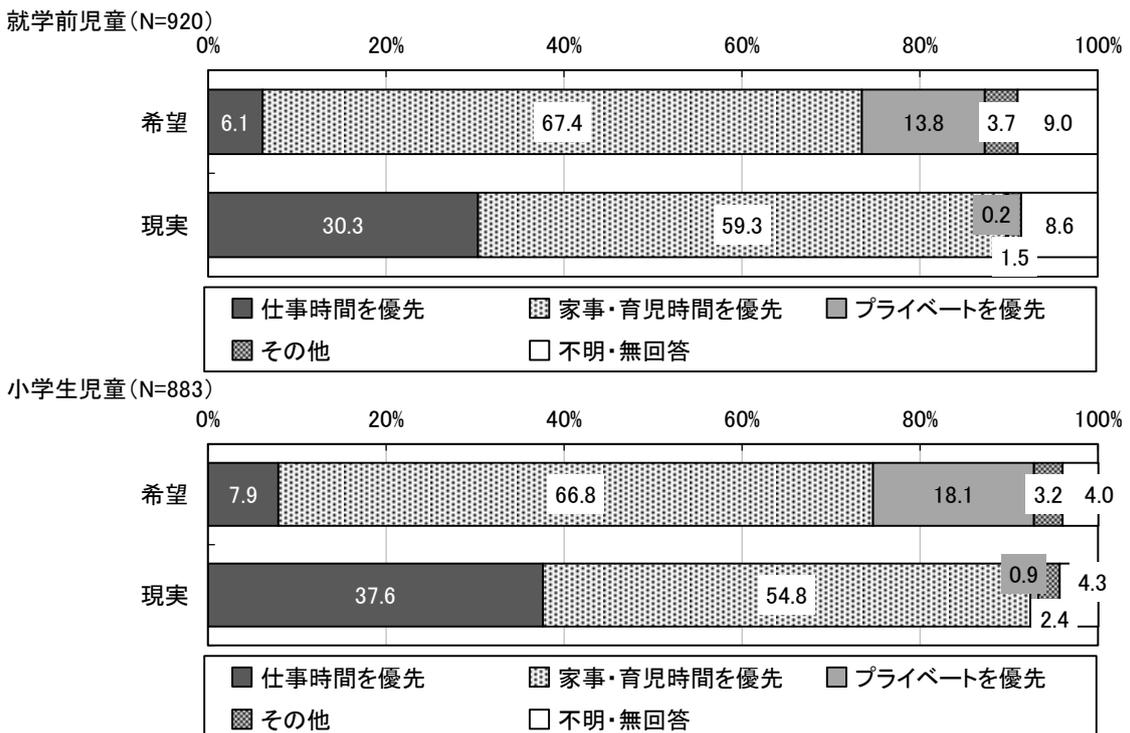
※【父親】現在も育児休業中である方はいませんでした。

(2) 「仕事時間」と「家事・育児時間」、「プライベートの生活時間」の優先度

〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 28・小学生児童調査…問 11〕

「仕事時間」と「家事・育児時間」、「プライベートの生活時間」の優先度についてみると、就学前児童では『希望』『現実』ともに「家事・育児時間を優先」がそれぞれ67.4%、59.3%と最も高くなっています。小学生児童では『希望』『現実』ともに「家事・育児時間を優先」がそれぞれ66.8%、54.8%と最も高くなっています。

就学前児童、小学生児童ともに『現実』の「仕事時間を優先」が『希望』よりも大きく上回っています。

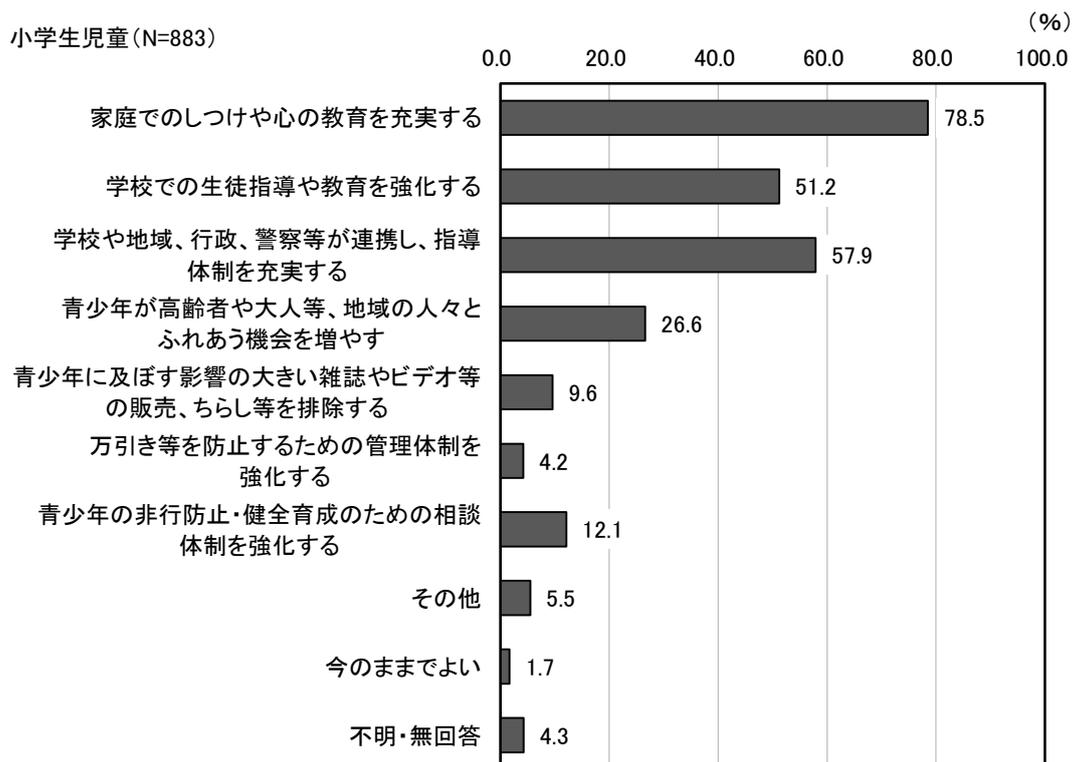


## 11 子どもの安全の確保について（小学生児童）

### （1）子どもの健全育成や非行防止のために、力をいれるべきと思うこと〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 15〕

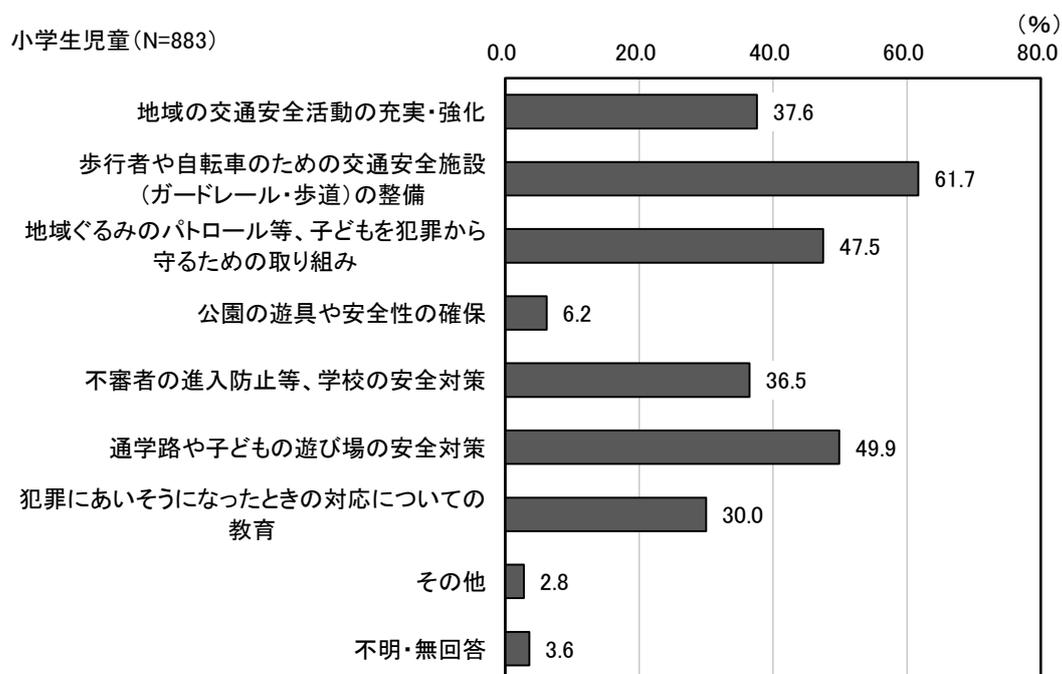
子どもの健全育成や非行防止のために、力をいれるべきと思うことについては、「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が78.5%と最も高く、次いで「学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する」が57.9%、「学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する」が51.2%となっています。



## (2) 子どもの安全を守るために、特に重要と思われること〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 16〕

子どもの安全を守るために、特に重要と思われることについてみると、「歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール・歩道）の整備」が61.7%と最も高く、次いで「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が49.9%、「地域ぐるみのパトロール等、子どもを犯罪から守るための取り組み」が47.5%となっています。



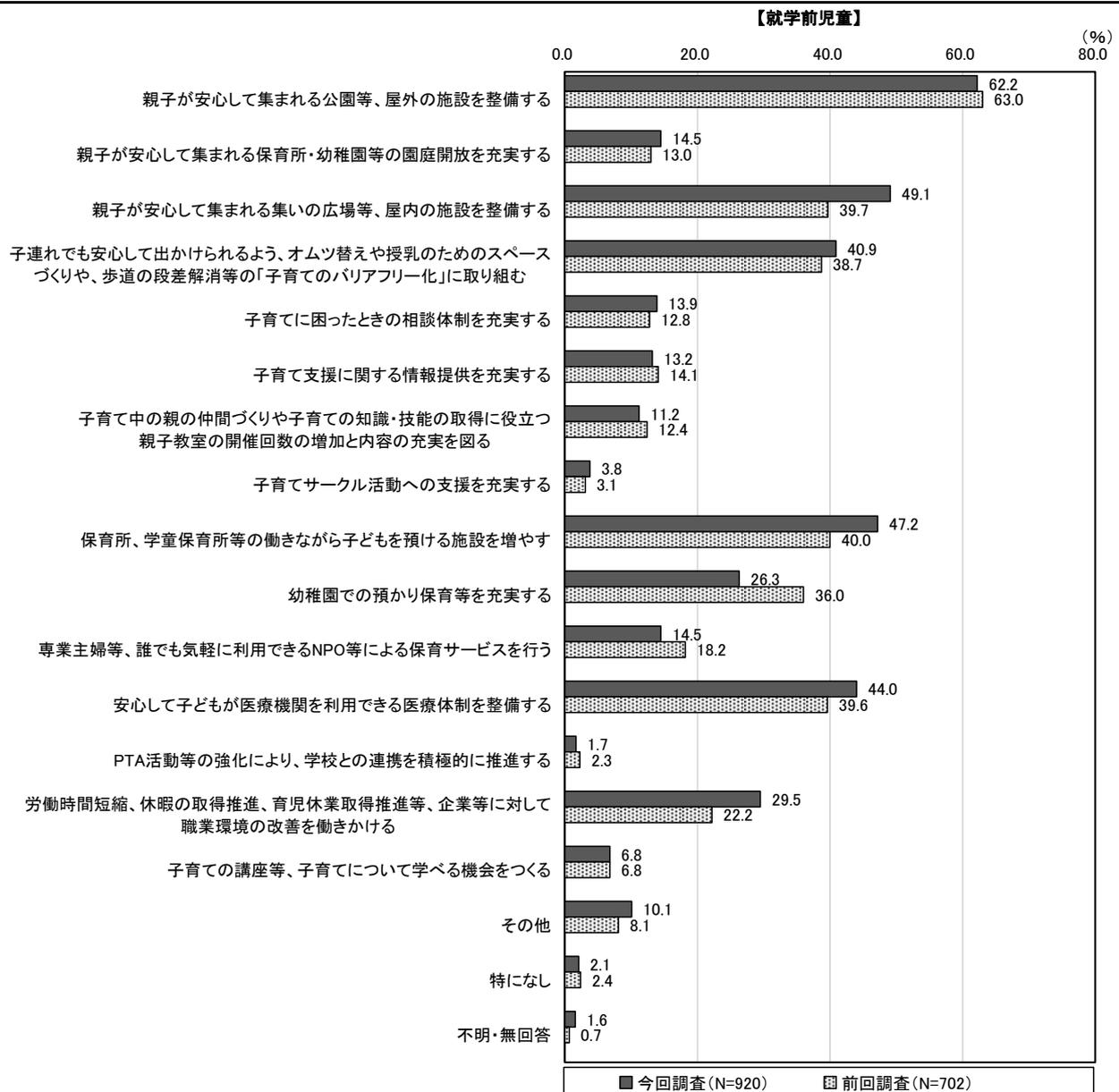
## 12 大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて

### (1) 大和郡山市に対して期待する子育て支援策〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 29・小学生児童調査…問 17〕

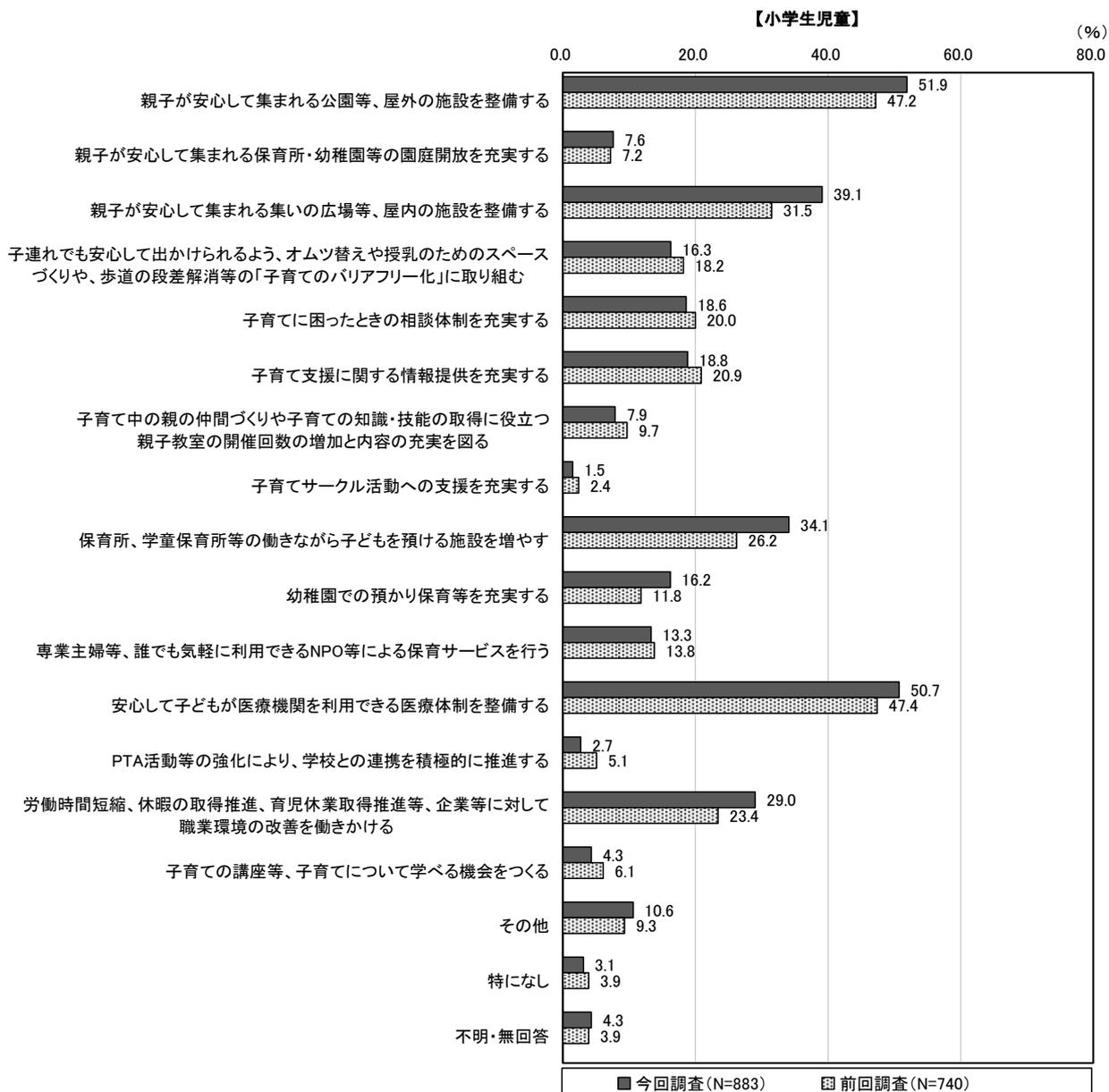
大和郡山市に対して期待する子育て支援策についてみると、就学前児童では「親子が安心して集まれる公園等、屋外の施設を整備する」が62.2%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる集いの広場等、屋内の施設を整備する」が49.1%となっています。

前回調査と比較すると、「親子が安心して集まれる集いの広場等、屋内の施設を整備する」が9.4ポイント増加している一方で、「幼稚園での預かり保育等を充実する」が9.7ポイント減少しています。



大和郡山市に対して期待する子育て支援策についてみると、小学生児童では「親子が安心して集まれる公園等、屋外の施設を整備する」が51.9%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関を利用できる医療体制を整備する」が50.7%となっています。

前回調査と比較すると、「保育所、学童保育所等の働きながら子どもを預ける施設を増やす」が7.9ポイント、「親子が安心して集まれる集いの広場等、屋内の施設を整備する」が7.6ポイント増加しています。



## (2) 行政の取り組みに対して感じること〈単数回答〉

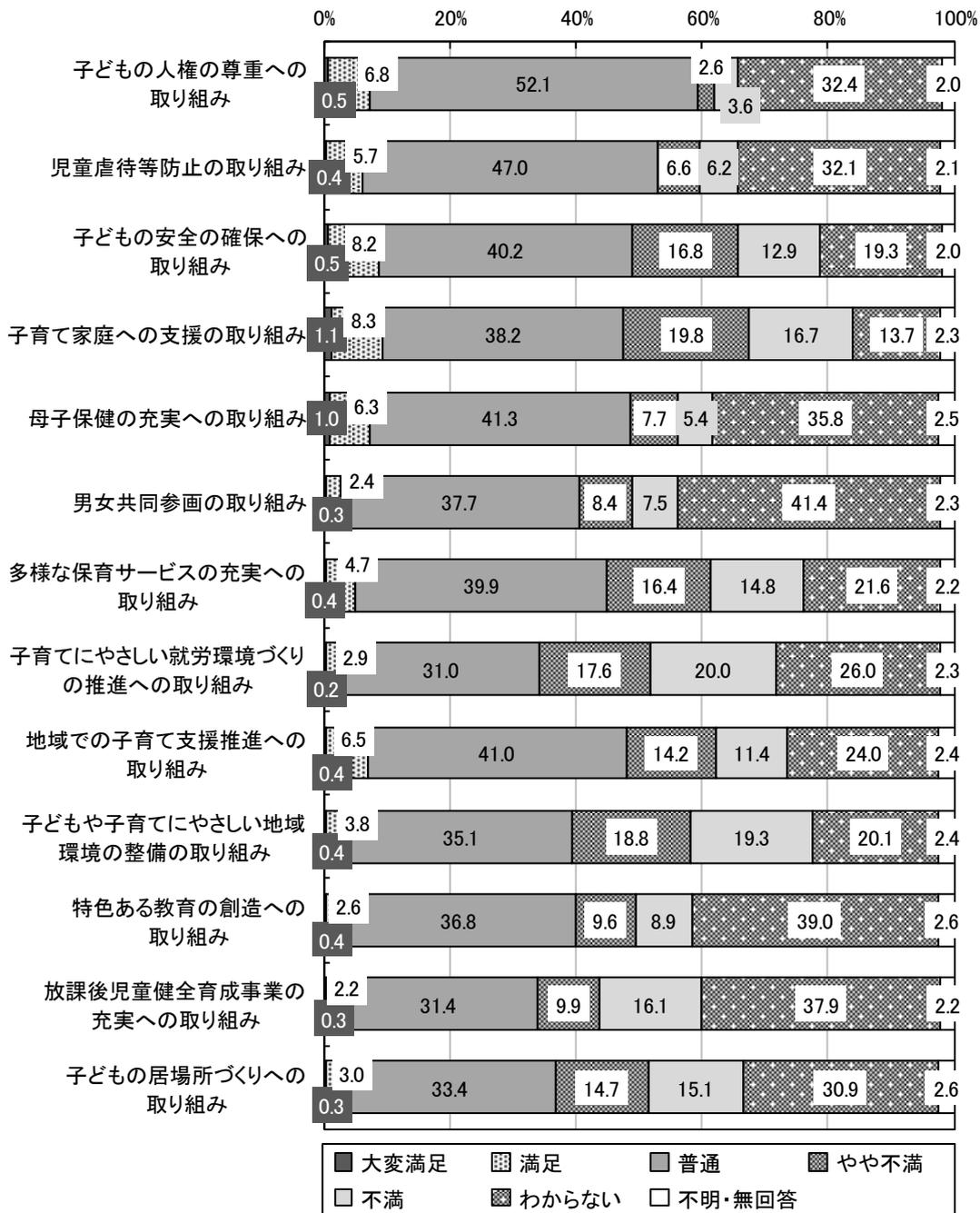
〔就学前児童調査…問 30・小学生児童調査…問 18〕

行政の取り組みに対して感じることについてみると、就学前児童では『満足』（「大変満足」と「満足」の合計）は「子育て家庭への支援の取り組み」で 9.4%と最も高くなっています。また、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は「子どもや子育てにやさしい地域環境の整備の取り組み」で 38.1%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、『不満』の「子どもの居場所づくりへの取り組み」が 5.1 ポイント減少しています。

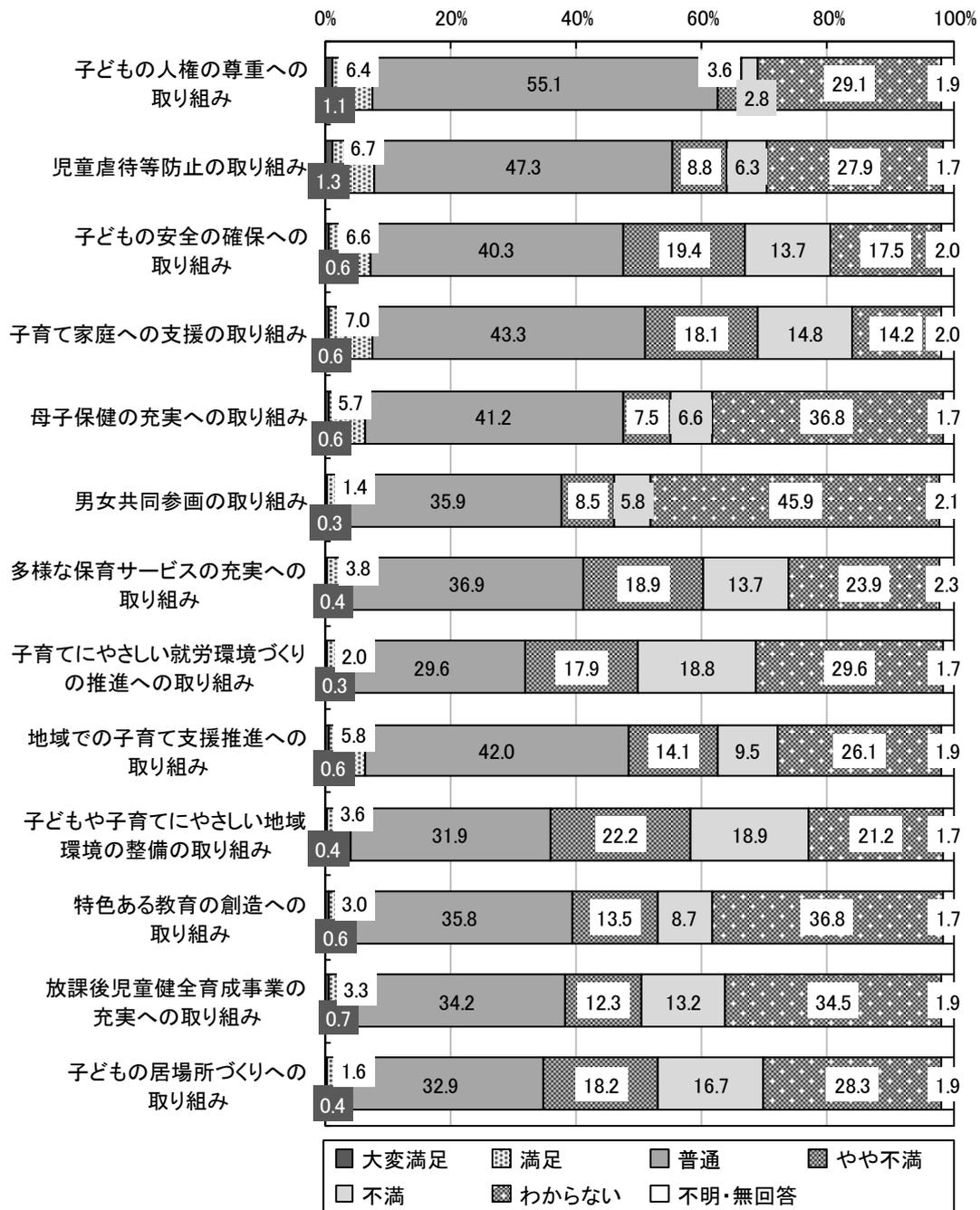
今回調査(N=920)

【就学前児童】



前回調査(N=702)

【就学前児童】

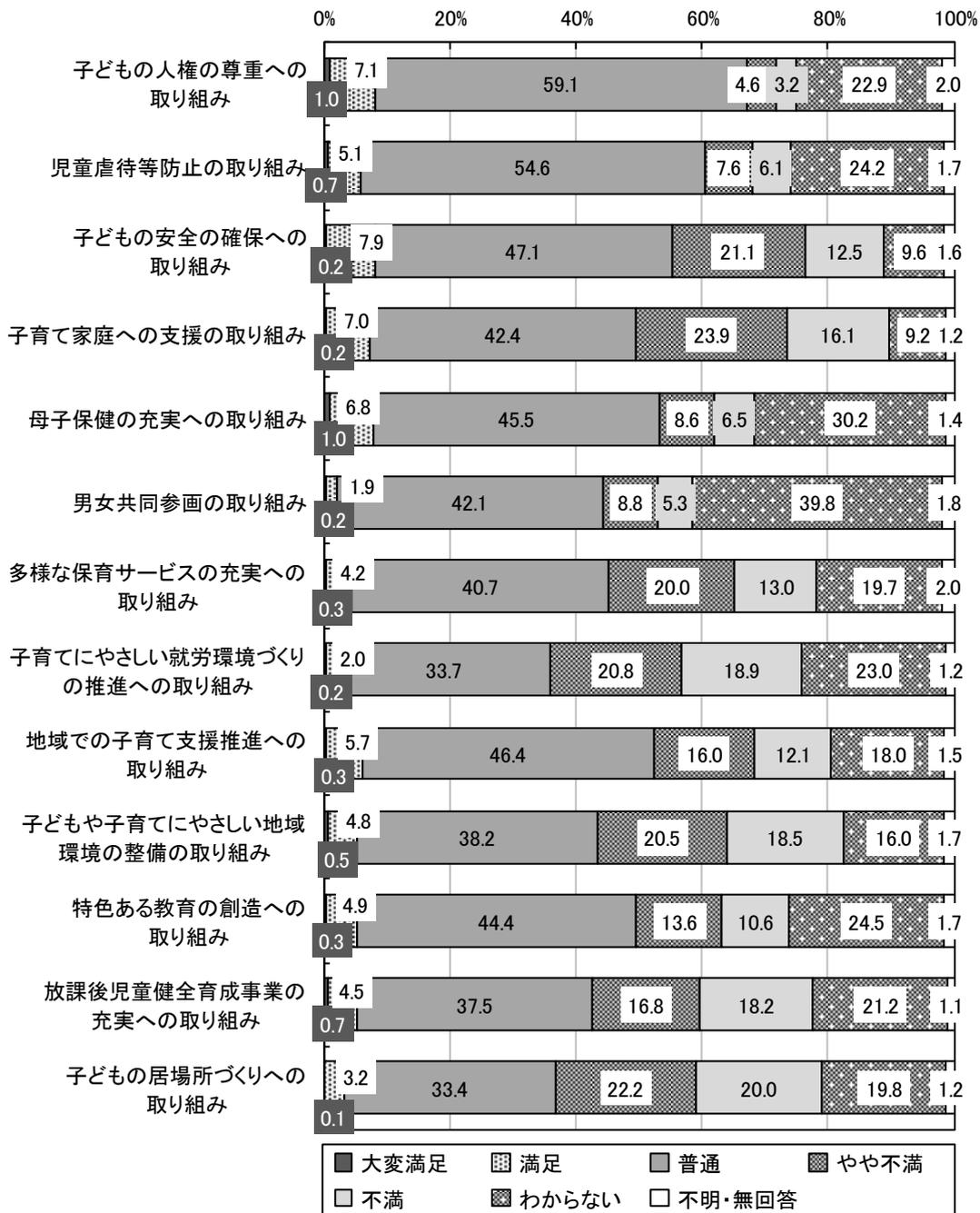


行政の取り組みに対して感じることについてみると、小学生児童では『満足』（「大変満足」と「満足」の合計）は「子どもの人権の尊重への取り組み」「子どもの安全の確保への取り組み」ともに8.1%と最も高くなっています。また、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は「子どもの居場所づくりへの取り組み」で42.2%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、『不満』の「特色ある教育の創造への取り組み」が7.8ポイント増加している一方で、「放課後児童健全育成事業の充実への取り組み」が8.4ポイント減少しています。

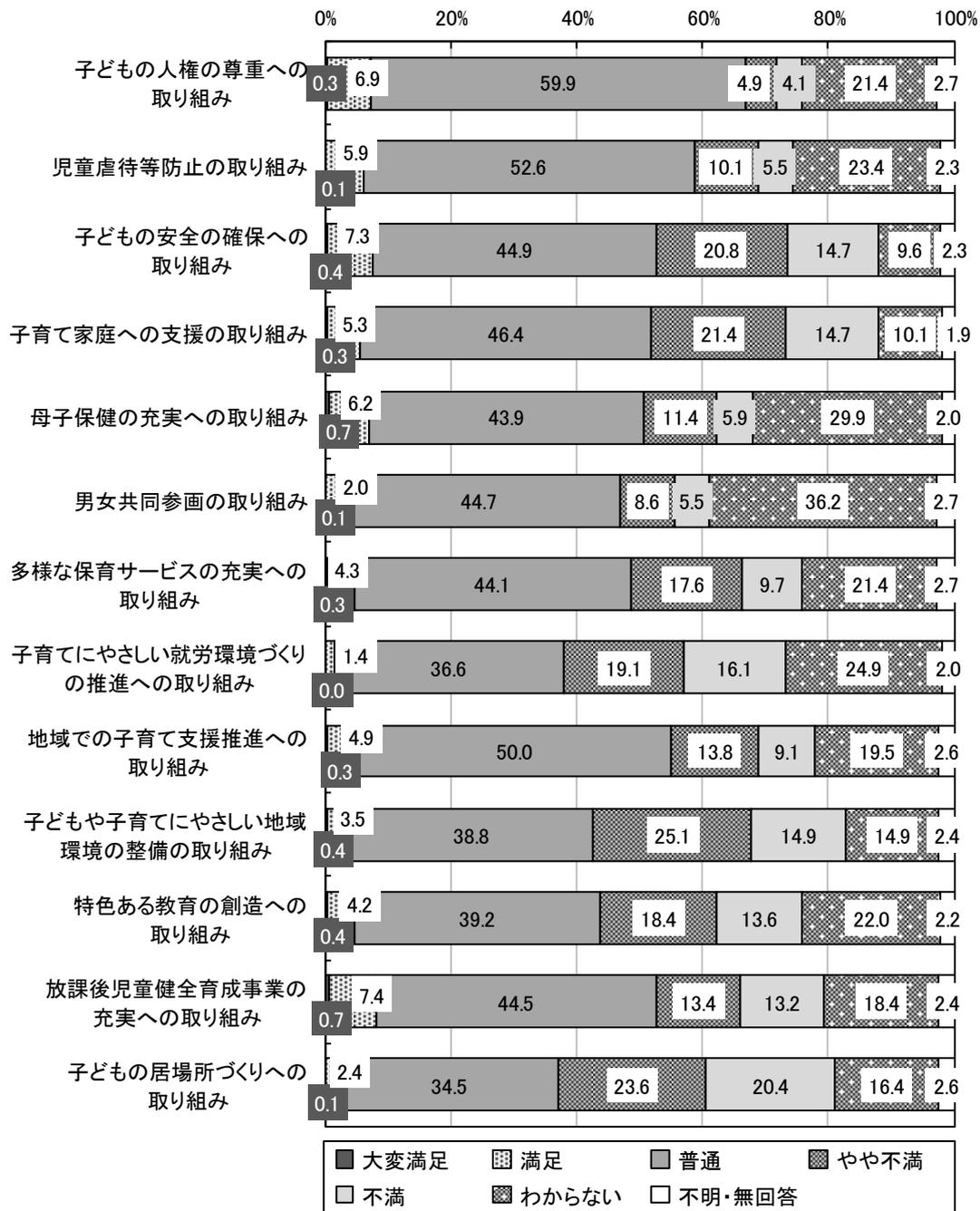
今回調査(N=883)

【小学生児童】



前回調査(N=740)

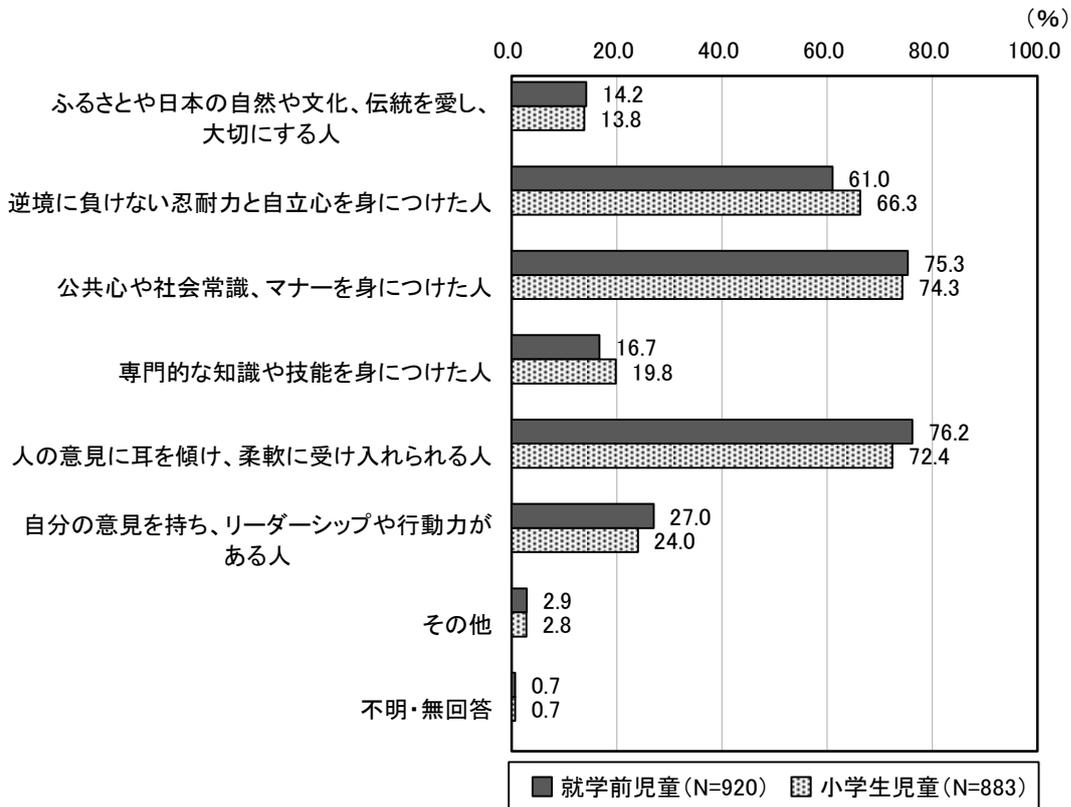
【小学生児童】



### (3) お子さんをどのような人に育てたいと思うか〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 31・小学生児童調査…問 19〕

お子さんをどのような人に育てたいと思うかについては、就学前児童では「人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人」が76.2%と最も高く、次いで「公共心や社会常識、マナーを身につけた人」が75.3%となっています。小学生児童では「公共心や社会常識、マナーを身につけた人」が74.3%と最も高く、次いで「人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人」が72.4%となっています。



### (4) これからもお子さんを大和郡山市で育てたいと思うか。〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 32・小学生児童調査…問 20〕

これからもお子さんを大和郡山市で育てたいと思うかについてみると、就学前児童、小学生児童ともに、『思う』（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計）がそれぞれ71.0%、68.6%となっています。

